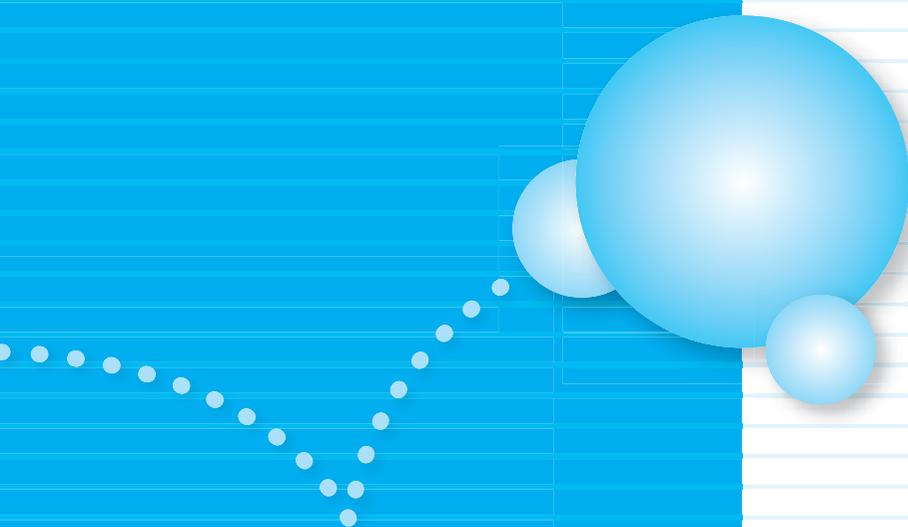


パソコン応用

HITACHI
Inspire the Next



Prius Note

マニュアルはよく読み、保管してください。

- 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

パソコンの信頼性について

ご購入いただきましたパソコンは、家庭用、あるいは、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする場合には、別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

家庭用一般事務用パソコンが不適当な、高信頼性を必要とする用途例

・ 化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

規制、対策などについて

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、バッテリーを接続していない場合及びバッテリーが満充電でない場合、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。(社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

●ENERGYSTAR® について

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加国間で統一されています。』

●輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

なお、ご不明な場合は、弊社「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

●音楽 CD 再生について

ディスクレーベル面に  マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用下さい。規格外 CD を使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。再生できた場合であっても、音質は保証いたしかねます。

なお、規格外 CD を再生した場合、色々な不具合が発生することがあります。

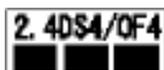
●電波について(ワイヤレス LAN 搭載モデルのみ)

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。次項に注意してください。

- ・本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- ・その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などがおきたときは、弊社のお問い合わせ先にご連絡ください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	OFDM 形式、DS-SS 方式
想定干渉距離	40m
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(IEEE802.11a(J52/W52/W53)/b/g)



- ・ IEEE802.11a の規格による通信は、電波法により、屋外での使用が禁じられています。(屋内のみ使用可能です)
- ワイヤレス LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意(ワイヤレス LAN 搭載モデルのみ)
ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等とワイヤレス LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
 - ・ ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 - ・ メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - ・ 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
 - ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
 - ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
 - ・ コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレス LAN カードやワイヤレス LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。ワイヤレス LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレス LAN カードやワイヤレス LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様がご自分で対処できない場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

●バッテリーパック使用に関するお知らせ

・安全性の観点から、パソコンではバッテリーパックに対する過充電、過電圧、温度異常、過放電、内部短絡、放電電圧異常、充放電回数等、さまざまな監視制御を行っています。これらの制御はバッテリーパック内の制御回路だけでなく、パソコン本体側の制御回路、制御ソフトウェアとの密接な関係の下で行われています。

当該パソコン本体に関する詳細の設計 / 製造情報が無いにも拘わらず、バッテリーパックに改造を加えることは、その後の使用に危険が伴います。

・バッテリーの残容量は、パソコンのシステムの動作と密接な関係にあります。さまざまなバッテリーに関する情報を元にバッテリーの残容量は計算されています。

また、バッテリーの残容量に合わせて、パソコン本体内でもさまざまな処理が行われています。当該パソコン本体に関する詳細の設計 / 製造情報が無いにも拘わらず、バッテリーパックに改造を加えることは、パソコンの誤動作等の可能性があります。

・パソコンの使用にあたっては、パソコンメーカー指定のバッテリーパックを正しい使用方法で使用する必要があります。誤った使用を行った場合、火災、破裂、発熱などの恐れがあります。

また、バッテリーパックの液漏れや性能 / 寿命の低下につながる可能性があります。

・改造バッテリーパック等の中には、バッテリーパックのケースや内部の基板等はパソコンメーカー純正バッテリーパックの部品をそのまま使用し、内部充電電池のみを交換したものもあります。

更に、内部充電電池も純正バッテリーパックと同じ電池を使用しているケースもあります。この場合、外観やパソコンのユーティリティを使用してバッテリーパックの情報を確認しても、見分ける事ができない可能性がありますので、過去の使用状況が不明なバッテリーパックの使用には注意が必要です。

・非純正バッテリーの使用により、万一事故等の問題が発生しても、保証の範囲外となります。(社団法人 電子情報技術産業協会のノート型パソコン用「非純正バッテリーパック」に関するガイドラインに基づく表示)

●液晶ディスプレイのドット抜けについて

表示するパターンによっては、微妙な輝点 (指定の色と関係なく光る) や黒点 (指定の色が表示できない) が見えたり、罫線や文字の一部が欠けることがあります。ただし、輝点や黒点の数については、弊社の規格によって制限しています。ご使用中、著しく増加することはありません。(社団法人

電子情報技術産業協会のパソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドラインに基づく表示)

詳細は Prius ホームページ内の仕様表をご覧ください。

→ <http://prius.hitachi.co.jp/>

●PC グリーンラベル制度について



本製品は、JEITA 「PC グリーンラベル制度」 の審査基準 (2006 年度版) を満たしています。

詳細は、PC3R の Web サイトをご覧ください。

→ <http://www.pc3r.jp>

●J-Moss グリーンマーク表示について



本製品は、資源有効利用促進法、及び JIS C 0950 が規定するグリーンマーク表示の基準に適合しています。

適合状況は、下記 URL をご覧ください。

→ <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/flora/policy/environment/index.html>

マニュアルの表記について

	これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。
 警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
注意	これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
 ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイス、パソコンの用語を解説します。
 参照	参照先を示します。
CD/DVD ドライブ	DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ディスクドライブを表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
Windows XP、Windows	Microsoft® Windows® XP Home Edition、Microsoft® Windows® XP Professional を表記します。
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003 を表記します。
Home Style+	Microsoft® Office Home Style+ を表記します。
ワイヤレス LAN 搭載モデル	形名：PCF-PN39K1S、PCF-PN37K1S、PCF-PN33K1S。 ご購入時に、ワイヤレス LAN を選択された場合を表記します。
テレビ機能付きモデル	地上デジタルチューナーユニットが同梱されている機種を表記します。

- ・ マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
- ・ [コントロールパネル] 画面は [クラシック表示] で説明しています。
- ・ URL、お問い合わせ先、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

もくじ

もくじ.....	6
----------	---

1 章 応用操作

ディスプレイを調整する	12
ディスプレイの明るさを変える	12
ディスプレイの表示を変える	12
[画面のプロパティ] の開き方	12
画面の解像度、色、フォントの設定	13
リフレッシュレートの設定	14
音量を調整する.....	15
パソコンの音量を調整する	15
Windows の音量を調整する	16
[音量] アイコンで調整する	16
[ボリュームコントロール] で調整する	17
タスクバーに [音量] アイコンが表示されていないときは	17
リモコンを使って調整する (テレビ機能付きモデルのみ)	18
[P] キー (ワンタッチキー) を設定する.....	19
ワイヤレス LAN を接続する.....	21
ワイヤレス LAN を設定する.....	21
BIOS メニューの設定	21
ワイヤレス LAN を接続する.....	22
バッテリーの使い方	24
バッテリーパックの充電	24
バッテリーでの動作時間	25
動作可能時間を長くするには	26
バッテリーの容量を確認する	26
[電源の管理] の開き方	26
容量を確認する	27
バッテリーの容量が少なくなったときの設定	27
上手にバッテリーを使う	28
バッテリーパックの交換時期	29
交換時期	29
交換方法	30
バッテリーの使用について	30
メール着信通知機能を使う	32
メール着信設定.....	32
ネットワーク切替ユーティリティを使う.....	36

2 章 消費電力を節約する

節電機能とは.....	38
節電する.....	39
自動で節電する.....	39
すぐに節電する.....	41
[終了オプション] から節電する.....	41
電源スイッチで節電する.....	41
節電状態から復帰する.....	43
節電機能を使わないようにするとき.....	44
節電機能を使わないようにするとき.....	44
節電機能を使わないようにするには.....	44

3 章 パソコンを拡張する

周辺機器接続時に必要な設定.....	46
プリンターを接続する.....	47
接続方法.....	47
プリンタードライバーのインストール方法.....	48
プリンタードライバーの削除方法.....	48
使用するプリンターの選択.....	49
USB 機器を接続する.....	50
IEEE1394 機器を接続する.....	51
LAN を接続する.....	52
PC カードを使う.....	53
取り付け手順.....	53
取り外し手順.....	54
メモリーカードを使う.....	56
取り付け手順.....	56
取り外し手順.....	57
ディスプレイを接続する.....	58
接続方法.....	58
表示先を切り替える.....	58
キーで切り替える.....	59
[画面のプロパティ] で切り替える.....	59

マルチディスプレイ表示にする	60
同時表示にする	61
解像度	62
ヘッドホン、マイクを接続する	63
接続方法	63
ドルビーヘッドホンで聴く	64
マイクを使って録音する	65
メモリーボードを取り付ける	67
増設作業時の注意点	67
メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた	68
取り付け手順	68
取り外し手順	69
その他の周辺機器を取り付ける	70

4章 セットアップする

アプリケーションのインストール	72
インストールの前に	72
アプリケーションを削除する	73
アンインストーラーによる削除	73
[プログラムの追加と削除] による削除	73
アプリケーションの個別インストール	74
HDD イメージからのインストール	74
『再セットアップディスク』からのインストール	76
『アプリケーションディスク』からのインストール	78
付属の CD からのインストール	80
各アプリケーションの制限や設定	80
ドライバー、ユーティリティのセットアップ	83
ATK ドライバー	83
表示ドライバー	84
サウンドドライバー	85
モデムドライバー	86
LAN ドライバー	87
タッチパッドドライバー	88
SD メモリーカード / メモリースティックドライバー	89
ワイヤレス LAN ドライバー (ワイヤレス LAN 搭載モデルのみ)	90
オンラインサインアップソフト	90
プラグイン	92
Adobe Reader	94
CyberSupport for HITACHI	94

Windows ファイルを追加セットアップする	96
パーティションの設定	97

5 章 日常のお手入れ

パソコンのお手入れ	104
-----------------	-----

6 章 トラブルと思ったら

制限事項	106
パソコンおよび周辺機器を使用する環境について	106
パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて	107
パソコンおよび周辺機器に関するご注意	107
液晶ディスプレイに関するご注意	108
AC アダプターに関するご注意	108
USB 機器の使用について	109
CD/DVD ドライブに関するご注意	109
CD/DVD ディスクに関するご注意	109
CD/DVD 再生に関するご注意	110
HDD の容量表示について	110
著作権についてのご注意	110
光学式マウスに関するご注意	111
リモコンに関するご注意	111
よくある質問	112
ファイルがうまく管理できない	112
通信がうまくできない	113
インターネット使用中のトラブル	113
インターネットブラウザのトラブル	117
メールの送受信がうまくいかない	120
一括インストールできない	123
PDF ファイルの操作で困った！	123
ソフトウェアのトラブル	123
ソフトウェアをもっと使いこなしたい	124
データのバックアップ	125
さくいん	127



1

1 章 応用操作

この章では、パソコンの設定を工夫し、さらに使いやすくする方法について説明します。

- ≫ ・ディスプレイを調整する (P.12)
- ≫ ・音量を調整する (P.15)
- ≫ ・[P]キー (ワンタッチキー) を設定する (P.19)
- ≫ ・ワイヤレスLAN を接続する (P.21)
- ≫ ・バッテリーの使い方 (P.24)
- ≫ ・メール着信通知機能を使う (P.32)
- ≫ ・ネットワーク切替ユーティリティを使う (P.36)

ディスプレイを調整する

ここではディスプレイの明るさや表示を変更する方法を説明します。

- ・ ディスプレイの明るさを変える
- ・ ディスプレイの表示を変える

ディスプレイの明るさを変える

暗くする

★ [Fn] + [F5] (★)

[Fn] キーを押したまま、[F5] キーを押すと、画面が暗くなります。押すたびに暗くなります。

明るくする

★ [Fn] + [F6] (☀)

[Fn] キーを押したまま、[F6] キーを押すと、画面が明るくなります。押すたびに明るくなります。

※ ヒント ● 暗くするとバッテリーの消費が少なくなり、明るくするとバッテリーの消費が多くなります。

ディスプレイの表示を変える

設定は、[画面のプロパティ] で行います。

- ・ [画面のプロパティ] の開き方
- ・ 画面の解像度、色、フォントの設定
- ・ リフレッシュレートの設定

■ [画面のプロパティ] の開き方

1 [スタート] ボタン— [コントロールパネル] をクリック

[コントロールパネル] 画面が開きます。

2 [画面] アイコンをダブルクリック

[画面のプロパティ] 画面が表示されます。

※ ヒント ● [コントロールパネル] 画面に [画面] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

■ 画面の解像度、色、フォントの設定

重要 ● 設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行くと、正しく動作しないことがあります。

1 [画面のプロパティ] 画面の [設定] タブで、画面の解像度や色を設定する。フォントサイズについては、[デザイン] タブの [フォントサイズ] で設定する。
次の表の組み合わせに従い設定後、[適用] ボタン、[OK] ボタンをクリック

※ヒント ● [デスクトップ] タブでデスクトップの壁紙を変更できます。



画面の解像度	色 * 1	フォントサイズ
800 × 600	中 (16 ビット)	標準 * 2 大きいフォント 特大フォント
	最高 (32 ビット)	
1024 × 768	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット)	
1280 × 800 * 2	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット) * 2	

* 1 : 中 (16 ビット) は 65536 色、最高 (32 ビット) は約 1677 万色です。最高 (32 ビット) に設定した場合ディザリング表示になります。

* 2 : ご購入時のパソコンは、この標準値に設定されています。

2 以降、表示されるメッセージに従って操作する

画面の表示モードが設定されます。

- 重要** ● 画面の表示で問題が発生した場合は、[画面のプロパティ] の [設定] タブの [詳細設定] ボタンをクリックして [トラブルシューティング] タブで [ハードウェア アクセラレータ] を左から 2 つ目の目盛りに設定してください。
- 外付けディスプレイを使用する場合、表示モードによっては外付けディスプレイの表示領域の位置やサイズが異なります。ディスプレイ側で画面を調整してください。調整の方法については、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。
 - アプリケーションによっては、スクロールしたりウィンドウの移行を行ったりしたときに表示の一部が欠けたり乱れたりすることがあります。この時は、再表示してください。
 - パソコンのディスプレイと外付けのディスプレイに同時表示する場合、表示できる最大領域は、いずれのディスプレイもパソコン側の最大領域 (1280 × 800) と同じになります。

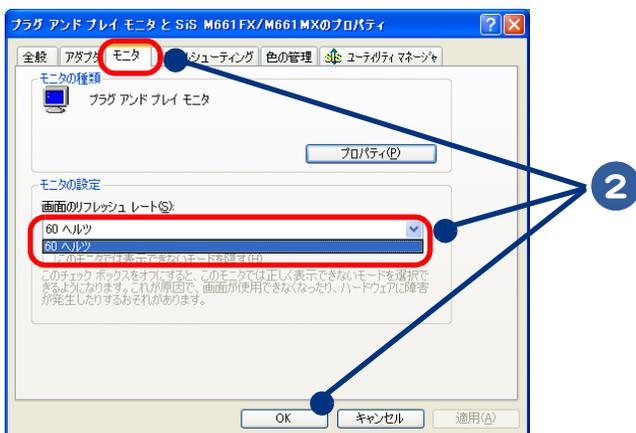
■ リフレッシュレートの設定

外付けディスプレイにのみ表示して使用しているときは、必要に応じて外付けディスプレイのリフレッシュレートを設定できます。リフレッシュレートとは、1秒間にディスプレイの画面を書き換える回数を指します。この数値が高いほどちらつきが少なく、目に負担を与えない画面表示になります。

- 重要**
- 外付けのディスプレイについては、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。
 - ディスプレイの機種により、設定できるリフレッシュレートは異なります。

1 [画面のプロパティ] 画面の [設定] タブで、[詳細設定] ボタンをクリック

2 [モニタ] タブをクリックし、表示したいリフレッシュレートを [リフレッシュレート] から選び、[OK] ボタンをクリック



音量を調整する

ここでは、パソコンの音量を調整する方法を説明します。調整は、パソコンで制御する音量（以下、パソコンの音量）の調整と、Windows で制御する音量（以下、Windows の音量）の調整の2つがあります。どちらかが最低になっていると、音が出ません。両方の調整方法を覚えましょう。

- ・ パソコンの音量を調整する
- ・ Windows の音量を調整する

※ヒント ● アプリケーションを使って音楽などを聴いている場合は、そのアプリケーションでも調整できます。調整のしかたは、アプリケーションのマニュアルなどをご参照ください。

パソコンの音量を調整する

パソコンの音量はキーボードのキーを使って調整します。

★音量を上げる ([Fn] + [F12(🔊)])

[Fn] キーを押しながら [F12] キーを押すと、音量が上がります。

★音量を下げる ([Fn] + [F11(🔊)])

[Fn] キーを押しながら [F11] キーを押すと、音量が下がります。

- 重要** ● パソコンの音量調整を行っても、Windows の音量が最低になっていると、Windows やソフトウェアの音が出ません。Windows の音量も調整してください。
- 完全に音を消すには本章の「キーボードのキーを使って音を消す」をご参照ください。

参照 → Windows の音量の調整方法 → 「Windows の音量を調整する」

キーボードのキーを使って音を消す

キーボードのキーを押して、音を消すことができます。

★音を消す ([Fn] + [F10])

[Fn] キーを押しながら、[F10] キーを押すと音を消せます。もう一度押すと元に戻ります。

Windows の音量を調整する

Windows の音量は、タスクバーの [音量] アイコンなどで調整します。

- ・ [音量] アイコンで調整する
- ・ [ボリュームコントロール] で調整する
- ・ タスクバーに [音量] アイコンが表示されていないときは
- ・ リモコンを使って調整する (テレビ機能付きモデルのみ)

重要 ● Windows の音量調整を行っても、パソコンの音量が最低になっていると、音が出ません。パソコンの音量も調整してください。

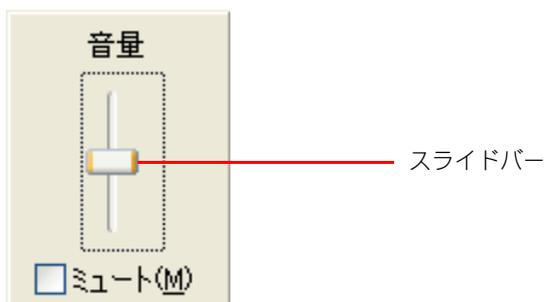
参照 → パソコンの音量の調整方法 → 「パソコンの音量を調整する」

■ [音量] アイコンで調整する

1 タスクバーの [音量] アイコンをクリック

[音量] を調整するスライドバーが表示されます。

2 スライドバーを上下にドラッグして、音量を調整する



※ヒント ● 「ミュート」にチェック (☑) が付いていると、音が出ません。

■ [ボリュームコントロール] で調整する

Windows の [ボリュームコントロール] を使うと、CD プレーヤーの音量や、録音レベルも調整できます。

1 タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリック

[ボリュームコントロール] 画面が表示されます。

2 音量やバランスを調整したい箇所のスライダーを上下に動かして、調整する



※ ヒント

- 項目の意味は、次のとおりです。

ボリュームコントロール : 全体的な音量を調整
WAVE : WAV ファイルなどの音量を調整
SW シンセサイザ : MIDI ファイルなどの音量を調整
CD プレーヤー : 音楽 CD の音量を調整
(Windows Media Player で音楽 CD を再生する場合は使用しません。)
電話 : モデムの発信音を調整

- [全ミュート] または [ミュート] にチェック が付いていると、音が出ません。

■ タスクバーに [音量] アイコンが表示されていないときは

1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリック

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [サウンドとオーディオデバイス] アイコンをダブルクリック

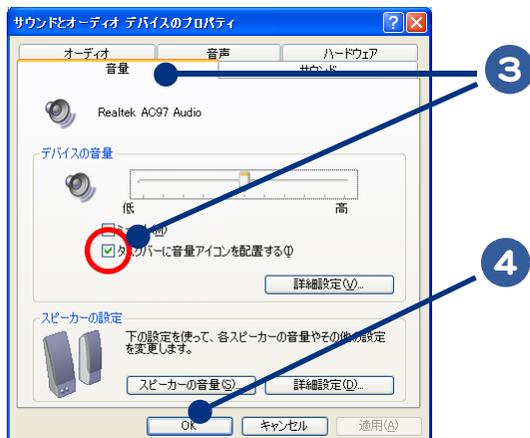
[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。

※ ヒント

- [コントロールパネル] 画面に [サウンドとオーディオデバイス] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

3 [音量] タブの [タスクバーに音量アイコンを配置する] をクリックして、チェック を付け、[適用] ボタンをクリック

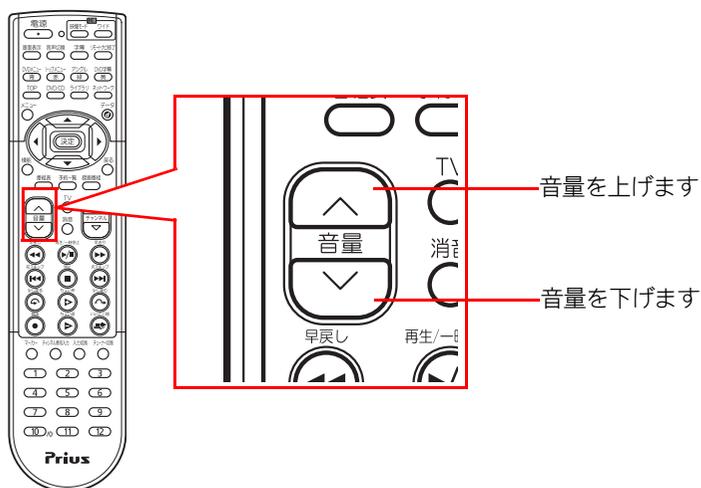
4 [OK] ボタンをクリック



■ リモコンを使って調整する(テレビ機能付きモデルのみ)

リモコンの音量ボタン(▲、▼)を押して、適切な音量に調整できます。

※ヒント ● リモコンの音量ボタンは、Windowsの[ボリュームコントロール]を調整しています。



[P] キー（ワンタッチキー）を設定する

[P] キーを押すと、設定したアプリケーションが立ち上がります。ここでは、設定のしかたを説明します。

ご購入時は、「カラーエンハンス機能」が設定されています。

※ヒント ● カラーエンハンス機能設定時は、アプリケーションは立ち上がりません。

設定のしかた

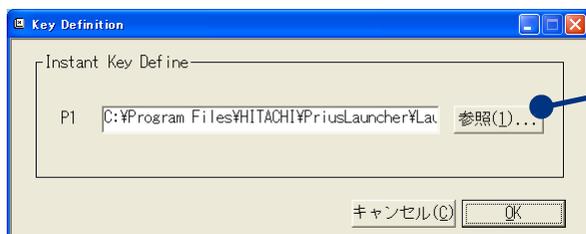
ここでは、例として [P] キーにメモ帳を割り付ける場合を説明します。

- 1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする
- 2 [スタート] ボタン—[すべてのプログラム]—[HITACHI Keydefin]—[HITACHI Keydefin] をクリック

[Key Definition] 画面が表示されます。

- 3 [参照(1)] ボタンをクリック

[ファイルを開く] が表示されます。

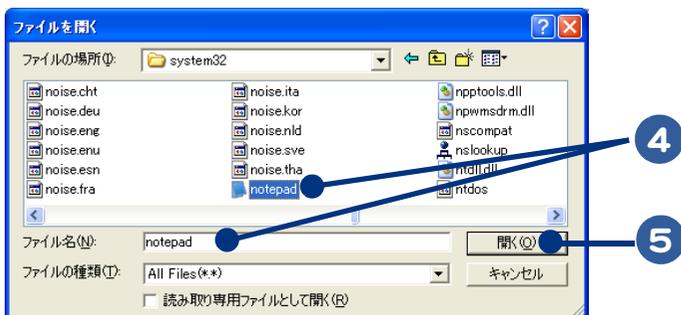


- 4 [ファイルの場所] を選択して、[C:] — [WINDOWS] — [system32] を開いて [notepad] を選択する

[ファイル名] に [notepad] が表示されます。

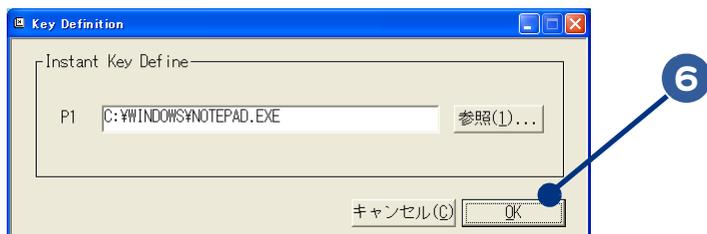
5 [開く] ボタンをクリック

[P] キーにメモ帳が割り付けられます。



6 [OK] ボタンをクリック

[Key Definition] 画面が閉じられます。



※ ヒント ● カラーエンハンス機能を再度有効にするには、「P1」内の文字をすべて消して、[OK] ボタンをクリックしてください。

ワイヤレス LAN を接続する

ワイヤレス LAN 搭載モデルの場合、ワイヤレス LAN を設定するとワイヤレス LAN アクセスポイントに接続されている回線と通信を行うことができます。ここではワイヤレス LAN アクセスポイントへの接続方法を説明します。

- ・ ワイヤレス LAN を設定する
- ・ BIOS メニューの設定
- ・ ワイヤレス LAN を接続する

※ヒント

- ワイヤレス LAN を接続するには、ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定が必要です。設定方法はワイヤレス LAN アクセスポイントに付属のマニュアルをご参照ください。
- ワイヤレス LAN アクセスポイントの電源を入れ、通信可能な距離で設定してください。

ワイヤレス LAN を設定する

パソコンを立ち上げた際に、ワイヤレス LAN を使用可能な状態にする手順を説明します。

重要

- 次の手順で変更する設定は、変更したユーザーに対してのみ有効になります。

1 パソコンの電源を入れ、設定を変更したいユーザーでログオンする

2 [Fn] + [F2] キーを押す

ワイヤレス LAN ランプが点灯し、ON の状態になります。

BIOS メニューの設定

ご購入時に使用できるように設定されています。

1 パソコンの電源を入れる

2 パソコンの立ち上げ中、画面中央に [HITACHI] と表示されたら、[F2] キーを押す

BIOS メニューの [Main] 画面が表示されます。

3 [→] キーで、[Security] メニューを選び、[↓] キーで [I/O Interface Security] - [Wireless Network Interface] を選んで [Enter] キーを押す

[UNLOCKED] または [LOCKED] を選択するウィンドウが表示されます。

4 [↑] または [↓] キーを押して設定値を [UNLOCKED] にし、[Enter] キーを押す

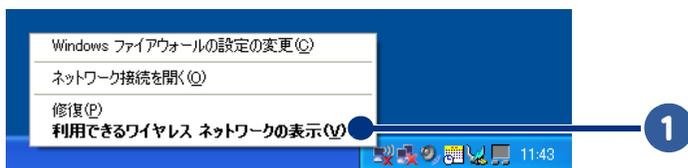
5 [F10] キーを押す

設定内容を保存する確認のメッセージが表示されます。

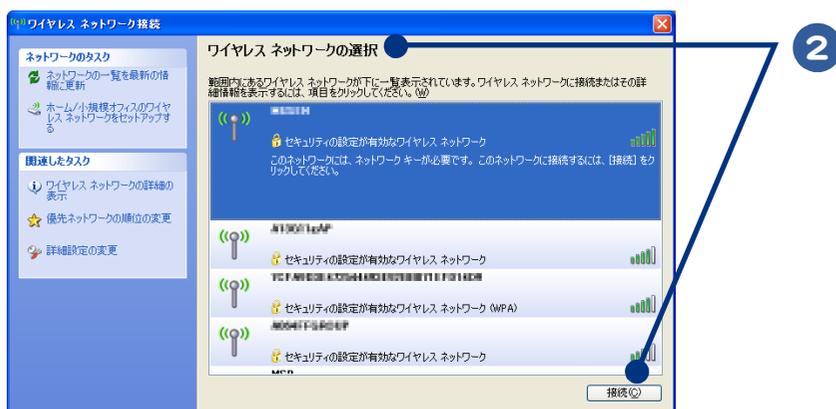
6 [OK] を選び、[Enter] キーを押す

ワイヤレス LAN を接続する

1 タスクバーにある [ワイヤレスネットワーク接続] アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリック



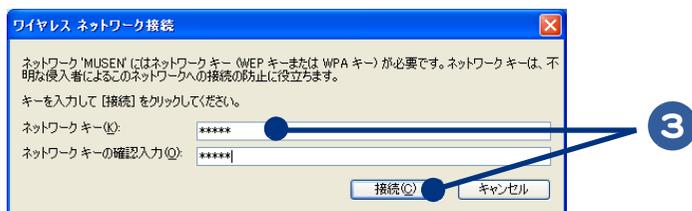
2 受信可能なアクセスポイントが [ワイヤレス ネットワークの選択] に一覧表示されるので、接続したいネットワークを選択し、[接続] ボタンをクリック



※ヒント ● [コントロール パネル] - [ネットワーク接続] - [ワイヤレスネットワーク接続] の [プロパティ] 内の [ワイヤレスネットワーク] タブでも設定できます。

3 ネットワークキーの設定が必要な場合は、ネットワークキーを入力し、[接続] ボタンをクリック

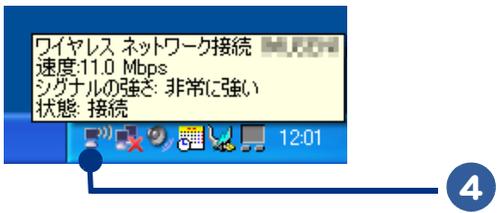
ワイヤレス LAN がアクセスポイント機器に接続されます。





4 [ワイヤレスネットワーク接続] アイコンをクリック

[ワイヤレスネットワーク接続の状態] が表示されます。



5 [全般] タブの「シグナルの強さ」の緑のアンテナが4本以上表示されていれば良好な接続状態

※ヒント ● [サポート] タブの [詳細] ボタンをクリックすると「IPアドレス」や「物理アドレス (MAC アドレス)」が確認できます。

6 [閉じる] ボタンをクリック



重要 ● アクセスポイントが見つからない場合や「シグナルの強さ」の緑のアンテナが少ない場合は、一度パソコンとアクセスポイントの電源を切り、近づけてから再度設定を行ってください。
● IEEE802.11a のチャンネルは 34、36、38、40、42、44、46、48、52、56、60、64ch です。IEEE802.11b、IEEE802.11g のチャンネルは 1ch ~ 13ch です。アクセスポイントのチャンネルをこの範囲に設定してください。

バッテリーの使い方

ここでは、バッテリーの使い方について説明します。

- ・バッテリーパックの充電
- ・バッテリーでの動作時間
- ・バッテリーの容量を確認する
- ・上手にバッテリーを使う
- ・バッテリーパックの交換時期
- ・バッテリーの使用について

バッテリーパックの充電



- ・バッテリーパックは必ず本パソコンに取り付けて充電してください。
- ・バッテリーパックは同梱のものかオプション指定されたものを使用してください。それ以外のものを使用すると、電圧、最大出力電流および+-の極性が異なっていることがあるため、破裂、発火の原因になります。

1 パソコンの電源を切り、バッテリーパックを取り付ける

参照 → バッテリーパックの取り付けについて→紙マニュアル『準備しよう！Prius』2章の「バッテリーパックの取り付け方」

2 ACアダプターをパソコンに接続する

充電が始まる。充電中はバッテリーランプが点灯し、満充電になると消灯する。

充電時間

	バッテリーパック
パソコンの電源を切って充電	2～3時間
パソコンを使用しながら充電	2～5時間



- 放電しきったバッテリーパックや、充電せず長期間放置（過放電状態に）したバッテリーパックを充電する場合は、通常時に比べ、充電に時間がかかることがあります。また、バッテリーランプが消灯しても満充電にならない場合があります。Windowsの電源メーターで確認し、充電が不十分な場合は、バッテリーパックを取り付け直して再充電してください。
- バッテリーの残容量が95%以上の場合は充電を開始しません。



- バッテリーの充電時間は、パソコンの使用環境、周辺機器の接続状況、バッテリーパックの劣化状態などに応じて異なります。
- パソコンを使用できる環境（温度、湿度）でバッテリーパックを充電しないと、満充電にならないことがあります。
- ACアダプターでのパソコン使用時、充電状態のバッテリーパックを取り付けていると突然の停電のときにも対応できます。
- 放電直後や充電直後などでバッテリーパックの温度が高いと、バッテリーランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。

参照 → バッテリーパックの仕様について→紙マニュアル『準備しよう！Prius』4章の「バッテリーパックの仕様」

充電状態の確認

充電状態はインジケータランプで確認します。

- ・充電中 : バッテリーランプが点灯
- ・満充電 : バッテリーランプが消灯

※ヒント ● 放電直後や充電直後などでバッテリーパックの温度が高いと、バッテリーランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。

バッテリーでの動作時間

バッテリーを満充電にした状態での動作可能時間は次のようになります。

CPU	バッテリーパック
Core™ 2 Duo	約 2.9 時間
Celeron M	約 2.6 時間

※ヒント ● 動作可能時間は、JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver1.0) により測定、算出した値です。

・測定 a)

< 条件 >

- 動作 : Windows Media Player にて測定動画ファイルを連続再生
- 音量 : ミュート
- 輝度 : 20cd/㎡以上 (下から 3 段目)
- 壁紙 : 白に設定

「電源オプションのプロパティ」内の設定

- ・「電源設定」タブ
 - 「電源設定」を「バッテリーの最大利用」に設定
 - 「バッテリー使用」の項目
 - 「ハードディスクの電源を切る」: 3 分
 - その他の設定を全て「なし」に設定

- ・「アラーム」タブ
 - 「バッテリー低下アラーム」: 動作は「何もしない」
 - 「バッテリー切れアラーム」: 動作は「何もしない」

・測定 b)

< 条件 >

- 動作 : Windows デスクトップ画面表示
- 輝度 : 最低設定
- スクリーンセーバー : なし

「電源オプションのプロパティ」内の設定

- ・「電源設定」タブ
 - 「電源設定」を「バッテリーの最大利用」に設定
 - 「バッテリー使用」の項目
 - 「ハードディスクの電源を切る」: 3 分
 - その他の設定を全て「なし」に設定

- ・「アラーム」タブ
 - 「バッテリー低下アラーム」: 動作は「何もしない」
 - 「バッテリー切れアラーム」: 動作は「何もしない」

■ 動作可能時間を長くするには

バッテリーを長時間使用するには、次の方法で消費電力を抑えて節電してください。

節電機能を使う

節電機能を使うように設定して、一定時間パソコンを操作しないしていると節電機能が働いて消費電力を抑えます。ディスプレイを閉じることで節電機能が働きます。

参照 → 節電機能の設定について → 「節電する」

- 重要**
- 次の状態のときは、電源スイッチで節電機能を働かせないでください。
 - ・ ディスク (HDD、FD、CD/DVD など) の読み書き中
 - ・ システムやアプリケーションの立ち上げ中
 - ・ PC カードの機能を使用中
 - ・ 音声、動画ファイルの再生中

参照 → 節電機能が使えない状態について → 「節電機能を使わないようにするとき」

こまめに電源を切るか、システムスタンバイ状態にする

パソコンを使用しないときは、なるべくシステムスタンバイ状態にしたり、電源を切ってください。

画面の明るさを下げる

[Fn] + [F5] (※) キーを押してディスプレイの明るさを下げると、消費電力を抑えられます。

- 重要**
- バッテリーでパソコンを動作させた場合、上記の方法を行わなくても、画面が多少暗くなる場合があります。消費電力を抑えるために自動的に輝度を低くしており、パソコンには問題はありません。

音量を下げる

キーボードの [Fn] キーを押しながら [F11] (▼) キーを押して音量を下げると、消費電力を抑えられます。

バッテリーの容量を確認する

パソコン使用中にバッテリーの容量を Windows の [電源の管理] で確認できます。
[電源の管理] では、バッテリーの容量がわずかになったとき、パソコンをどうするかを設定することもできます。

- ・ [電源の管理] の開き方
- ・ 容量を確認する
- ・ バッテリーの容量が少なくなったときの設定

■ [電源の管理] の開き方

1 [スタート] ボタン - [コントロール パネル] をクリック

[コントロール パネル] 画面が表示されます。

2 [電源オプション] をダブルクリック

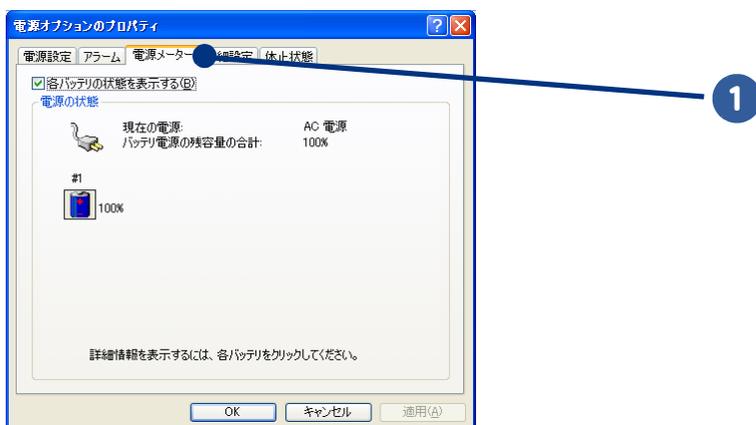
[電源オプションのプロパティ] 画面が表示されます。

- ※ヒント**
- [電源オプションのプロパティ] 画面は、タスクバーの電池のアイコンを右クリックして開くこともできます。
 - [コントロールパネル] 画面に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

容量を確認する

1 [電源オプションのプロパティ] 画面の [電源メーター] タブをクリック

バッテリーの容量を確認できます。



- ※ヒント**
- 使用環境や動作状態により、容量の値が大きく変動したり正確な値が表示されないことがあります。
 - バッテリーパックを取り付けた直後は、実際の容量と表示される容量の誤差が大きい場合があります。一度、満充電にすると誤差は小さくなります。
 - バッテリーパックが満充電でも 100% と表示されないことがあります。

バッテリーの容量が少なくなったときの設定

バッテリーの容量が少なくなった場合に、アラームを鳴らしたり、自動的に休止状態になるよう設定できます。

標準では、休止状態が働くように設定されています。

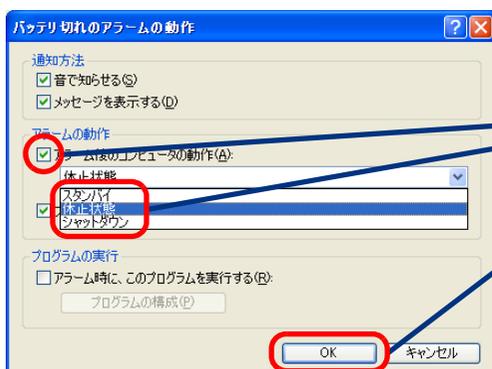
このほかの設定は標準値のままお使いください。

1 [電源オプションのプロパティ] 画面の [アラーム] タブをクリック

2 「バッテリー切れアラーム」の「アラームの動作」ボタンをクリック



3 「アラームの動作」の「アラーム後のコンピュータの動作」をチェックして、「スタンバイ」または「休止状態」を選び、「OK」ボタンをクリック



4 「アラーム」タブで「適用」ボタンをクリック

上手にバッテリーを使う

ここでは、上手なバッテリーの使い方を説明します。

過放電しない

満充電のバッテリーパックをパソコンに取り付け、ACアダプターを接続せずに1ヶ月以上使用しないと過放電になります。また、残量の少ないバッテリーパックをパソコンに取り付けて2～3日放置すると、過放電になります。過放電したバッテリーパックは、充電が始まるまでに数時間かかったり、充電できる容量が少なくなります。また、過放電がひどくなると、そのバッテリーパックは使用できなくなることがあります。

長期間使用しないときでも、1ヶ月に一度は充電する

バッテリーは使用しなくても少しずつ消費されています。Windowsの「電源の管理」でバッテリーの残量を確認し、15%以下であれば充電してください。また、長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度は充電してください。

バッテリー容量が少なくなったら必ず充電する

バッテリーの容量が少なくなった状態で、そのまま使用を続けると突然電源が切れ、HDD 内のデータが壊れる場合があります。容量が少なくなったら必ず充電してください。

定期的に完全放電する

使い方によっては、見かけ上の残容量が減り、使用時間が短くなることがあります。これを防ぐため、1ヶ月に一回程度、バッテリーを完全放電することをおすすめします。完全放電する場合は、次の手順を行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、パソコンの立ち上げ中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[F2] キーを押す

BIOS メニューの [Main] 画面が表示されます。

2 AC アダプターを取り外し、バッテリー駆動にする

完全放電が完了すると、パソコンの電源が切れます。

3 完全放電後、AC アダプターを接続し充電する

重要 ● 完全放電したまま放置しないでください。バッテリーが過放電状態になります。

ヒント ● 完全放電は、バッテリーが満充電のときから行う必要はありません。残量が少なくなるときから行えば、それだけバッテリーが切れるまでの時間は短くなります。

バッテリーパックの交換時期

バッテリーパックを交換する方法について説明します。

- ・ 交換時期
- ・ 交換方法

■ 交換時期

警告メッセージが表示されたら、バッテリーの残量は 10% 未満です。この状態を「Low Battery」といいます。Low Battery になったら、バッテリーパックを交換してください。Low Battery のまま放置し、残量が 8% 未満になると、再び警告メッセージが表示され、[電源の管理] で設定した状態（スタンバイまたは休止状態）になります。

休止状態の場合

休止状態では、現在の状態を保存して電源が切れます。AC アダプターを接続するか、満充電のバッテリーパックと交換してから電源を入れてください。

スタンバイの場合

すぐに AC アダプターを接続してください。スタンバイのまま放置するとバッテリーがなくなり電源が切れます。スタンバイから復帰するには電源スイッチを約 1 秒押します。

- 重要**
- AC アダプターを接続しない場合は、システムスタンバイ状態から復帰させないでください。復帰には電力が多く使われるため、バッテリーが切れ、復帰しないことがあります。
 - ディスク (HDD、FD、CD/DVD など) へのアクセス中にスタンバイまたは休止状態が始まった場合は、復帰しても元の状態に戻らないことがあります。
 - スタンバイから復帰する際は、電源スイッチを 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れます。
 - パソコンの電源が切れていてもバッテリーは消耗します。1ヶ月以上使用しないときは、ときどき充電するか、パソコンからバッテリーパックを外してください。

交換方法

次のいずれかの方法で行ってください。
交換するバッテリーパックは、少なくとも残量が 30% 以上のものを使用してください。

電源を切って交換

1 パソコンの電源を切る

2 バッテリーパックを交換する

電源を切らずに交換

1 AC アダプターを接続する

2 システムスタンバイ状態にする

- 重要**
- システムスタンバイ状態にしないで交換すると、HDD に衝撃が加わって故障する原因になります。

3 10 秒以上待ってからバッテリーパックを交換する

- 重要**
- バッテリーパックを交換した直後は、正確な残量表示ができないことがあります。いったん満充電まで充電するか、バッテリーを使い切ると正しい残量を表示します。

バッテリーの使用について

- ・ お買い上げ直後、または長時間バッテリーを使わなかった場合、満充電にしても使用可能時間が短いことがあります。放電 (使用) と充電を数回繰り返すと元の使用可能時間に戻ります。
- ・ バッテリーパックは湿気の少ない涼しい場所で保管してください。
- ・ バッテリーパックには寿命があります。使用可能時間が短くなってきたら、新品と交換してください。
- ・ バッテリーパックの金属部分には素手で触れないでください。

参照 → バッテリーパックの寿命について → 紙マニュアル『準備しよう! Prius』4 章の「有寿命部品一覧」



警告

バッテリーパックは次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。

- 電池の＋端子間をショートさせない。
- 火中に投入したり、60℃以上に加熱しない。
- 落下などの強い衝撃を与えない。
- 外装パックが著しく破損するような衝撃を与えない。
- 濡れた布で金属部分を拭かない。
- 水に濡らしたり、濡れた手で触れない。
- 分解・改造しない。
- 火のそばや炎天下、暖房器具の近くなどで使用、放置、充電しない。
- 指定外のバッテリーパックを使用しない。
- 液漏れしている場合には、素手で触れない。万一付着した場合は、流水で洗い流す。

注意

- 使用済みのバッテリーパックは、希少資源 (Li-ion) の有効利用のために、端子または接続コードにテープをはるなどの処置をしてから、充電式電池リサイクル協力店に持参して頂くか、お問い合わせ先へ処分方法をお問い合わせください。

参照

→ お問い合わせ先→紙マニュアル『必ずお読みください』1章の「困ったときのお問い合わせ先」

メール着信通知機能を使う

自動的にメールの有無を取得し、画面にメッセージを通知する機能があります。ここでは、その設定方法を説明します。

- ※ ヒント**
- メール着信設定は、設定した時間にメールサーバーにアクセスしメールがある場合に通知します。ただし、[休止状態] や Windows が終了した状態では通知しません。
 - 「Outlook 2003」、「Outlook Express」のメールアカウント設定で、「サーバーにメッセージのコピーを置く」が になっていると、新着メール以外もメールサーバーに残るため、通知します。
 - サーバーには容量制限があります。多数のメールをサーバーに残しておく、新しいメールを受信するための容量が不足し、メールを受信できなかったり、古いメールから自動的に削除されることがあります。サーバーに残したメールを定期的に削除してください。

- ▲ 重要**
- 使用するメール受信用プロトコルはPOPにしてください。ほかのプロトコルは使用できません。
 - インターネットへの接続設定が済んでいないと、使用できません。
 - メール着信設定を利用する場合、受信メールサーバーの設定をしたあとに [接続テスト] ボタンをクリックし、接続テストを行ってください。ダイヤルアップで接続する場合、選択したプロバイダーによっては「ダイヤルアップの設定を変更してください」というメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合には、その内容に従って設定を変更してください。
 - アカウントの種類は [コンピュータの管理者] でお使いください。それ以外のアカウントでは正しく動作しないことがあります。
 - パソコンを複数のユーザーで使用している場合は、自動ログオン設定を行う必要があります。
 - スタンバイから復帰するときのパスワードを無効にしてください。[コントロール パネル] - [電源管理] - [詳細設定] タブをクリックし、「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」のチェックを外します。
 - Windows が終了した状態では、設定した時間になってもメール着信の有無を取得しません。

- 参照 →**
- ・ インターネットの設定詳細について→電子マニュアル『使おう!インターネット』の「1章 インターネットに接続する」
 - ・ 複数ユーザーで使用する→電子マニュアル『パソコン入門』4章の「一台のパソコンを複数の人で使おう」

メール着信設定

1 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [Prius Navistation4] - [メール着信設定] をクリック

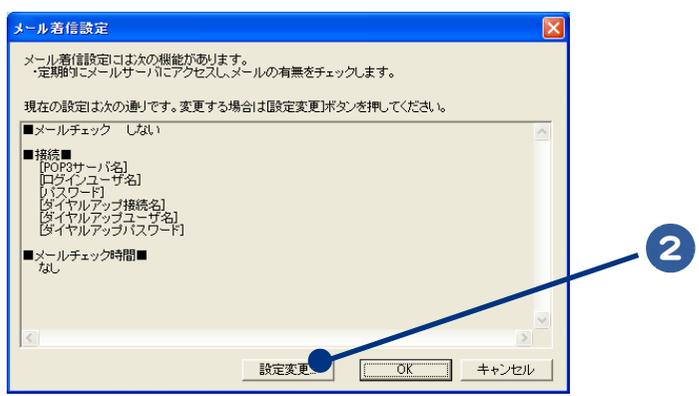
[メール着信設定] が立ち上がります。

- ※ ヒント**
- [メール着信設定] は、わくわくナビからも立ち上げられます。



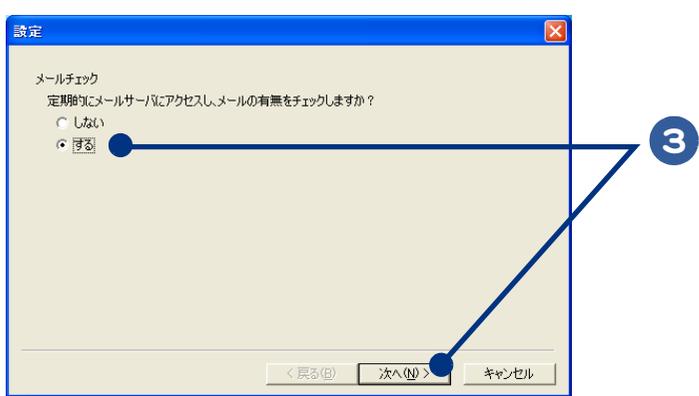
2 [設定変更] ボタンをクリック

画面が切り替わります。



3 [する] をクリックして を にし、[次へ] ボタンをクリック

画面が切り替わります。



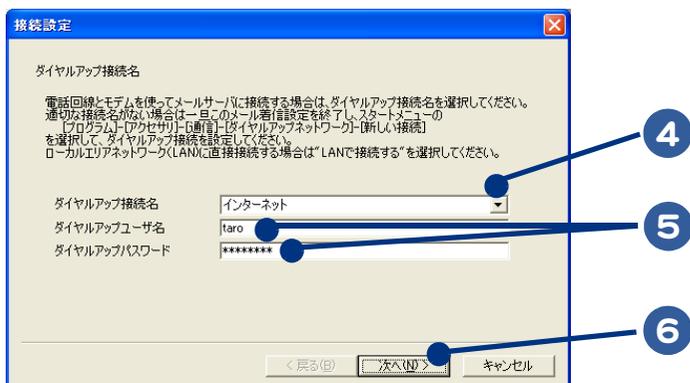
4 をクリックし、ダイヤルアップ接続名をクリック

- 重要** ● 接続名がないときは [キャンセル] ボタンをクリックし、このメール着信設定を終了します。インターネットへの接続を設定してください。
- 参照** → インターネットの設定詳細について→電子マニュアル『使おう！インターネット』1章の「インターネットに接続する」

5 [ダイヤルアップユーザ名] 欄にユーザー名、[ダイヤルアップパスワード] 欄にパスワードをそれぞれ入力する

6 [次へ] ボタンをクリック

[メールサーバ設定] 画面が表示されます。



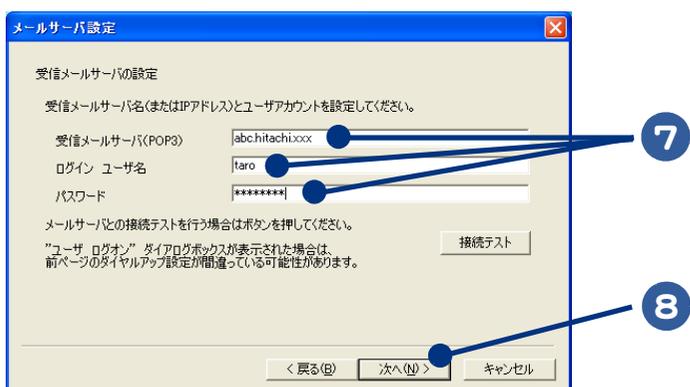
※ヒント ● 電話回線と内蔵モデム以外でメールサーバに接続している場合は、[ダイヤルアップユーザ名]、[ダイヤルアップパスワード] の入力はありません。

7 [受信メールサーバ (POP3)] 欄にプロバイダーの受信メールサーバ名、[ログインユーザ名] 欄にユーザー名、[パスワード] 欄にメール受信用のパスワードをそれぞれ入力する

8 [次へ] ボタンをクリック

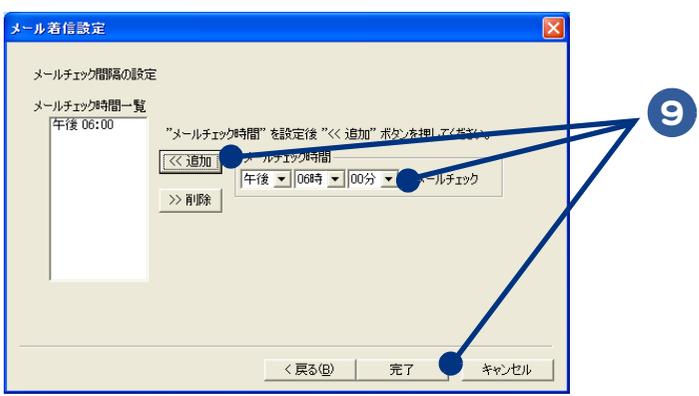
画面が切り替わります。

※ヒント ● [接続テスト] ボタンをクリックして、接続テストを行うこともできます。





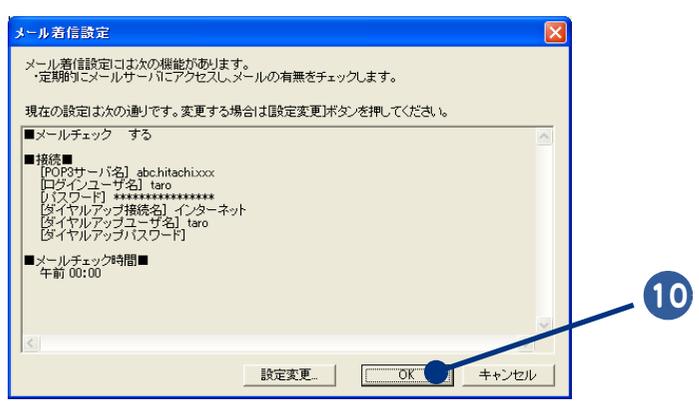
9  をクリックし、メールチェック時間を指定して [追加] ボタンをクリックし、[完了] ボタンをクリック



- ※ヒント**
- メールチェック時間を複数設定したい場合は、手順9を繰り返してください。
 - メールチェック時間を削除したい場合は、「メールチェック時間一覧」から不要なメールチェック時間をクリックし、[削除] ボタンをクリックしてください。
 - メールチェック時間は32個まで登録できます。

10 [OK] ボタンをクリック

メールチェック時間が設定され、[メール着信設定] 画面が閉じます。



ネットワーク切替ユーティリティを使う

ネットワーク切替ユーティリティは有線 LAN ネットワークを利用した環境や、外出先からのダイヤルアップ環境など、あらかじめ作成したネットワーク設定（プロファイル）を切り替えることができるソフトウェアです。

※ヒント ● このユーティリティは、管理者権限が必要になります。

1 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [HITACHI ネットワーク切替ユーティリティ] - [初期設定ツール] をクリック

2 使用するネットワークデバイスを選択して、[保存] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリック

[切り替え可能なネットワークデバイス]

- ・ 内蔵有線 LAN
- ・ 内蔵ワイヤレス LAN(ワイヤレス LAN 搭載モデルのみ)
- ・ LAN デバイス *
- ・ 内蔵モデム
- ・ モデムデバイス *

* [初期設定ツール] で設定した LAN デバイス、モデムデバイスの切り替えを行います。

3 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [HITACHI ネットワーク切替ユーティリティ] - [HITACHI ネットワーク切替ユーティリティ] をクリック

[切り替え可能項目]

- ・ ネットワーク / モデムデバイスの有効 / 無効の切り替え
- ・ TCP/IP プロトコルの設定変更
- ・ Internet Explorer の設定変更

4 [ファイル] メニューの [名称] - [新規作成] をクリックし、登録名称を入力し、[現在の PC の情報を読取って作成する] を選択し、[OK] ボタンをクリック

5 [ファイル] メニューの [パラメータ変更] をクリックし、ネットワークの各種設定を入力する

※ヒント ● 詳しい使い方については、[スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [HITACHI ネットワーク切替ユーティリティ] - [ネットワーク切替ユーティリティの使い方] をクリックし、ヘルプをご参照ください。



2

2章 消費電力を節約する

この章では、パソコンの消費電力を節約する方法について説明します。

- >> ・ 節電機能とは (P.38)
- >> ・ 節電する (P.39)
- >> ・ 節電状態から復帰する (P.43)
- >> ・ 節電機能を使わないようにするとき (P.44)

節電機能とは

CPU や HDD、ディスプレイの働きを一時的に停止させることで、消費電力を節約できます。この機能を節電機能といいます。また節約している状態を節電状態と呼びます。

	機 能	内 容	電源ランプの状態
パソコン全体の節電	スタンバイ	・ CPU への電源供給を一時的に停止する ・ 接続した周辺機器への供給電力を減らす ・ ディスプレイを消す ・ HDD のモーターを停止する	点滅
	休止状態	・ 現在の使用状況を HDD に保存し、パソコンの電源を切る	消灯
ディスプレイの節電		・ ディスプレイを消す	点灯
HDD の節電		・ HDD のモーターを停止する	

- 重要**
- アプリケーションによってはその使用中に節電機能にならなかったり、節電機能が働くまでに時間がかかることがあります。
 - IEEE1394 機器、または USB スピーカーを接続しているときは、スタンバイは使用できません。

節電する

消費電力を自動で節電したり、特定のボタンを押して節電します。節電するには、次の方法があります。

- ・ 自動で節電する
- ・ すぐに節電する

自動で節電する

パソコンをしばらく操作しないでいると、自動で消費電力が節約されます。どのくらいの時間で節約されるかは、[コントロールパネル] の [電源オプション] で設定します。ご購入時は次の設定になっています。

★ AC アダプター使用時

- ・ 15分操作しないと・・・ディスプレイが節電される
- ・ 20分操作しないと・・・スタンバイ状態になる
- ・ 3時間操作しないと・・・休止状態になる

★ バッテリー使用時

- ・ 5分操作しないと・・・スタンバイ状態になる
- ・ 2時間操作しないと・・・休止状態になる

時間を設定する

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリック

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [電源オプション] アイコンをダブルクリック

[電源オプションのプロパティ] 画面が表示されます。

※ ヒント ● [コントロールパネル] 画面に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

3 [電源設定] タブをクリック

4 [電源設定] タブで、各項目にどのくらいパソコンを操作しないでいると節電状態になるかを設定する



- ・ モニタの電源を切る : ディスプレイの節電
- ・ ハードディスクの電源を切る : HDD の節電
- ・ システムスタンバイ : パソコン全体の節電 (スタンバイ)
- ・ システム休止状態 : パソコン全体の節電 (休止状態)

5 [適用]、[OK] の順にボタンをクリック

- 重要**
- [システムスタンバイ] を設定しても、使用しているアプリケーションにより時間どおりに節電状態にならないことがあります。
 - [システムスタンバイ] と [モニタの電源を切る] を同じ時間の設定にしないでください。パソコンが正しく動かないことがあります。

- ※ ヒント**
- AC アダプター使用時とバッテリー使用時の、それぞれの時間を設定できます。
 - [システム休止状態] が表示されないときは、[休止状態] タブで [休止状態を有効にする] にチェック (☑) を付けて [適用] ボタンをクリックしてください。標準では、チェックは付いています。

- 重要**
- [電源オプション] の [電源メーター] タブを開いているときに、AC アダプターやバッテリーの抜き差しをしても、[電源メーター] のアイコンはすぐに更新されません。

すぐに節電する

パソコンから離れるときなどに、次のようにして消費電力を節約できます。

- ・ [終了オプション] から節電する
- ・ 電源スイッチで節電する

重要

- 音声や動画ファイルを再生中は、ここで説明する方法は行わないでください。節電状態から復帰したとき、正しく音声や動画ファイルを再生できないことがあります。
- スタンバイ状態にするときは電源ランプが点灯するまで、キーボードのキーを押したり、マウスを動かさないでください。復帰したときに、キーボードやマウスが動作しなくなることがあります。

■ [終了オプション] から節電する

次のようにしてパソコンを節電状態にできます。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[終了オプション] をクリック

[コンピュータの電源を切る] が表示されます。

2 [スタンバイ] ボタンをクリック、または [Shift] キーを押しながら [休止状態] をクリック

スタンバイまたは休止状態になります。



■ 電源スイッチで節電する

[Fn] キーを押しながら [F1] キーを押すと、スタンバイ状態になります。

この設定は、[コントロールパネル] の [電源オプション] で行います。[電源オプション] の設定を変えると、ディスプレイを閉じたり、電源スイッチを押したときに節電状態になります。

※ ヒント

- ポインティングパッドに指などが触れていると、[Fn] + [F1] キーを押しても、節電状態にならないことがあります。
- 「シャットダウン」は、[終了オプション] から Windows を終了するのと同様に、4秒未満電源スイッチを押すことで電源を切る機能です。

設定方法

1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリック

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [電源オプション] アイコンをダブルクリック

[電源オプションのプロパティ] 画面が表示されます。

※ヒント ● [コントロール パネル] 画面に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

3 [詳細設定] タブで、各項目を「スタンバイ」や「休止状態」に設定する

- ・ ポータブルコンピュータを閉じたとき (ディスプレイを閉じたとき)
- ・ コンピュータの電源ボタンを押したとき (電源スイッチを押したとき)
- ・ コンピュータのスリープボタンを押したとき ([Fn] + [F1] キーを押したとき)



※ヒント ● [ポータブルコンピュータを閉じたとき] を「なし」に設定しても、ディスプレイを閉じたときに画面表示は消えます。

4 [OK] ボタンをクリック

節電状態から復帰する

節電状態から復帰させるには、次のように操作してください。

ディスプレイの節電状態からの復帰

- ・ キーボードの [Shift] キーを押す
- ・ ポインティングパッドまたはマウスを操作する

HDD の節電状態からの復帰

- ・ フォルダーを開くなど、HDD にアクセスする操作を行う

スタンバイからの復帰

- ・ キーボードの [Shift] キーを押す
- ・ パソコンの電源スイッチを押す

休止状態からの復帰

- ・ パソコンの電源スイッチを押す

▲ 重要

- 電源スイッチは4秒以上押さないでください。4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。
- 節電状態から復帰させるときは、20秒以上時間をおいてください。20秒未満で復帰させると、ディスプレイが正しく表示されなかったり、キーボードやマウスが正しく動かないことがあります。
- スタンバイ状態中にキー入力を行うと、入力したキーが復帰後に有効になることがあります。
- ソフトウェアの環境によってスタンバイから復帰できないことがあります。この場合は、スタンバイ以外の節電をご使用ください。
- 接続しているUSB機器や、IEEE1394機器によってスタンバイや休止状態から復帰しない場合や、復帰後および再起動後に動作が不安定になる場合があります。その場合、スタンバイや休止状態は使用しないでください。機器によってはパソコン本体に接続しているケーブルを抜き差しすることで動作が改善される場合もあります。
- 休止状態で、FDやCD-ROMなどのディスクをドライブに入れしないでください。休止状態から復帰したとき、ディスクから立ち上がらなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。このときは、ディスクを取り出し、[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押して立ち上げ直してください。
- 休止状態から復帰時に数秒画面が乱れる場合があります。動作に問題はありません。
- スタンバイ、休止状態から復帰したとき、特定のPCカードが正常に動作しない場合があります。

節電機能を使わないようにするとき

ここでは、どんなときに使わないようにするか、その設定の仕方を説明します。

節電機能を使わないようにするとき

次のときは、スタンバイや休止状態にならないようにしてください。これらの機能・プログラムでデータを扱っている最中に節電機能が働くと、データが失われることがあります。

- ・再セットアップ中
- ・システムやアプリケーションの立ち上げ中
- ・ディスク（HDD、FD、CD/DVD など）の読み書き中やフォーマット中
- ・通信カード、通信ソフトで節電機能の使用が制限されている場合
- ・プリンターの印字中
- ・音楽または動画の再生中

節電機能を使わないようにするには

次の手順で、節電機能が働かないようにできます。

1 [スタート] ボタン— [コントロール パネル] をクリック

[コントロール パネル] 画面が表示されます。

2 [電源オプション] アイコンをダブルクリック

[電源オプションのプロパティ] 画面が表示されます。

※ ヒント ● [コントロール パネル] 画面に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

3 [電源設定] タブの各項目を「なし」に設定する

- ・ [モニタの電源を切る]
- ・ [ハードディスクの電源を切る]
- ・ [システムスタンバイ]
- ・ [システム休止状態]

4 [詳細設定] タブの各項目を「何もしない」または「シャットダウン」に設定する

- ・ [ポータブルコンピュータを閉じたとき]
- ・ [コンピュータの電源ボタンを押したとき]
- ・ [コンピュータのスリープボタンを押したとき]

5 [適用]、[OK] の順にボタンをクリック

3

3章 パソコンを拡張する

この章では、周辺機器の接続方法と使用方法を説明します。

- >> ・ 周辺機器接続時に必要な設定 (P.46)
- >> ・ プリンターを接続する (P.47)
- >> ・ USB 機器を接続する (P.50)
- >> ・ IEEE1394 機器を接続する (P.51)
- >> ・ LAN を接続する (P.52)
- >> ・ PC カードを使う (P.53)
- >> ・ メモリーカードを使う (P.56)
- >> ・ ディスプレイを接続する (P.58)
- >> ・ ヘッドホン、マイクを接続する (P.63)
- >> ・ メモリーボードを取り付ける (P.67)
- >> ・ その他の周辺機器を取り付ける (P.70)

周辺機器接続時に必要な設定

ここでは、周辺機器を接続したときに必要な設定とその参照先をまとめてあります。なお、次の表で「必要な設定」が「なし」となっている場合でも、周辺機器に付属のマニュアルを参照し、必要な場合は設定してください。

接続した周辺機器	必要な設定	参照先
プリンター	プリンタードライバー	プリンターに付属のマニュアル
USB 機器	なし	USB 機器に付属のマニュアル
IEEE1394 機器	なし	IEEE1394 機器に付属のマニュアル
LAN	なし	「LAN を接続する」 「LAN ドライバー」
PC カード	なし	PC カード付属のマニュアル
メモリーカード	なし	メモリーカード付属のマニュアル
ディスプレイ	画面の設定（必要に応じて）	「表示ドライバー」 「ディスプレイを調整する」
ステレオ、マイク、 スピーカー、 ヘッドホン	なし	「サウンドドライバー」
メモリーボード	なし	「メモリーボードを取り付ける」

※ヒント ● 周辺機器の取り扱いについては、各メーカーにお問い合わせください。

周辺機器と必要なケーブル類

周辺機器を購入しても、ケーブル類が付属していないことがあります。ここでは、周辺機器と必要なケーブル類についてまとめています。

周辺機器	必要なケーブル類
プリンター	プリンターケーブル (USB)
スキャナー	スキャナーケーブル (USB)
デジタルビデオカメラ (IEEE1394 機器)	IEEE1394 ケーブル (4 ピン)
スマートメディア	専用の PC カードアダプター

重要 ● USB2.0 対応の機器をご使用の場合は、USB2.0 対応の USB ケーブルをご使用ください。

プリンターを接続する

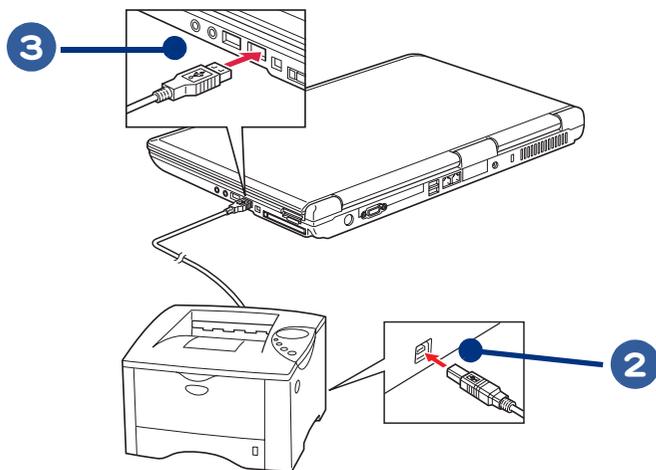
ここでは、プリンターの接続方法、ドライバーのセットアップ方法、削除方法、使用するプリンターの選択方法について説明します。

- ・ 接続方法
- ・ プリンタードライバーのインストール方法
- ・ プリンタードライバーの削除方法
- ・ 使用するプリンターの選択

※ヒント ● プリンターのUSBケーブルは、プリンターに付属されていないことがあります。お買い上げの際はご確認ください。

接続方法

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 プリンターのUSBコネクタにケーブルを接続する
- 3 パソコン背面、または右側面のUSBコネクタのどれかにケーブルを接続する



- 重要** ● コネクタは上下方向にゆさぶったりせず、必ず水平にまっすぐ抜き差ししてください。
● 接続したコネクタに上下方向から負荷が加わらないようにしてください。

※ヒント ● USBコネクタは4つあります。どのコネクタに接続しても動作は同じです。

プリンタードライバーのインストール方法

プリンターを使用するには、ドライバーのセットアップが必要です。
プリンタードライバーのセットアップについては、プリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

プリンタードライバーの削除方法

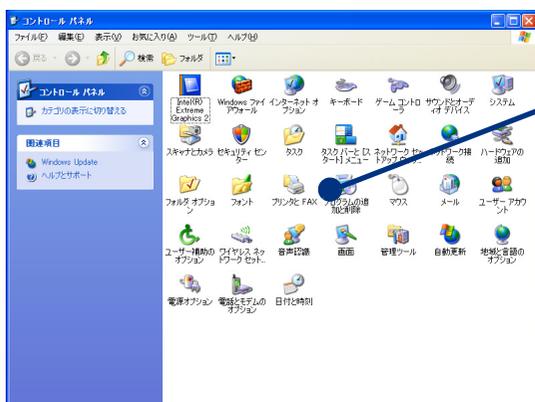
パソコンからプリンターを取り外し、Windows からプリンターを削除するときは次のようにします。
お使いのプリンターにドライバーを削除（アンインストール）するユーティリティがある場合は、そちらをお使いください。次の説明は、一般的な削除方法です。

1 [スタート] ボタン— [コントロールパネル] をクリック

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

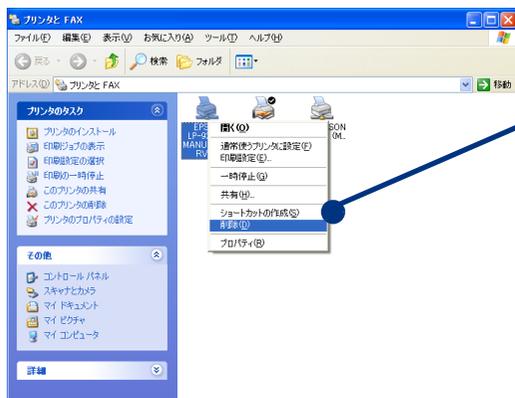
2 [プリンタとFAX] アイコンをダブルクリック

[プリンタとFAX] 画面が表示されます。



※ヒント ● [コントロールパネル] 画面に [プリンタとFAX] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

3 削除するプリンターのアイコンを右クリックし、[削除] をクリック



4 メッセージが表示されたら、[はい] ボタン(または [OK] ボタン)を何度かクリック

※ヒント ● 削除したプリンターが通常使うプリンターに設定されていたときは、通常使うプリンターを変更するメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。

使用するプリンターの選択

通常使うプリンターを設定する方法と、一時的に別のプリンターに切り替えて印刷する方法を説明します。

通常使うプリンターを設定する

1 [スタート] ボタン— [コントロール パネル] をクリックし、[プリンタと FAX] アイコンをダブルクリック

[プリンタと FAX] 画面が表示されます。

※ヒント ● [コントロール パネル] 画面に [プリンタと FAX] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

2 通常使うプリンターのアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリック

以降、標準で印刷するプリンターはそのプリンターになります。

使用するプリンターを一時的に切り替える

1 印刷を行うアプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] をクリック

[印刷] が表示されます。

2 [プリンタの選択] から、一時的に使用するプリンターを選び、[印刷] ボタンをクリック

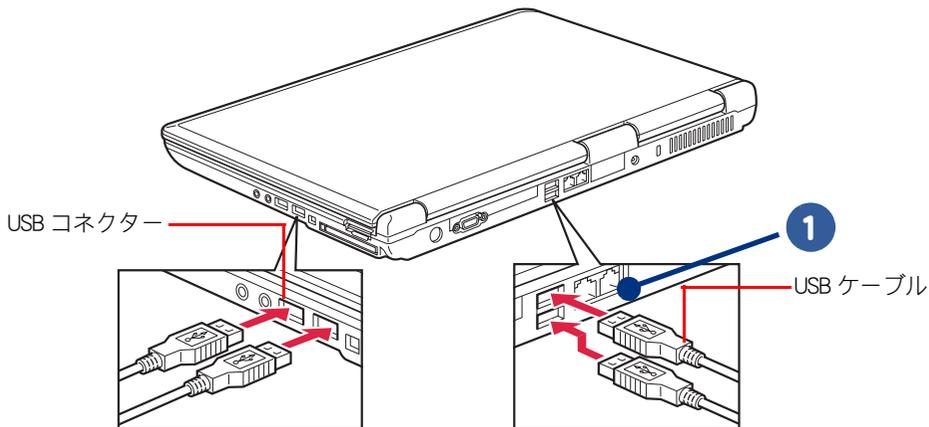


※ヒント ● 画面は一例です。

USB 機器を接続する

このパソコンには USB(Universal Serial Bus) 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、USB 対応の周辺機器のマニュアルをご参照ください。

1 パソコン背面、または右側面の USB コネクタのどれかに USB ケーブルを接続する



※ ヒント

- USB 機器は、パソコンの電源を入れた状態でも接続できます。
- USB コネクタは 4 つあります。どのコネクタに接続しても動作は同じです。

▲ 重要

- ケーブルは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。ケーブルがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作の原因になります。
- USB2.0 対応の機器をご使用の場合は、USB2.0 対応の USB ケーブルをご使用ください。
- USB 機器によっては、「ハードウェアの安全な取り外し」を行わないと、安全に取り外せないことがあります。
- USB ケーブルに、上または下方向の力が加わると、パソコンの USB コネクタが破損するおそれがあります。力を加えないようにしてください。
- USB ポートの電源供給能力は、1 ポートあたり最大 500mA です。500mA を超える USB 機器は使用できません。接続しないでください。

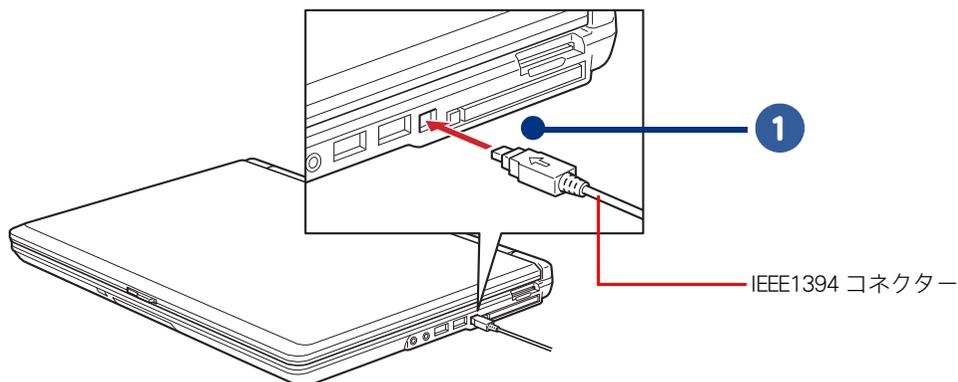
参照 →

「ハードウェアの安全な取り外し」について → 「PC カードを使う」の「取り外し手順」

IEEE1394 機器を接続する

このパソコンには、デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、IEEE1394 機器のマニュアルをご参照ください。

1 IEEE1394 ケーブル(市販品)をパソコン側面の IEEE1394 コネクター(4ピン)に接続する



- 重要**
- ケーブルは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。ケーブルがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作の原因になります。
 - ケーブルの抜き差しは、プラグ部分を持って行ってください。
 - IEEE1394 機器によっては、電源を入れたまま抜き差しができない機器があります。

参照 → 詳細について → IEEE1394 機器付属のマニュアル

2 IEEE1394 ケーブルのもう一方のコネクターを、デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 コネクターに接続する

- ヒント**
- 接続しても IEEE1394 機器が動作しない場合は、パソコンおよび IEEE1394 機器の電源をすべて切ってから接続し直し、IEEE1394 機器、パソコンの順で電源を入れ直してください。

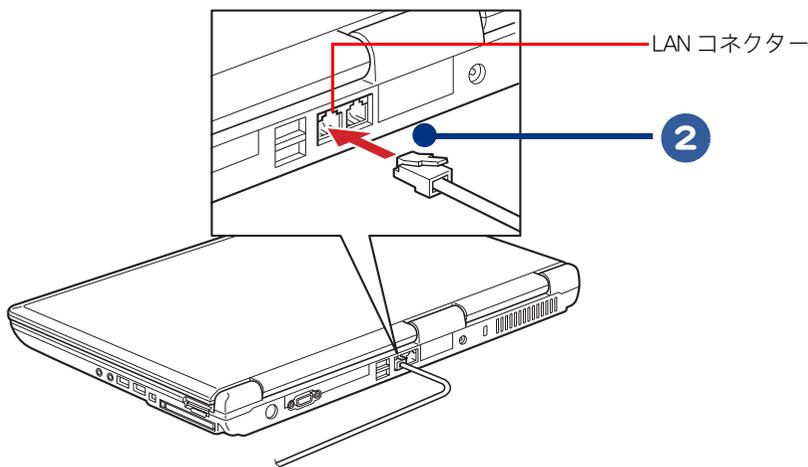
- 重要**
- IEEE1394 機器によっては「ハードウェアの安全な取り外し」を行わないと、安全に取り外せないことがあります。

参照 → 「ハードウェアの安全な取り外し」について → 「PC カードを使う」の「取り外し手順」

LAN を接続する

LAN ケーブルを接続して、LAN 通信を行うことができます。LAN ケーブルの接続方法を説明します。

- 1 パソコンの電源を切り、周辺機器が接続されている場合は、周辺機器の電源を切る
- 2 パソコン背面の LAN コネクター（）に LAN ケーブル（市販品）を「カチッ」と音がするまで差し込み、接続する



※ヒント ● このあと、ソフトウェアの設定などが必要です。

参照 → LAN でインターネットに接続する一般的な設定 → 電子マニュアル『使おう！インターネット』1章の「LAN でインターネットに接続する」

- 重要**
- ケーブルは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。ケーブルがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作の原因になります。
 - ケーブルには脱落防止のラッチが付いています。ケーブルを抜く場合は、ラッチを押さえながら行ってください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、LAN ケーブルの一部が断線したり、LAN コネクターを破損するなどのおそれがあります。
 - LAN 設定などの訪問サポートをご用意しております。有償サービスについては安心コールセンターにお問い合わせください。

参照 → お問い合わせ先 → 紙マニュアル『必ずお読みください』1章の「困ったときのお問い合わせ先」

PC カードを使う

このパソコンには、Card Bus / JEIDA Ver4.2 仕様の PC カードを 1 枚接続できます。PC カードを接続することで、SCSI 機器などを使用できます。

PC カードを取り付けるときは、あらかじめ付属のマニュアルを読み、取り付け可能であることをご確認の上、取り付けてください。

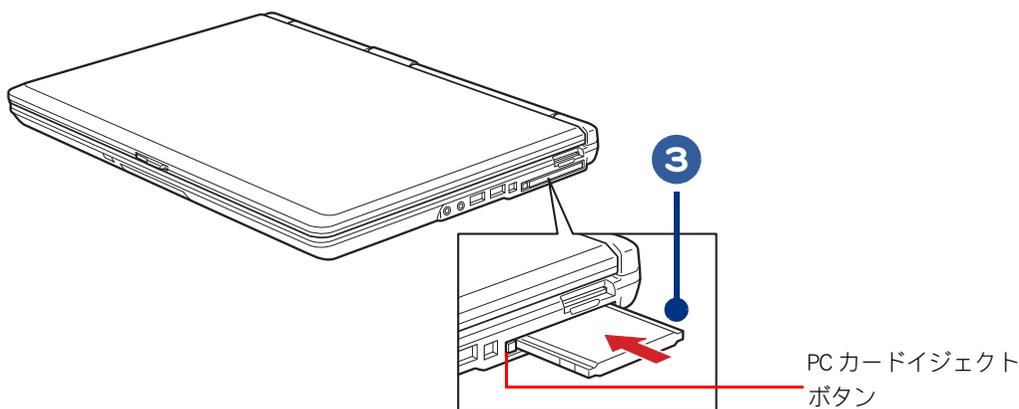
- ・ 取り付け手順
- ・ 取り外し手順

重要 ● 別途ドライバーのセットアップが必要な場合があります。

取り付け手順

ここでは PC カードの取り付け手順を説明しています。

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 PC カードイジェクトボタンを指で押し、出てきたイジェクトボタンをさらに押す。ダミー PC カードが少し出てくるので取り出す
- 3 PC カードの表面を上にし、水平にまっすぐ奥まで PC カードを PC カードスロットに差し込む



- 重要**
- PC カードは、カードの表面を上にして取り付けてください。逆に入れると、PC カードスロットが壊れるおそれがあります。
 - PC カードは、水平にまっすぐ取り付けてください。斜めに入れると、奥まで差し込めないことがあります。
 - PC カード使用時に節電機能を使うと、動作しないことがあります。

取り外し手順

USB 機器や IEEE1394 機器も次の手順で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。ここでは、PC カードの取り出し手順を説明します。

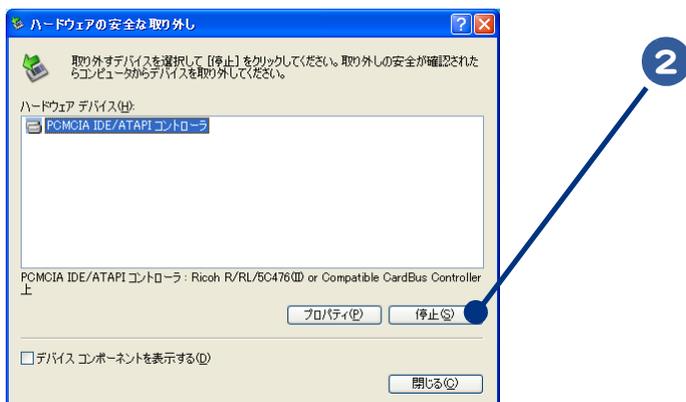
重要 ● 次の手順で取り出さないとカードが壊れることがあります。

1 タスクバーの アイコンを右クリックし、[ハードウェアの安全な取り外し] をクリック

[ハードウェアの安全な取り外し] 画面が表示されます。

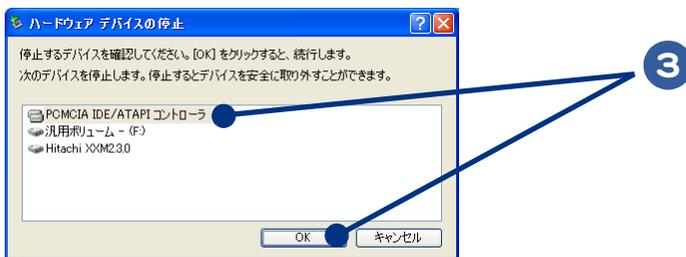
2 [停止] ボタンをクリック

[ハードウェアデバイスの停止] 画面が表示されます。



3 取り外すカードや機器をクリックして選択し、[OK] ボタンをクリック

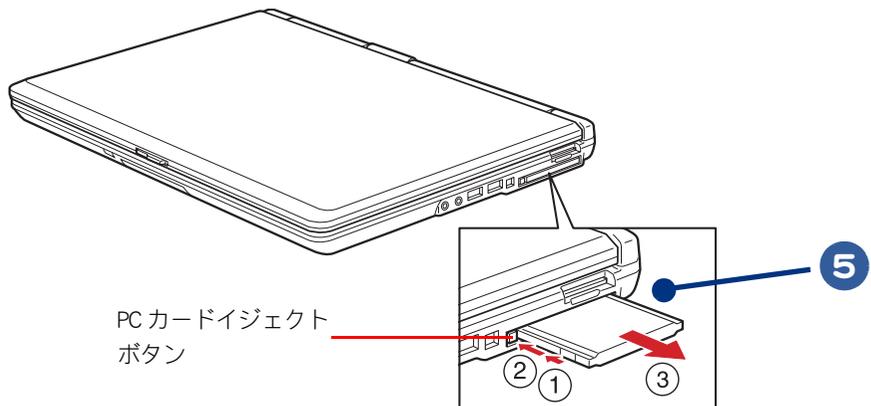
[～は安全に取り外すことができます。] と表示されます。



4 [閉じる] ボタンをクリック



- 5** 取り出す PC カードイジェクトボタンを指で押し(①)、出てきたイジェクトボタンを押す(②)
PC カードが少し出てくるので取り出す(③)



PC カードイジェクト
ボタン

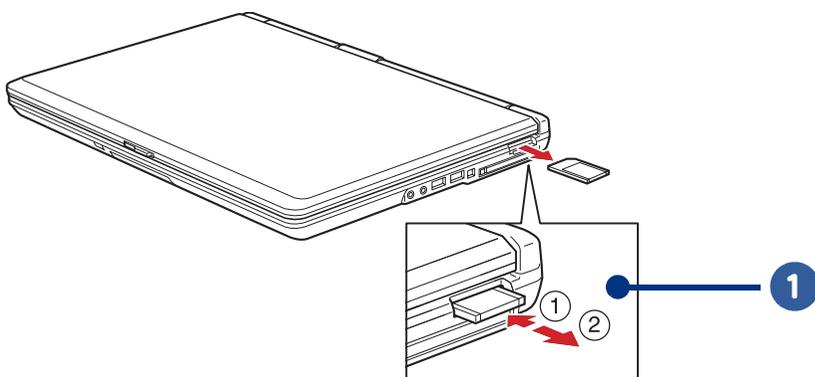
メモリーカードを使う

このパソコンには、SDメモリーカードやメモリースティック、マルチメディアカード(MMC)、xD-ピクチャーカード(以下、メモリーカード)を1枚接続できます。メモリーカードは、デジタルカメラなどのメモリー用カードです。メモリーカードを取り付けるときは、あらかじめ付属のマニュアルを読み、取り付け可能であることをご確認の上、取り付けてください。

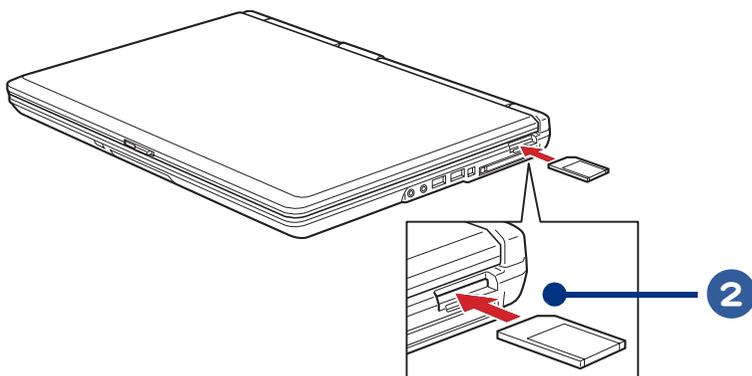
- ・ 取り付け手順
- ・ 取り外し手順

取り付け手順

- 1 ダミーカードを指で押すと(①)、ダミーカードが少し出てくるので取り出す(②)



- 2 メモリーカードの表面を上にし、水平にまっすぐ奥までメモリーカードを差し込む



重要

- メモリーカードは、カードの表面を上にして取り付けてください。逆に入れると、メモリーカードスロットが壊れるおそれがあります。
- メモリーカードは、水平にまっすぐ取り付けてください。斜めに入れると、奥まで差し込めないことがあります。
- メモリーカードが正しく取り付けられたかご確認ください。確認方法については、メモリーカードに付属のマニュアルをご参照ください。

ヒント

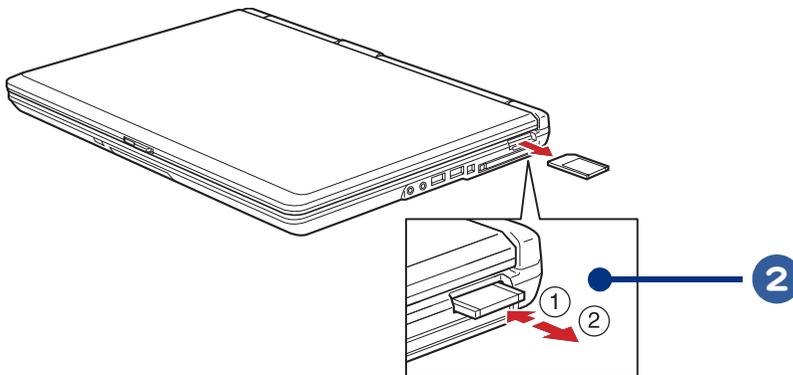
- メモリースティック Duo およびメモリースティック RPO デュオ、miniSD を使うには市販のアダプターが必要です。
- SDメモリーカード、メモリースティック、マルチメディアカード(MMC)、xD-ピクチャーカードの同時使用はできません。
- SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
- メモリースティックのマジックゲートには対応していません。
- マジックゲートは、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。
- 内蔵ワイヤレスLANは、日本の電波法に基づき設計されています。海外で使用すると、罰せられる場合があります。
- メモリーカードが正常に認識されない場合、一旦メモリーカードをメモリースロットから取り外し、再度挿入してください。

取り外し手順

1 「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行う

参照 → ハードウェアの安全な取り外しについて → 「PCカードを使う」の「取り外し手順」

2 メモリーカードを指で押すと(①)、メモリーカードが少し出てくるので、メモリーカードの端をつまんで取り出す(②)

**重要**

- 正しい操作を行わないと、メモリーカードが壊れることがあります。

ヒント

- miniSDカード、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO デュオなど、市販のアダプターを使ってご使用の場合は、カードのみを取り出さずに、市販のアダプターの端をつまんでアダプターごと取り出してください。

ディスプレイを接続する

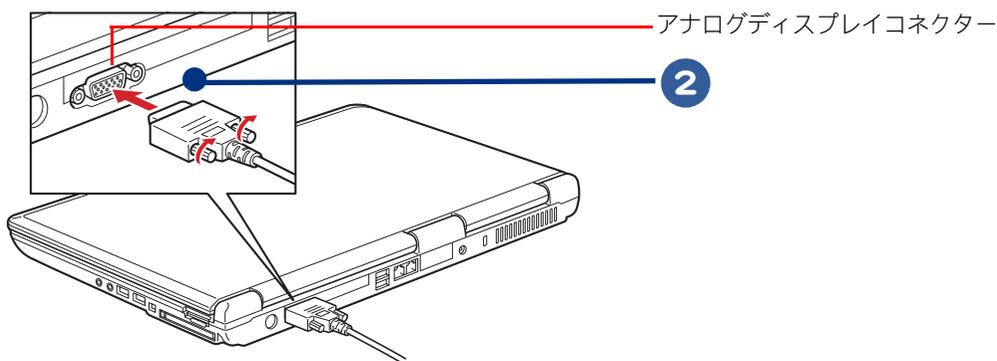
外付けディスプレイを接続すると、パソコンと外付けディスプレイに同じ画面を表示できたり（同時表示）、外付けディスプレイのみに表示できます。

- ・ 接続方法
- ・ 表示先を切り替える
- ・ マルチディスプレイ表示にする
- ・ 同時表示にする
- ・ 解像度

接続方法

1 パソコンの電源を切る

2 パソコン背面のアナログディスプレイコネクタに外付けディスプレイのケーブル（ミニD-Sub15ピン）を接続する



- 重要**
- ケーブルは上下方向にゆさぶったりせず、必ず水平にまっすぐ抜き差ししてください。
 - ケーブルとコネクタの接続部に、上下方向から負荷が加わらないようにしてください。

表示先を切り替える

外付けディスプレイを接続すると、パソコンと外付けディスプレイに画面が表示されます（同時表示）。画面表示は、外付けディスプレイだけに表示させたり、パソコンだけに表示させたりと切り替えることができます。

- ・ キーで切り替える
- ・ [画面のプロパティ] で切り替える

■ キーで切り替える

[Fn] キーを押しながら、[F8] キーを押します。押すたび、次のように表示先が切り替わります。

[パソコンのみ] → [外付けディスプレイのみ] → [同時表示]



■ [画面のプロパティ] で切り替える

ここでは、外付けディスプレイにのみ表示させる方法を例に説明します。

1 [スタート] ボタン— [コントロールパネル] をクリックして [コントロールパネル] 画面を開き、[画面] アイコンをダブルクリック

[画面のプロパティ] 画面が表示されます。

※ヒント ● [コントロール パネル] 画面に [画面] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

2 [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリック

[プラグアンドプレイモニタと Mobile Intel(R) ……] 画面が表示されます。



3 [Intel(R) Graphics ……] タブをクリックし、[グラフィックプロパティ] ボタンをクリック

[Intel(R) Graphics ……] 画面が表示されます。

4 [ディスプレイデバイス] タブをクリックし、[PC モニタ] にチェックを付ける

- 5 [ディスプレイ設定] タブ上の [設定] を次のように設定し、[適用] ボタンをクリック

色 : 32 ビット

画面の解像度 : 1280 × 800

リフレッシュレート : 60 ヘルツ

[デスクトップ変更の確認] 画面が表示されます。

- 6 外付けディスプレイに表示されたことを確認し、[OK] ボタンをクリック

マルチディスプレイ表示にする

パソコンと外付けディスプレイでデスクトップ領域を広げて表示できるマルチディスプレイ (またはマルチモニター) 表示の設定を説明します。

- 1 外付けディスプレイ、パソコンの順に電源を入れる

- 2 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] を開き、[画面] アイコンをダブルクリック

[画面のプロパティ] 画面が表示されます。

*** ヒント** ● [コントロールパネル] 画面に [画面] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

- 3 [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリック

- 4 [Intel(R) Graphics ……] タブをクリックし、[グラフィックプロパティ] ボタンをクリック

[Intel(R) Graphics ……] 画面が表示されます。

- 5 [ディスプレイデバイス] タブをクリックし、[拡張デスクトップ] にチェックを付ける

- 6 [プライマリデバイス] を「ノートブック」、[セカンダリデバイス] を「PC モニタ」に設定する

- 7 [ディスプレイ設定] タブ上の [ノートブック] と [PC モニタ] の設定を次のように設定する

色 : 32 ビット

画面の解像度 : 1280 × 800

リフレッシュレート : 60 ヘルツ



8 [適用] ボタンをクリック
[デスクトップ変更の確認]が表示されます。

9 外付けディスプレイに画面が広がり、マルチディスプレイに設定されたことを確認し、[OK] ボタンをクリック

同時表示にする

マルチディスプレイ表示から同時表示にする手順を説明します。

1 マルチディスプレイ表示の設定と同じ手順で [画面のプロパティ] 画面を開く

2 [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリック

3 [Intel(R) Graphics ……] タブをクリックし、[グラフィックプロパティ] ボタンをクリック

4 [ディスプレイデバイス] タブをクリックし、[Intel(R) デュアル・ディスプレイ・クローン] にチェックを付ける

5 [プライマリデバイス] を「ノートブック」、[セカンダリデバイス] を「PC モニタ」に設定する

6 [ディスプレイ設定] タブ上の [ノートブック] と [PC モニタ] の設定を次のように設定する

●ノートブック

色 : 32 ビット
画像の解像度 : 1280 × 800
リフレッシュレート : 60 ヘルツ

●PC モニタ

リフレッシュレート : 60 ヘルツ

7 [適用] ボタンをクリック
[デスクトップ変更の確認] が表示されます。

8 同時表示に設定されたことを確認して、[OK] ボタンをクリック

解像度

マルチディスプレイ表示で設定するディスプレイ 1 とディスプレイ 2 の解像度は、次の組み合わせに従って設定してください。各ディスプレイの色数は同じ値に設定してください。

ディスプレイ 1 の解像度	ディスプレイ 2 の解像度
800 × 600	800 × 600
	1024 × 768
	1280 × 800
1024 × 768	800 × 600
	1024 × 768
	1280 × 800
1280 × 800	800 × 600
	1024 × 768
	1280 × 800

ヘッドホン、マイクを接続する

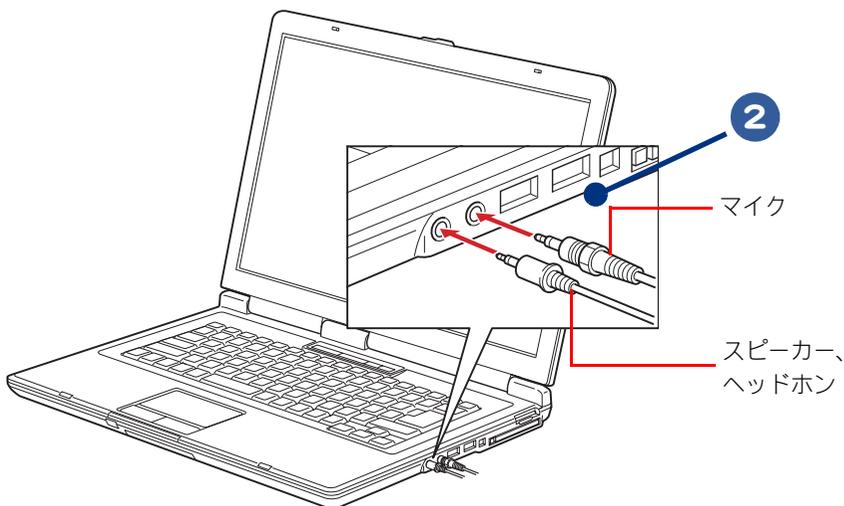
マイクを使って自分の声など外部の音声を録音し、パソコンに音声データとして保存することができます。ヘッドホンで、音声データを再生したり、ゲームソフトのBGMなども楽しめます。さらにお手持ちのヘッドホンを接続し、ドルビーヘッドホンの設定を行うと、映画館で聴いているような音声を楽しむこともできます。

- ・ 接続方法
- ・ ドルビーヘッドホンで聴く
- ・ マイクを使って録音する

接続方法

1 パソコンの電源を切る

2 パソコン側面の各端子に、スピーカーやヘッドホン、マイクを接続する



△ 注意 ・ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。

- ▲ 重要**
- ヘッドホン出力端子とマイク入力端子には、直径が 13mm を超えるプラグは接続できません。
 - ヘッドホン出力端子に接続した機器の音量は、キーボードの [Fn] + [F11 または F12] で調整できます。
 - ヘッドホン出力端子から出力される音質は、オーディオ装置より劣ります。
 - PCM 音源の再生時に、PCM 音源のデータによっては大音量が出力されることがあります。一度音量を最小にしてからヘッドホンを接続し、音量を調整し直してください。
 - ヘッドホンを接続している状態で電源スイッチを ON/OFF すると、ヘッドホンから大きなノイズが発生することがあります。
 - 一定時間音声の出力がないと、節電機能が働きスピーカーの電源が切れます。このとき、スピーカーからノイズが聞こえることがあります。

※ ヒント ● DOS/V 用として市販されているマイクをお使いください。

ドルビーヘッドホンで聴く

ドルビーヘッドホン機能を使用して、ドルビーデジタル 5.1 チャンネルに対応した DVD ビデオを臨場感のある音声で楽しむことができます。

ドルビーヘッドホン機能とは、映画館で聴くような立体的な音声を、ヘッドホンから再生することを可能にする機能のことです。ドルビーヘッドホン機能を使用するには、WinDVD(DVD 再生ソフト)でドルビーヘッドホンの設定を行う必要があります。

- 1 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [InterVideo WinDVD 5 for Hitachi] - [InterVideo WinDVD 5 for Hitachi] の順にクリック

WinDVD が表示されます。

- 2 再生する DVD タイトルを、CD/DVD ドライブに入れる

重要 ● DVD を CD/DVD ドライブに入れないと、「オーディオモード」の設定はできません。

- 3 WinDVD の右端のボタンをクリックし、サブパネルの「オーディオモード」をクリック



- 4 [リスニング] を「ヘッドホン」に変更する



- 5 [ドルビーヘッドホン] ボタンをクリックし、「ON」にする

ドルビーヘッドホン機能が設定されます。

[ドルビーヘッドホン] ボタン



- 6 WinDVD の右端のボタンをクリックし、サブパネルを閉じる

マイクを使って録音する

録音する方法

マイクを使って自分の声などを録音し、パソコンに音声データとして保存することができます。

参照 → 録音レベルの調整 → 「音量を調整する」

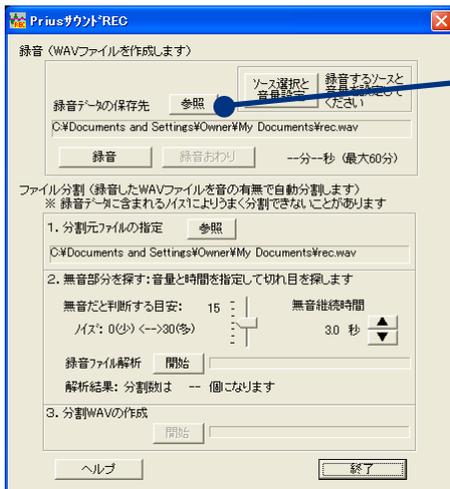
ここでは Prius サウンド REC を使って録音する方法を説明します。

- 1 **[スタート]** ボタンをクリックし、**[すべてのプログラム]** - **[Prius ツール]** - **[Prius サウンド REC]** の順にクリック

[Prius サウンド REC] が表示されます。

- 2 **[参照]** ボタンをクリック

[wav ファイルの選択] 画面が表示されます。



- 3 録音する wav ファイルを保存するフォルダーを指定し、ファイル名を入力し、**[保存]** ボタンをクリック

[Prius サウンド REC] 画面に戻り、[参照] ボタンの下に入力したファイル名が表示されます。

- 4 **[ソース選択と音量設定]** ボタンをクリック

[録音コントロール] 画面が表示されます。

- 5 **[マイク]** の **[選択]** をクリックし、チェックを入れ、スライダーをドラッグして音量を調整する

- 6 **[X]** ボタンをクリック

画面が閉じます。

7 [録音] ボタンをクリック

[録音の開始] 画面が表示されます。



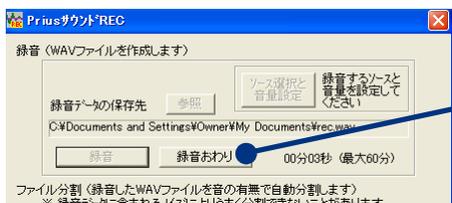
8 [開始] ボタンをクリック

録音が始まります。

9 マイクに向かって話す

10 [録音おわり] ボタンをクリック

録音が終了します。



重要

- 内蔵スピーカーにマイクを近づけるとハウリングすることがあります。
- マイクの録音レベルを上げすぎるとハウリングすることがあります。適度なレベルに調整してお使いください。
- 録音中は一時的にウィンドウの移動や終了などの操作ができません。

※ ヒント

- Prius サウンド REC の使い方は、[Prius サウンド REC] 画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると、参照できます。

メモリーボードを取り付ける

メモリーボードを増設すると、メモリー容量を増やすことができます。最大 1024MB まで増設できます。

- ・ 増設作業時の注意点
- ・ メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた
- ・ 取り付け手順
- ・ 取り外し手順



重要 ● 仕様の異なるメモリーボードを取り付けしないでください。正常に動作しない場合があります。



参照 → メモリーボードの仕様について→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』4章の「メモリーボードの仕様」

増設作業時の注意点



警告 ■ 周辺機器の増設や接続

周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックが付いているときはバッテリーパックを外してください。マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

■ カバーの取り外し

- ・ メモリーを増設する場合などにカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には、通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。またバッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーパックも取り外してください。
- ・ 内部にネジなどの異物を入れないようにしてください。発煙、発火の原因になります。
- ・ パソコンを起動するときは、必ずカバーを閉じてから起動してください。
- ・ メモリーボードソケット以外には触れないでください。



注意 ■ パソコン内部が冷えるまで待つ

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。約 30 分、時間を置いてから行ってください。やけどの原因になります。

■ 綿手袋を着用する

パソコン内部に触れたり、メモリーボードに触れるときは綿手袋を着用してください。素手で触れると故障の原因になります。また、手にけがをおおおそれがあります。



注意 ■ 体から静電気を逃がしておく

パソコンやメモリーボードは精密機器です。わずかな静電気も故障の原因になります。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃がしておいてください。

■ メモリーボードに力を加えない

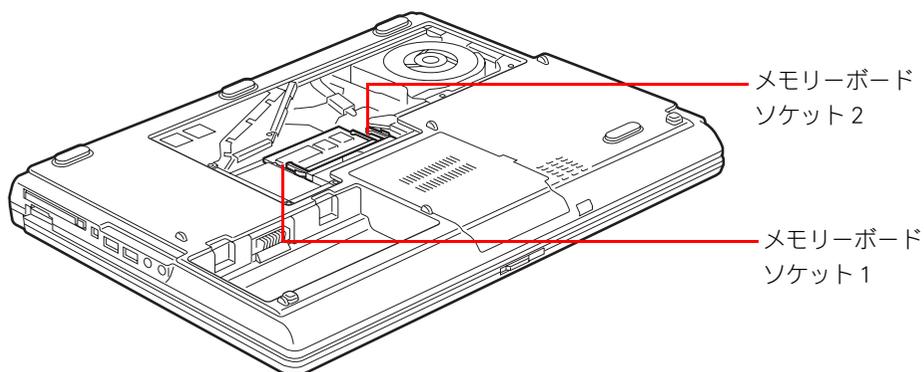
メモリーボードは精密機器です。わずかな力が加わるだけでも故障の原因になります。メモリーボードに応力が加わらないよう、取り扱いに注意してください。

メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた

メモリーボードは、この表の組み合わせを参考にして増設してください。

総メモリー容量 *1	メモリーボードソケット 1	メモリーボードソケット 2
512MB	512MB	—
1024MB	512MB	512MB

* 1 Windows の [システムのプロパティ] の [全般] タブでも確認できます。[スタート] ボタン— [コントロールパネル] をクリックし、[システム] アイコンをダブルクリックすると、[システムのプロパティ] が開きます。ただし [システムのプロパティ] の [全般] タブに表示される容量は、総メモリー容量からビデオメモリー容量分を引いた値です。



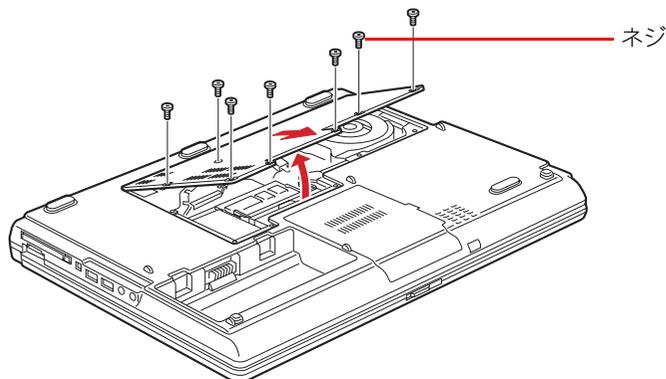
取り付け手順

1 パソコンの電源を切り、AC アダプターをパソコンから取り外す

2 パソコンからバッテリーパックを取り外す

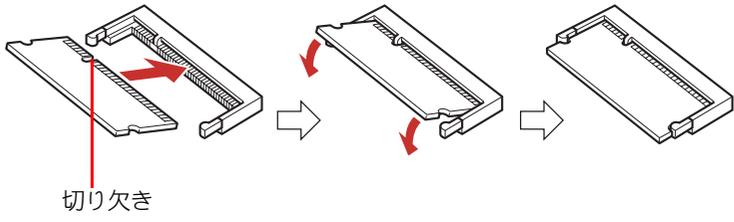
参照 → バッテリーパックの取り外しについて→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』2章の「バッテリーパックの取り外し方」

3 ネジをゆるめ、カバーを取り外す



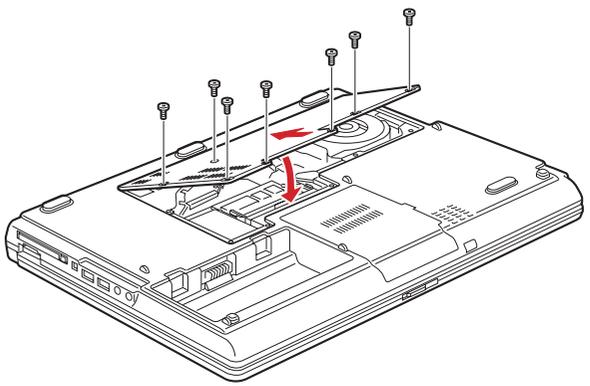


4 メモリーボードの切り欠きがソケットに合うようにしっかり取り付ける



重要 ● メモリーボードは確実に取り付けてください。メモリーが正しく増設されません。また、パソコン誤動作の原因となります。なお、誤った取り付け方をしたために発生した破損などについての修理は有償となります。あらかじめご了承ください。

5 カバーを取り付け、ネジを締める



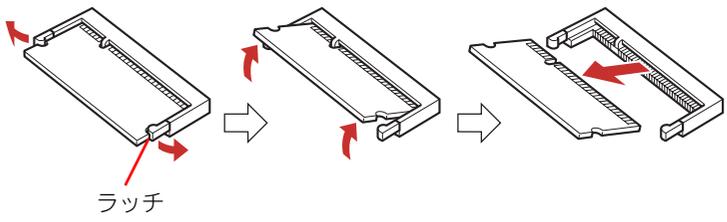
6 バッテリーパックを取り付ける

参照 → バッテリーパックの取り付けについて→紙マニュアル『準備しよう！ Prius』1章の「接続しよう」

取り外し手順

1 取り付け手順 1～3 を行い、カバーを取り外す

2 ソケットの両端にあるラッチを外側に押し広げ、メモリーボードを取り外す



3 カバーを取り付け、ネジを締める

その他の周辺機器を取り付ける

通常、プラグアンドプレイ機能に対応している周辺機器を接続したときは、自動的に Windows が環境を設定します。プラグアンドプレイ機能に対応していない周辺機器を接続する場合は、[ハードウェアの追加ウィザード] を使って手動で環境を設定します。[ハードウェアの追加ウィザード] を使う前に、周辺機器に付属しているマニュアルをよくお読みください。そのマニュアルに操作手順が記載されている場合は、そちらの手順に従ってください。

- ※ヒント**
- メモリーの増設などでは、環境を設定する必要はありません。
 - 周辺機器の取り付け・取り外しについては、この章や周辺機器に付属のマニュアルを参照してください。

1 パソコンの電源を切る

2 AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、周辺機器を接続する

3 必要に応じて、周辺機器の電源を入れる

4 AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込み、パソコンの電源を入れる

- ※ヒント**
- USB 機器や IEEE1394 機器など、パソコンの電源が入ったまま接続できる周辺機器もあります。

5 [コントロールパネル] 画面の [ハードウェアの追加] アイコンをダブルクリック

[ハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。

- ※ヒント**
- [コントロールパネル] 画面に [ハードウェアの追加] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

6 [次へ] ボタンをクリック

新しい周辺機器の検出が始まります。

しばらくすると、「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました」と表示されます。

- ※ヒント**
- メッセージが表示されず、増設した周辺機器が見つからないときは、[次へ] ボタンをクリックし、周辺機器に付属のマニュアルを参照するなどして手動で設定してください。

7 [完了] ボタンをクリック

検出された周辺機器のドライバーがインストールされます。



4

4章 セットアップする

この章では、ご購入時にインストールされていないアプリケーションのインストール方法やドライバーなどのセットアップ方法について説明します。

- »・アプリケーションのインストール (P.72)
- »・ドライバー、ユーティリティーのセットアップ (P.83)
- »・Windows ファイルを追加セットアップする (P.96)
- »・パーティションの設定 (P.97)

アプリケーションのインストール

ここでは、アプリケーションのインストールについて説明します。ご購入時にインストールされていないアプリケーションをインストールする場合や、すでにあるアプリケーションをインストールし直す場合にお読みください。

- ・ インストールの前に
- ・ アプリケーションを削除する
- ・ アプリケーションの個別インストール
- ・ 各アプリケーションの制限や設定

※ヒント

- 機種によっては付属していないアプリケーションもあります。
- ここで説明する以外の方法で特殊なインストールを行う場合は、各アプリケーションの販売元や開発元にお問い合わせください。

参照 →

お問い合わせ先 → 紙マニュアル【必ずお読みください】1章の「困ったときのお問い合わせ先」

インストールの前に

立ち上げ直しはインストールがすべて終了してから

アプリケーションによっては、インストールの終了後に Windows を立ち上げ直すかどうかを選ぶメッセージが表示されることがあります。このときは「再起動しない」や「あとで再起動します」などを選んでください。選んだアプリケーションのインストールがすべて終了すると、立ち上げ直すかどうかのメッセージが表示されますので、そこで「再起動」を指定してください。

ほかのアプリケーションは終了させておく

インストールを始める前に、ほかのアプリケーションはすべて終了してください。

既存のアプリケーショングループは削除しておく

すでに存在するアプリケーションを再インストールする場合は、アプリケーションごと削除してから実行してください。削除せずに再インストールを行うとアイコンが二重登録されることがあります。削除方法はアプリケーションによって異なり、次に説明する2つの方法のどちらかになります。どちらかわからない場合は、「アンインストーラーによる削除」から順に試してみてください。

※ヒント

- アンインストール中に、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されることがあります。通常は「いいえ」ボタンを選びます。ほかのソフトウェアで使用されていないと分かっている場合は「はい」ボタンを選んでください。

参照 →

削除の方法 → 「アプリケーションを削除する」

アプリケーションを削除する

アプリケーションを削除するには、次の方法があります。

- ・ アンインストーラーによる削除
- ・ [プログラムの追加と削除] による削除

■ アンインストーラーによる削除

1 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] をクリックし、削除するアプリケーションを選ぶ

2 アンインストーラーをクリック

- ※ヒント**
- [×××のアンインストール] などとあるのがアンインストーラーです。アプリケーションによって名称は異なります。
 - アンインストーラーがない場合は、「[プログラムの追加と削除] による削除」を行ってください。

3 画面の指示に従って操作し、アプリケーションを削除する

■ [プログラムの追加と削除] による削除

1 [スタート] ボタン - [コントロール パネル] をクリックして [コントロール パネル] 画面を開き、[プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリック
[プログラムの追加と削除] 画面が表示されます。

- ※ヒント**
- [コントロール パネル] 画面に [プログラムの追加と削除] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

2 [プログラムの変更と削除] ボタンをクリック

削除できるアプリケーションの一覧が表示されます。

3 削除するアプリケーションを選んで、[変更と削除] ボタンをクリック

4 画面の指示に従い、アプリケーションを削除する

- 重要**
- 「筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI」をアンインストールする時、アンインストール中に [共有ファイルの検出] 画面が表示されます。ここで、[次回からこのメッセージを表示しない。] チェックボックスをチェックして、[はい] ボタンをクリックしてください。[いいえ] または [キャンセル] ボタンをクリックすると、アンインストールが正常に終了しません。

アプリケーションの個別インストール

アプリケーションを個別インストールするには、次の方法があります。

- ・ HDD イメージからのインストール
- ・ 『再セットアップディスク』からのインストール
- ・ 『アプリケーションディスク』からのインストール
- ・ 付属の CD からのインストール

■ HDD イメージからのインストール

重要 ● フォルダーやファイルを消去すると、インストールができなくなります。

1 [スタート] ボタン - [マイ コンピュータ] をクリック

[マイ コンピュータ] が表示されます。

2 [ローカルディスク (c:) - [Documents and Settings] の順にダブルクリック

[Documents and Settings] が表示されます。

3 [All Users] - [AP_Setup] の順にダブルクリック

[AP_Setup] が表示されます。

4 [InstMenu] をダブルクリック

[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。

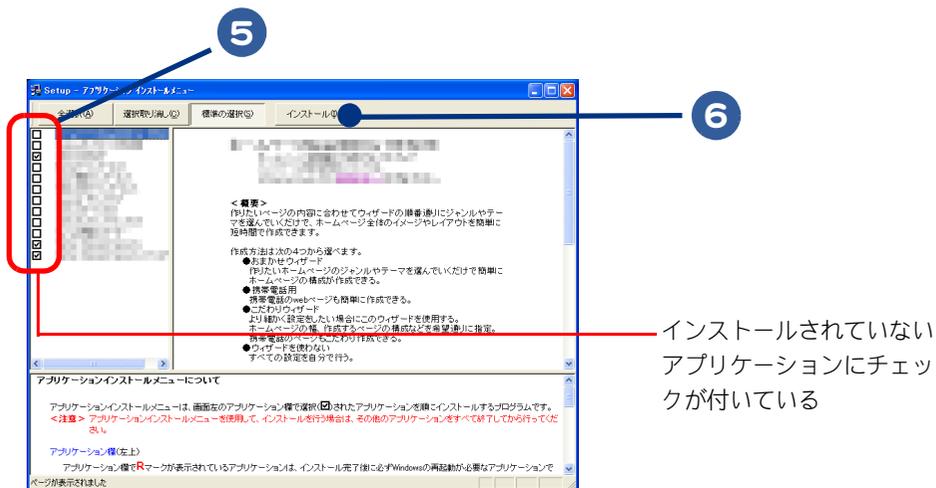
5 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

※ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにはチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付き、[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

6 [インストール] ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



7 [OK] ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

8 「各アプリケーションの制限や設定」を参照してインストールを行う

- 重要** ● アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。

9 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン（[実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「インストールが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

10 [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリック

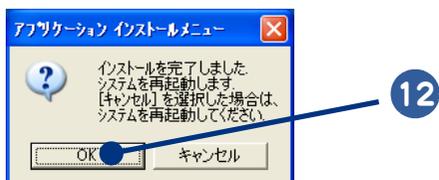
次にインストールするアプリケーションがある場合は、次のアプリケーションのインストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。

11 チェックしたアプリケーションの数だけ、手順 7～10 を繰り返す

終了すると、次の画面が表示されます。

12 [OK] ボタンをクリック

Windows が立ち上げ直されます。



※ヒント ● アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

■ 『再セットアップディスク』からのインストール

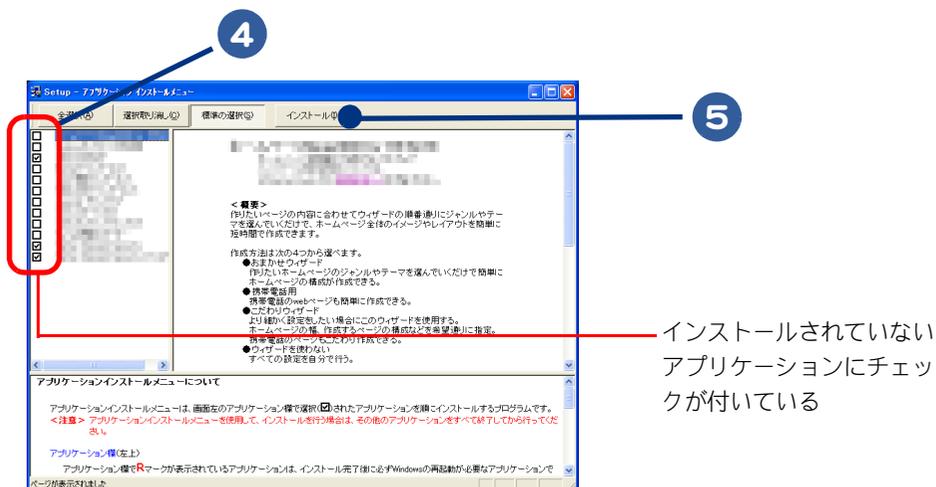
- 1 パソコンを立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』をCD/DVDドライブに入れる
- 2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。
- 3 e:\instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリック
* e は CD/DVD ドライブ名
[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。
- 4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

※ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにはチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付き、[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

5 [インストール] ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



6 [OK] ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

- 重要**
- アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。
 - オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

参照 → 特別な操作が必要な指定項目について → 「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン（[実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「インストールが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

8 [OK] ボタンをクリック

複数のアプリケーションをインストールする場合は、次のアプリケーションのインストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。

9 インストールするアプリケーションの数だけ、手順 6～8 を繰り返す

インストールがすべて終了すると、[アプリケーション インストールメニュー] の終了メッセージが表示されます。

- 重要**
- アプリケーションによっては、インストール中に表示されるメッセージがウィンドウの裏に隠れてしまうことがあります。インストールが停止しているように見えたときは、[Alt] + [Tab] キーでウィンドウを切り替えてください。

10 [OK] ボタンをクリックし、『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブから取り出す

11 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

- 重要**
- 必ず『再セットアップディスク』を取り出してからパソコンを立ち上げ直してください。『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れたまま、パソコンを立ち上げ直すと、一括インストールを開始する画面が表示されます。
 - アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

■ 『アプリケーションディスク』からのインストール

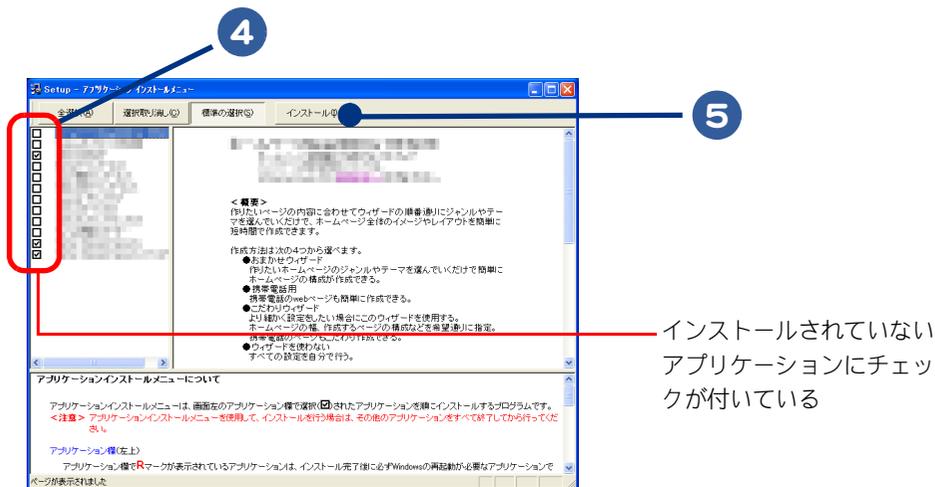
- 1 パソコンを立ち上げ、このパソコンに付属の『アプリケーションディスク』をCD/DVDドライブに入れる
- 2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。
- 3 e:¥instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリック
* e は CD/DVD ドライブ名
[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。
- 4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

※ ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時は、インストールされていないアプリケーションにはチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付き、[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

5 [インストール] ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



6 [OK] ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

- 重要**
- アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。
 - オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

参照 → 特別な操作が必要な指定項目について → 「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン（[実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「インストールが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

8 [OK] ボタンをクリック

複数のアプリケーションをインストールする場合は、次のアプリケーションのインストールが始まり、インストール開始確認画面が表示されます。

9 インストールするアプリケーションの数だけ、手順 6～8 を繰り返す

インストールがすべて終了すると、[アプリケーション インストールメニュー] の終了メッセージが表示されます。

- 重要**
- アプリケーションによっては、インストール中に表示されるメッセージがウィンドウの裏に隠れてしまうことがあります。インストールが停止しているように見えたときは、[Alt] + [Tab] キーでウィンドウを切り替えてください。

10 [OK] ボタンをクリックし、『アプリケーションディスク』を CD/DVD ドライブから取り出す

11 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

- 重要**
- 必ず『アプリケーションディスク』を取り出してからパソコンを立ち上げ直してください。
 - アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

■ 付属の CD からのインストール

インストール方法については、各ソフトウェアに付属のマニュアルまたは、紙マニュアル『準備しよう！ Prius』の「3章 再セットアップ」をご参照ください。

※ヒント ● 表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にインストールされています。

アプリケーション一覧	購入時	インストール方法
	○：有り ×：無し	
Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack2)	○	紙マニュアル『準備しよう！ Prius』3章の「アプリケーションをインストールする」
Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack2)	○	
オンラインサインアップソフト	○	「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」
プラグイン	○	
Adobe Reader	○	
CyberSupport for HITACHI	○	

各アプリケーションの制限や設定

アプリケーションによっては、「アプリケーションの個別インストール」で説明した手順と異なる手順が必要だったり、特別な制限がある場合があります。そのようなアプリケーションをインストールするときは、開始前に該当するアプリケーションの項目をお読みください。

※ヒント ● 各アプリケーションの情報については、アプリケーション提供元のホームページをご参照ください。
● 市販のアプリケーションをご利用の場合、Windows XP で動作するか、各メーカーにお問い合わせください。

重要 ● アプリケーションは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで使用してください。制限ユーザーでは使用できないアプリケーションがあります。

Microsoft® Office Personal Edition 2003 (with Service Pack 2)

- ・ セットアップの詳細は、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。
- ・ セットアップし直した場合は、ライセンス認証が必要になります。認証に必要な CD キーは、CD-ROM ケース裏側に記載されています。
- ・ Microsoft® Office Personal Edition 2003 Service Pack 2 は添付 CD からのインストールではインストールされません。別途 Service Pack 2 のインストールが必要になります。Service Pack 2 は HDD イメージからインストールします。Service Pack 2 の適用には、Microsoft® Office Personal Edition 2003、および、Microsoft® Office Home Style+ がインストールされている必要があります。

参照 → HDD イメージからのインストール → 「HDD イメージからのインストール」

重要 ● 添付の Microsoft® Office Personal Edition 2003 (以下 Office Personal 2003) をセットアップしなおした場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office Personal 2003 の立ち上げ回数が承諾回数を超えると、ファイルの作成・更新など機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office Personal 2003 の『スタートガイド』をご参照ください。

Microsoft® Office Home Style+ (with Service Pack2)

- ・ セットアップの詳細は、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。
- ・ Microsoft® Office Home Style+ をご利用になるには、Microsoft® Office Personal Edition 2003 がインストールされている必要があります。
- ・ Microsoft® Office Personal Edition 2003 Service Pack 2 は添付 CD からのインストールではインストールされません。別途 Service Pack 2 のインストールが必要になります。Service Pack 2 は HDD イメージからインストールします。Service Pack 2 の適用には、Microsoft® Office Personal Edition 2003、および、Microsoft® Office Home Style+ がインストールされている必要があります。

参照 → HDD イメージからのインストール → 「HDD イメージからのインストール」

DiXiM® Media Server

- ・ ユーザ情報画面で「ユーザ名」、「会社名」を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。
- ・ テキストの入力画面で「メディアサーバ名」を入力し、[次へ] をクリックしてください。
- ・ Windows ファイアウォールの設定を変更してもよいか促す画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

DiXiM® Media Client

- ・ ユーザ情報画面で「ユーザ名」、「会社名」を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。
- ・ Windows ファイアウォールの設定を変更してもよいか促す画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

WinDVD5 for HITACHI

- ・ 市販されている「WinDVD」と「WinDVD5 for HITACHI」は、同一パソコン内に両方ともインストールすることはできません。市販の「WinDVD」をインストールする場合は、事前に「WinDVD5 for HITACHI」を必ずアンインストールしてください。
- ・ インストール中に、[[HTML Help 1.31 Update] ※ Command line option syntax error. Type Command /? For Help.] というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。このメッセージはアカウント名に全角文字を使用した場合などに表示されます。このメッセージが表示されても正常にインストールされます。

DVD MovieWriter 5 for HITACHI

- ・ [ユーザ情報] 画面が表示されたら、[ユーザ名]、[会社名]を入力して [次へ] ボタンをクリックしてください。
- ・ [お住まいの国]で「日本」を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。
- ・ [セットアップタイプ] 画面が表示されたら、[[Ulead DVD MovieWriter 5 for HITACHI] のお読みくださいファイルを読みます] および、[Ulead DVD MovieWriter 5 for HITACHI] のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、[次へ] ボタンをクリックしてください。
- ・ [InstallShield ウィザードの完了] 画面では、[いいえ、あとでコンピュータを再起動します。] のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、[完了] ボタンをクリックしてください。

DVD-RAM ドライバー

- ・ [InstallShield ウィザードの完了] 画面で、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」のチェックボックスにチェックを入れて、[完了] ボタンをクリックしてください。
- ・ 「Readme XP」テキストが表示されたら、テキストを閉じてください。

筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI

- ・ [筆ぐるめ Ver.13 インストール] ボタンをクリックしてください。
- ・ ユーザ情報画面で「ユーザ名」、「所属」を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。
- ・ [セットアップ完了] 画面では、「いいえ、筆ぐるめ Ver.13 を起動せずにセットアップを終了します。」にチェックを入れ、[確認] ボタンをクリックしてください。

らくらく家計簿ゆとりちゃん7

- ・ [らくらく家計簿ゆとりちゃん7 セットアップ] 画面が表示されたら、[セットアップ] ボタンをクリックしてください。
- ・ [ゆとりちゃん7] フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

タイピングドリーム アフロ犬

- ・ [ユーザ情報] 画面で [ユーザ名]、[所属] を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE

- ・ [ユーザ情報] 画面で「ユーザ名」、「所属」を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

駅すばあと

- ・ [駅すばあと全国版] フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

AI 囲碁 スタンダード for HITACHI

- ・ [InstallShield ウィザードの完了] 画面で、[「お使いになる前に」を表示します。] のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、[完了] ボタンをクリックしてください。

AI 将棋 スタンダード for HITACHI

- ・ [InstallShield ウィザードの完了] 画面で、[「お使いになる前に」を表示します。] のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、[完了] ボタンをクリックしてください。

AI 麻雀 スタンダード for HITACHI

- ・ [InstallShield ウィザードの完了] 画面で、[「お使いになる前に」を表示します。] のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、[完了] ボタンをクリックしてください。

Prius かんたんシリーズ

- ・ [セットアップウィザード完了] 画面で、「後で再起動する」をクリックしてチェックを入れ、[完了] ボタンをクリックしてください。

AOL

- ・ [ユーザ情報] 画面が表示されたら、[ユーザ名]、[所属] を入力して [次へ] ボタンをクリックしてください。

So-net

- ・ [InstallShieldWizard の完了] 画面では、「So-net 簡単スターター V2.3 の起動」のチェックボックスをクリックしてチェックを外し、[完了] ボタンをクリックしてください。

ドライバー、ユーティリティのセットアップ

ドライバーやユーティリティは標準でセットアップされています。何らかの理由でドライバーなどが壊れた場合にセットアップし直してください。

- ※ヒント** ● セットアップを行うと、ご購入時の設定と異なることがあります。
- CD/DVD ドライブをドライブ e として説明しています。ドライブ名は機種により異なる場合があります。

次のドライバーやユーティリティなどをセットアップする方法を説明します。

- ・ ATK ドライバー
- ・ 表示ドライバー
- ・ サウンドドライバー
- ・ モデムドライバー
- ・ LAN ドライバー
- ・ タッチパッドドライバー
- ・ SD メモリーカード / メモリースティックドライバー
- ・ ワイヤレス LAN ドライバー (ワイヤレス LAN 搭載モデルのみ)
- ・ オンラインサインアップソフト
- ・ プラグイン
- ・ Adobe Reader
- ・ CyberSupport for HITACHI

- ▲重要** ● パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- セットアップは、アプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行くと正しく動作しないことがあります。
- ドライバーのセットアップを完了後、『再セットアップディスク』を取り出して、Windows を立ち上げ直してください。ドライバーによっては、自動で立ち上げ直される場合もあります。
- 『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れたままパソコンを立ち上げ直すと、一括インストールを開始する画面が表示されます。

ATK ドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる**

- ※ヒント** ● 『再セットアップディスク』が (Disc1)、(Disc2) など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。

- 2 [スタート] ボタン - [コントロール パネル] をクリック**

[コントロール パネル] 画面が表示されます。

- 3 [コントロール パネル] 画面の [システム] アイコンをダブルクリック**

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

- ※ヒント** ● [コントロール パネル] 画面に [システム] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

- 4 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリック
[デバイスマネージャ]画面が表示されます。
- 5 [不明なデバイス]をダブルクリック
[不明なデバイスのプロパティ]画面が表示されます。
- 6 [ドライバーの再インストール]ボタンをクリック
[ハードウェアの更新ウィザードの開始]が表示されます。
- 7 [いいえ、今回は接続しません]を選択して、[次へ]ボタンをクリック
[このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします]が表示されます。
- 8 [一覧または、特定の場所からインストールする]を選択して、[次へ]ボタンをクリック
[検索とインストールのオプションを選んでください]が表示されます。
- 9 [次の場所で最適のドライバを検索する]の「次の場所を含める」のみにチェックを付け、e:\drivers\atk0100 と入力して、[次へ]ボタンをクリック
* e は CD/DVD ドライブ名
[ハードウェアの更新ウィザードの完了]が表示されます。
- 10 [完了]ボタンをクリック
- 11 [閉じる]ボタンをクリック
- 12 [デバイスマネージャ]画面を閉じ、[OK]ボタンをクリックして[システムのプロパティ]を閉じる

表示ドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

*** ヒント** ●『再セットアップディスク』が(Disc1)、(Disc2)など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。
- 2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。



- 3 e:¥drivers¥svga¥setup と入力して [OK] ボタンをクリック
 - * e は CD/DVD ドライブ名
 - [Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver のセットアップによるこそ] が表示されます。
- 4 [次へ] ボタンをクリック
 - [使用許諾契約書] が表示されます。
- 5 [はい] ボタンをクリック
 - ドライバーのインストールが開始され、終了後、[セットアップ完了] 画面が表示されます。
- 6 [コンピュータを今すぐ再起動する。] がチェックされていることを確認し、『再セットアップディスク』を取り出して、[完了] ボタンをクリック
 - パソコンが立ち上げ直されます。

サウンドドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

※ヒント ●『再セットアップディスク』が (Disc1)、(Disc2) など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。

- 2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック
 - [ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。
- 3 e:¥drivers¥sound¥setup と入力して [OK] ボタンをクリック
 - * e は CD/DVD ドライブ名
 - [SoundMax セットアップへようこそ] 画面 が表示されます。
- 4 [次へ] ボタンをクリック
 - ドライバーのインストールが開始され、終了後、[InstallShield Wizard の完了] が表示されます。
- 5 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] がチェックされていることを確認し、『再セットアップディスク』を取り出して、[完了] ボタンをクリック
 - Windows が立ち上げ直されます。

モデムドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

※ヒント ●『再セットアップディスク』が (Disc1)、(Disc2) など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。

- 2 [スタート] ボタン - [コントロール パネル] をクリック

[コントロール パネル] 画面が表示されます。

- 3 [コントロール パネル] 画面の [システム] アイコンをダブルクリック

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

※ヒント ●[コントロール パネル] 画面に [システム] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

- 4 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリック

[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。

- 5 [High Definition Audio バスのモデムデバイス] をダブルクリック

[High Definition Audio バスのモデムデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。

- 6 [ドライバーの再インストール] ボタンをクリック

[ハードウェアの更新ウィザードの開始] が表示されます。

- 7 [いいえ、今回は接続しません] を選択して、[次へ] ボタンをクリック

[このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします] が表示されます。

- 8 [一覧または、特定の場所からインストールする] を選択して、[次へ] ボタンをクリック

[検索とインストールのオプションを選んでください] が表示されます。

- 9 [次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] のみにチェックを付け、e¥drivers¥modem と入力して、[次へ] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[ハードウェアの更新ウィザードの完了] が表示されます。

- 10 [完了] ボタンをクリック

- 11 [閉じる] ボタンをクリック
- 12 [デバイスマネージャ] 画面を閉じ、[OK] ボタンをクリックして[システムのプロパティ]を閉じる

LAN ドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

※ヒント ●『再セットアップディスク』が(Disc1)、(Disc2)など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。

- 2 [スタート] ボタン—[コントロール パネル] をクリック

[コントロール パネル] 画面が表示されます。

- 3 [コントロール パネル] 画面の [システム] アイコンをダブルクリック

[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

※ヒント ●[コントロール パネル] 画面に [システム] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

- 4 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリック

[デバイスマネージャ] 画面が表示されます。

- 5 [ネットワーク アダプタ] をダブルクリック

- 6 [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC] をダブルクリック

[Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC のプロパティ] が表示されます。

- 7 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリック

[ハードウェアの更新ウィザードの開始] が表示されます。

- 8 [いいえ、今回は接続しません] を選択して、[次へ] ボタンをクリック

[このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします] が表示されます。

- 9 [一覧または特定の場所からインストールする] を選択して、[次へ] ボタンをクリック

[検索とインストールのオプションを選んでください] が表示されます。

- 10 [次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] のみにチェックを付け、e:¥drivers¥lan¥winxp と入力し [次へ] ボタンをクリック
* e は CD/DVD ドライブ名
[ハードウェアの更新ウィザードの完了] が表示されます。
- 11 [完了] ボタンをクリック
- 12 [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリック
- 13 [デバイスマネージャ] 画面を閉じ、[OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じる

タッチパッドドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる
-
- ※ヒント** ●『再セットアップディスク』が (Disc1)、(Disc2) など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。
- 2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。
 - 3 e:¥drivers¥touchpad¥setup と入力して [OK] ボタンをクリック
* e は CD/DVD ドライブ名
[ようこそ] 画面が表示されます。
 - 4 [次へ] ボタンをクリック
[重要なお知らせ] 画面が表示されます。
 - 5 [次へ] ボタンをクリック
[ファイルコピーの開始] 画面が表示されます。
 - 6 [次へ] ボタンをクリック
ドライバーがセットアップされ、終了後、[セットアップ完了] 画面が表示されます。
 - 7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] がチェックされていることを確認し、『再セットアップディスク』を取り出して、[完了] ボタンをクリック
Windows が立ち上げ直されます。



- 8 [Synaptics ポインティングデバイスの設定] 画面が表示されるので、[起動時にこの画面を表示]のチェックを外し、[閉じる] ボタンをクリック

SD メモリーカード / メモリースティックドライバー

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

※ヒント ●『再セットアップディスク』が (Disc1)、(Disc2) など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。

- 2 [スタート] ボタン - [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

- 3 e:¥drivers¥media¥setup と入力し、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[RICOH R5C841/842 Flash Media Controller Driver Ver.2.15 セットアップへようこそ] が表示され
ます。

- 4 [次へ] ボタンをクリック

[インストール準備の完了] が表示されます。

- 5 [インストール] ボタンをクリック

ドライバーがインストールされ、終了後、[InstallShield Wizard の完了] が表示されます。

- 6 [完了] ボタンをクリック

[InstallShield Wizard の完了] が表示されます。

- 7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] がチェックされていることを確認し、『再セットアップディスク』を取り出して、[完了] ボタンをクリック

Windows が立ち上げ直されます。

ワイヤレス LAN ドライバー（ワイヤレス LAN 搭載モデルのみ）

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『再セットアップディスク』を CD/DVD ドライブに入れる

※ヒント ●『再セットアップディスク』が (Disc1)、(Disc2) など、複数枚添付されているモデルもあります。複数枚添付されているモデルの場合、添付されているメディアの最終 Disc をご使用ください。

- 2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

- 3 e:¥drivers¥wlan¥drivers¥iprodiffx と入力して、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[インテル (R) PRO Wireless ドライバインストーラー] が表示され、ドライバーがインストールされます。インストールが完了すると、ウィンドウが閉じられます。

オンラインサインアップソフト

- 1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』 CD を CD/DVD ドライブに入れる

- 2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

- 3 e:¥online¥instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。

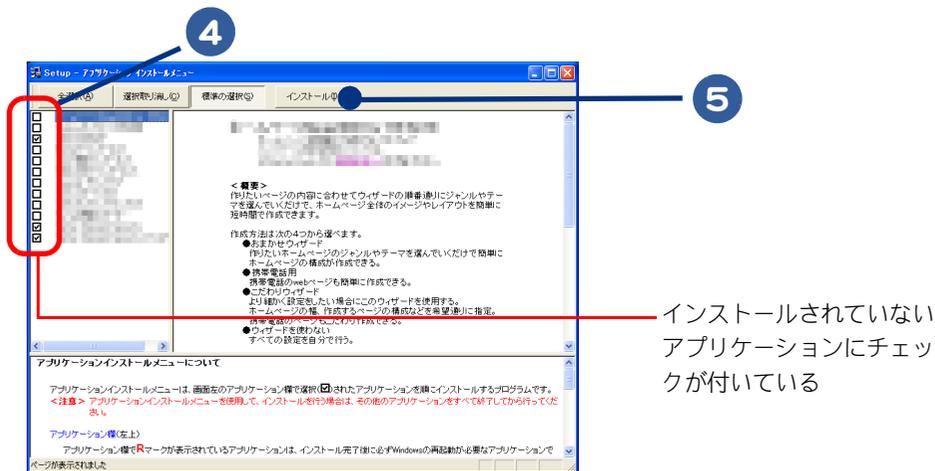
4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時に、[スタート] メニューに登録されているプログラム名で、どのアプリケーションがインストール済みか判断します。インストールされていないアプリケーションにはチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付き、[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

5 [インストール] ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。[キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



6 [OK] ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

重要 ● アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。

● オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

参照 → 特別な操作が必要な指定項目について → 「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン（[実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「インストールが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

8 [OK] ボタンをクリック

複数のアプリケーションをインストールする場合は、次のアプリケーションのインストール開始確認画面が表示されます。

9 インストールするアプリケーションの数だけ、手順 6～8 を繰り返す

インストールがすべて終了すると、[アプリケーション インストールメニュー] の終了メッセージが表示されます。

重要 ● アプリケーションによっては、インストール中に表示されるメッセージがウィンドウの裏に隠れてしまうことがあります。インストールが停止しているように見えたときは、[Alt] + [Tab] キーでウィンドウを切り替えてください。

10 [OK] ボタンをクリックし、『活用百科』 CD を CD/DVD ドライブから取り出す

11 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

重要 ● アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

プラグイン

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』 CD を CD/DVD ドライブに入れる

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

3 e:\online\instmenu と入力し、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[アプリケーション インストールメニュー] が表示されます。

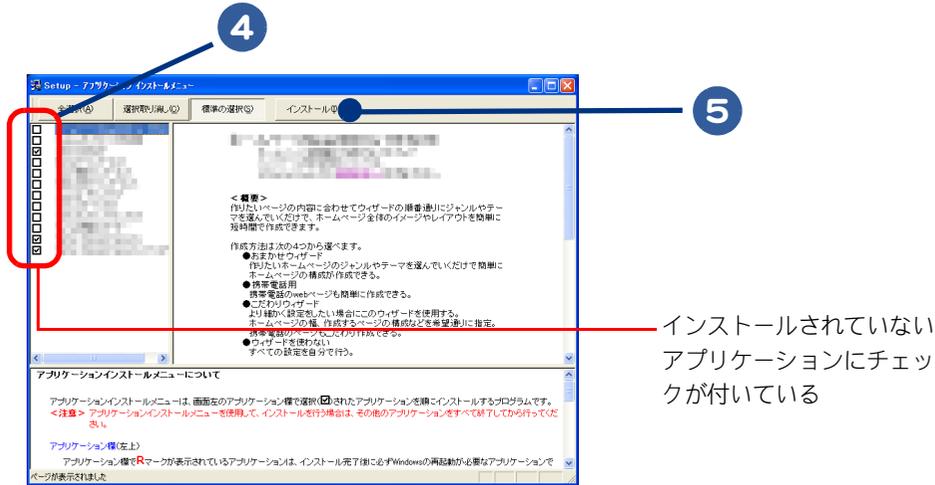
4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す

重要 ● [スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。

※ヒント ● [アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時に、[スタート] メニューに登録されているプログラム名で、どのアプリケーションがインストール済みか判断します。インストールされていないアプリケーションにはチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付き、[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。

5 [インストール] ボタンをクリック

インストールが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示されます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールは中止されます。



インストールされていない
アプリケーションにチェックが
付いている

6 [OK] ボタンをクリック

ほとんどのアプリケーションは、これでインストールが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示されます。

- 重要**
- アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で [OK]、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックしてください。
 - オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。

参照 → 特別な操作が必要な指定項目について → 「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン（[実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある）をクリック

インストールが終了すると、「インストールが終了しました。」などの終了メッセージが表示されます。

8 [OK] ボタンをクリック

複数のアプリケーションをインストールする場合は、次のアプリケーションのインストール開始確認画面が表示されます。

9 インストールするアプリケーションの数だけ、手順 6～8 を繰り返す

インストールがすべて終了すると、「アプリケーション インストールメニュー」の終了メッセージが表示されます。

- 重要**
- アプリケーションによっては、インストール中に表示されるメッセージがウィンドウの裏に隠れてしまうことがあります。インストールが停止しているように見えたときは、[Alt] + [Tab] キーでウィンドウを切り替えてください。

10 [OK] ボタンをクリックし、『活用百科』CDをCD/DVDドライブから取り出す

11 パソコンを立ち上げ直す

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになります。

重要 ● アプリケーションによっては、インストール中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

Adobe Reader

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』CDをCD/DVDドライブに入れる

2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

3 e:\install\reader\adberdr70_jpn_full と入力し、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[Adobe Reader 7.0 セットアップ] が表示されます。

4 画面の指示に従ってインストールする

[セットアップウィザードの完了] 画面が表示されます。

5 [完了] ボタンをクリック

CyberSupport for HITACHI

重要 ● 電子マニュアルがインストールされていないと、データベースが正しく作成されません。ご購入時には、あらかじめインストールされています。

1 Windows を立ち上げ、このパソコンに付属の『活用百科』CDをCD/DVDドライブに入れる

2 [スタート] ボタン— [ファイル名を指定して実行] をクリック

[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。

3 e:\install\cybersupport\setup と入力し、[OK] ボタンをクリック

* e は CD/DVD ドライブ名

[CyberSupport for HITACHI] が表示されます。



- 4** **【はい】 ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールする**
「CyberSupport を実行するにはマシンの再起動が必要です。」とメッセージが表示されます。
- 5** **【完了】 ボタンをクリック**
パソコンが立ち上げ直されます。

Windows ファイルを追加セットアップする

Windows 固有のソフトウェアは次の手順でセットアップできます。必要に応じてセットアップしてください。

- 1 [スタート] ボタン— [コントロール パネル] をクリック
- 2 [コントロール パネル] 画面の [プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックし、[プログラムの追加と削除] を開く
- 3 [Windows コンポーネントの追加と削除] ボタンをクリックし、[Windows コンポーネントウィザード] を開く
- 4 [コンポーネント] で、必要なソフトウェアにチェックを付ける
- 5 1つの項目に複数のソフトウェアが含まれている。全部をセットアップしない場合は [詳細] ボタンをクリックし、必要のないソフトウェアのチェックを消して [OK] ボタンをクリック
- 6 [次へ] ボタンをクリックし、[完了] ボタンをクリックする。追加するファイルによっては、立ち上げ直すメッセージが表示される。その場合は、立ち上げ直すとセットアップが終了する



パーティションの設定

HDD を複数の領域に分け、それぞれ別のドライブとして使用する場合にはパーティション（使用可能領域）を設定し直します。

重要

- パーティションの設定は、ある程度パソコンについての知識が必要です。初心者の方やHDDの知識をあまりお持ちでない方には、お勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。
- パーティションを設定し直すと、HDD内のデータはすべて削除されます。あらかじめCD-Rやその他の媒体に必要なファイルのバックアップを取ってください。インターネットやメールなどの設定も控えておいてください。

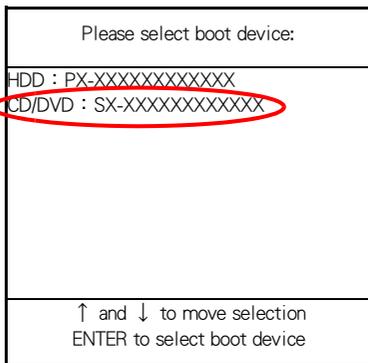
1 パソコンの電源を入れ、パソコンの立ち上げ中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[ESC] キーを押す

[Boot Menu] 画面が表示されます。

重要

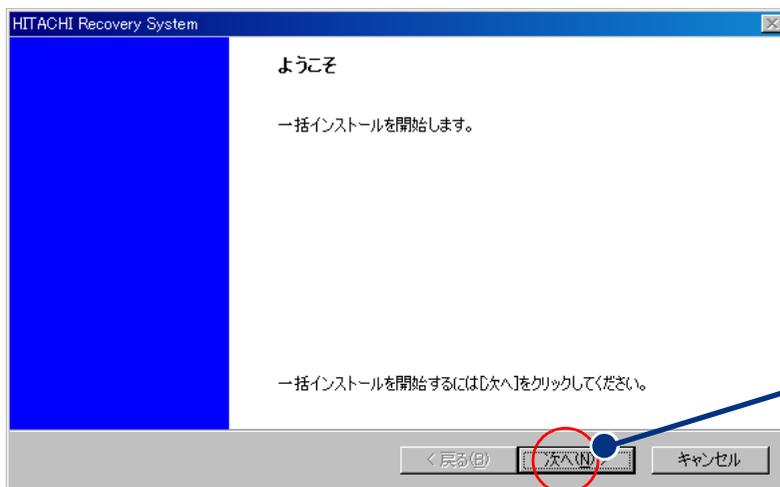
- [Boot Menu] 画面が表示されず Windows が立ち上がってしまった場合は、一度パソコンの電源を切り、パソコンの電源を入れ直してください。

2 CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク』を入れ、カーソルを [CD/DVD : SX-XXXXXXXXXXXX] に合わせ [Enter] キーを押す



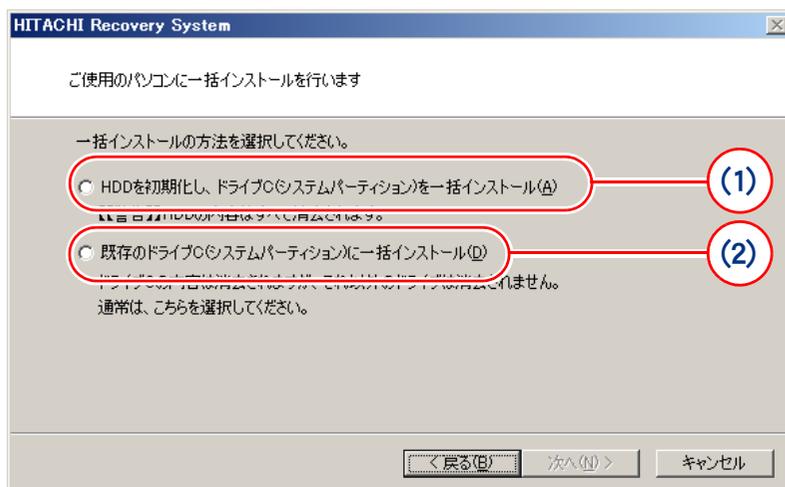
[ようこそ]画面が表示されます。

3 [次へ] ボタンをクリック



[ご使用のパソコンに一括インストールを行います] 画面が表示されます。

4 (1) : [HDD を初期化し、ドライブ C (システムパーティション) を一括インストール] セットアップ方法を選択し、[次へ] ボタンをクリック

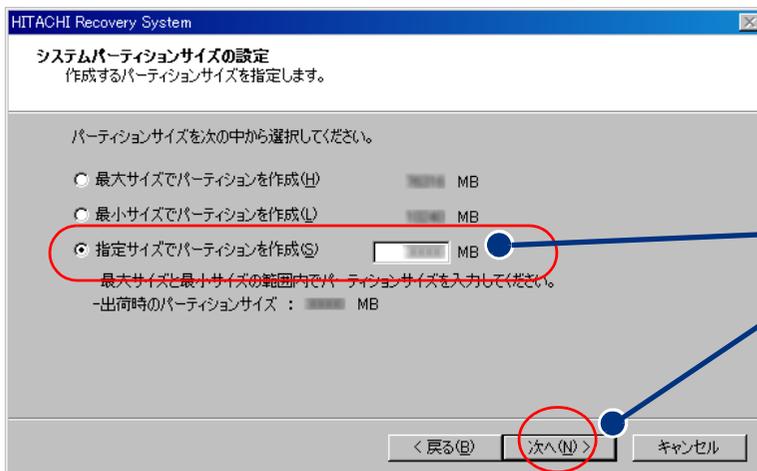


[システムパーティションサイズの設定] 画面が表示されます。

- * (1) を選ぶと、OS やアプリケーションなどをドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のパーティションも初期化される。
- * (2) を選ぶと、OS やアプリケーションをドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のパーティションは初期化されない。ドライブ C のパーティションサイズは変更できない。

重要 ● 工場出荷時のドライブ C は、20GB に設定されています。

5 [指定サイズでパーティションを作成]を選択し、新規に作成するドライブCのパーティションサイズを入力して、[次へ]ボタンをクリック



- * [最大サイズでパーティションを作成]を選ぶと、ハードディスクの最大サイズでドライブCを作成します。
- * [最小サイズでパーティションを作成]を選ぶと、ハードディスクの最小サイズでドライブCを作成します。

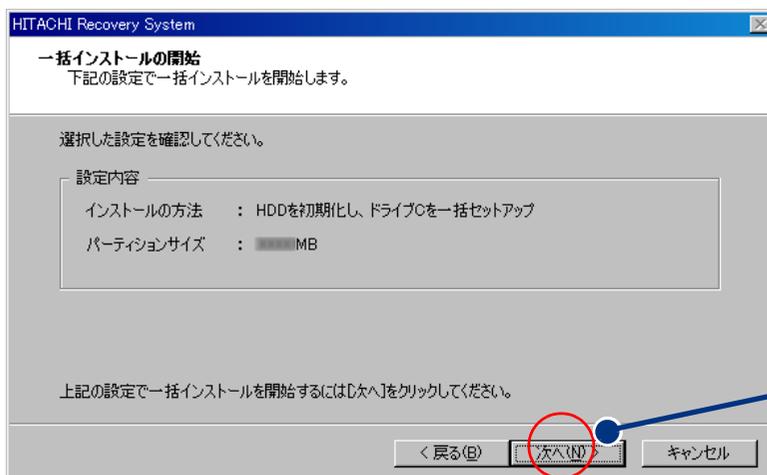
重要

- 工場出荷時のドライブCは、20GBに設定されています。
- 任意のパーティションサイズを入力する場合、最大サイズを超えない値でかつ、最小サイズを下回らない値を入力してください。

ヒント

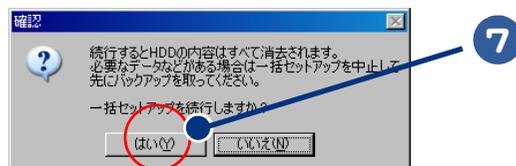
- ここで作成したドライブがドライブCになり、自動で立ち上げドライブとして設定されます。
- 立ち上げドライブの領域のサイズが、一括インストールに必要なサイズより小さい場合は、一括インストール時、インストールできるHDDのサイズまで自動で割り当て直します。
- [指定サイズでパーティションを作成]を選び、任意のパーティションを入力する場合、最大サイズを超えない値でかつ、最小サイズを下回らない値を入力してください。

6 [一括インストールの開始]画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリック 一括インストールを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリック



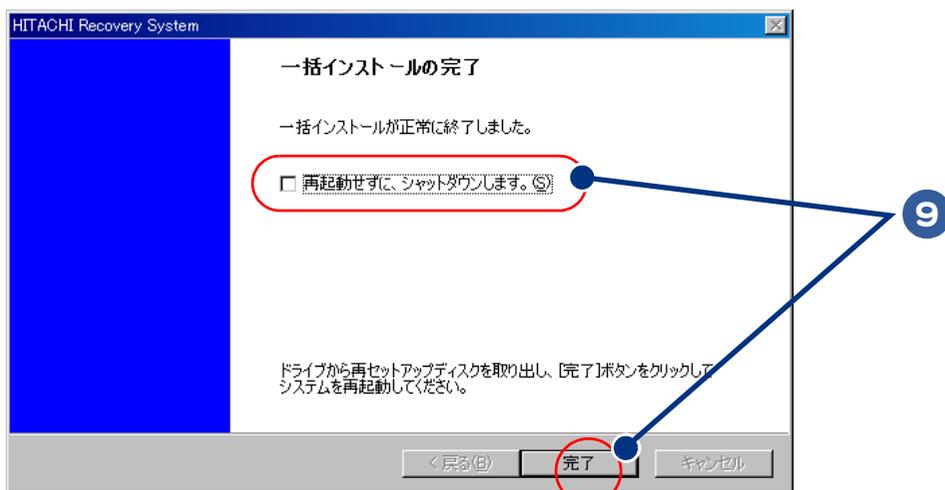
[確認]画面が表示されます。

- 7 [はい] ボタンをクリック
[いいえ] ボタンをクリックすると、手順 6 へ戻る



- 8 OS の回復作業が終了し、[一括インストールの完了]画面が表示されたら、パソコンから『再セットアップディスク』を取り出す

- 9 [再起動せずに、シャットダウンします。]にチェックが入っていないことを確認し、[完了]ボタンをクリック



パソコンが立ち上げ直され、[Microsoft Windows へようこそ]画面が表示されます。

- 10 画面の指示に従って、Windows 環境をセットアップする

参照 → 詳細について→紙マニュアル『準備しよう！Prius』1章の「使用許諾契約に同意しよう」

- 11 [スタート] ボタン－ [コントロール パネル] をクリック

- 12 [管理ツール] アイコンをダブルクリック

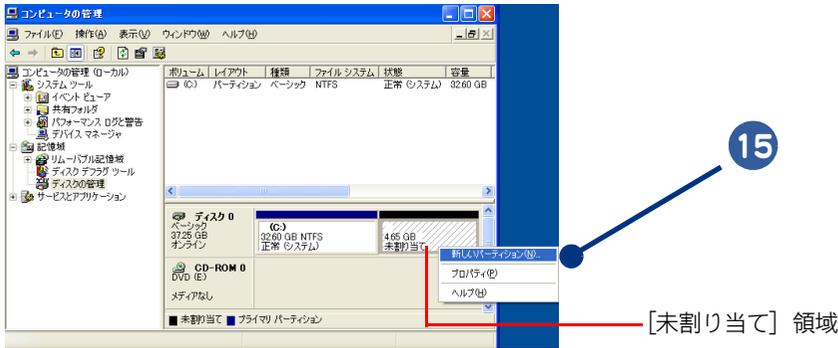
※ヒント ● [コントロール パネル] 画面に [管理ツール] アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示に切り替える] をクリックすると表示されます。

- 13 [コンピュータの管理] アイコンをダブルクリック

- 14 [記憶域] － [ディスクの管理] をクリックし、ディスクの構成を表示する



15 [未割り当て] 領域を右クリックし、[新しいパーティション] をクリック

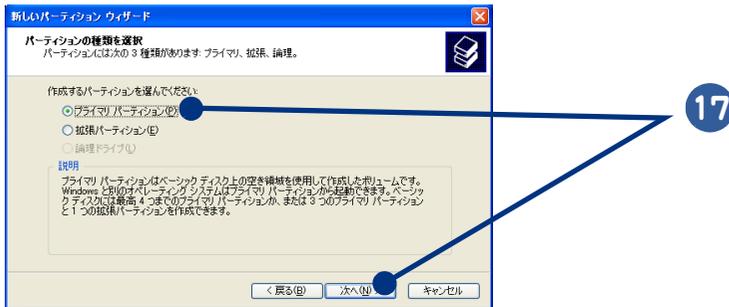


[新しいパーティションウィザード] 画面が表示されます。

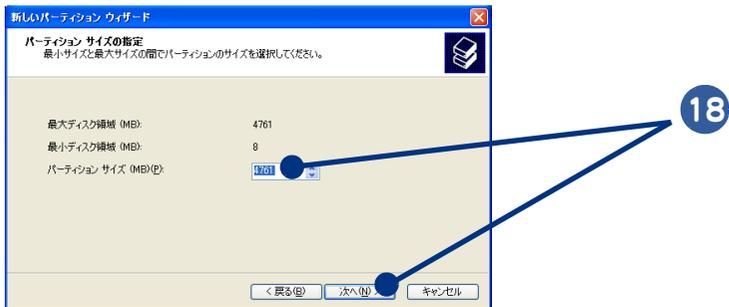
16 [次へ] ボタンをクリック

17 [プライマリパーティション] を選択し、[次へ] ボタンをクリック

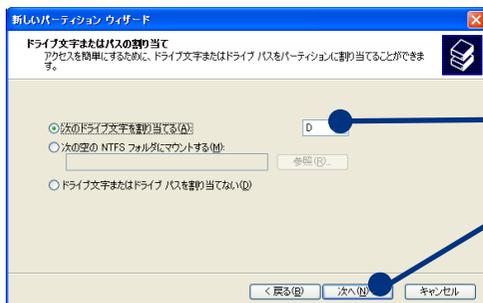
※ ヒント ● 5つ以上のパーティションを作成する場合は、[拡張パーティション] を選択し、画面の指示に従って、パーティションを作成してください。



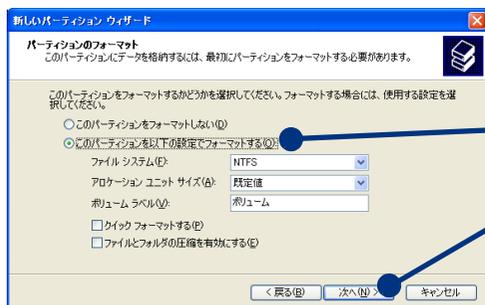
18 パーティションのサイズを入力し、[次へ] ボタンをクリック



19 ドライブ名を選択し、[次へ] ボタンをクリック



20 フォーマットする方法を選択し、[次へ] ボタンをクリック



21 [完了] ボタンをクリック

パーティションが作成され、新しいドライブができます。



5

5章 日常のお手入れ

この章では、パソコンの各部分および周辺機器のお手入れや消耗品について説明します。

»・パソコンのお手入れ (P.104)

パソコンのお手入れ

ここではパソコンと液晶ディスプレイ、CD/DVDドライブのお手入れについて説明します。

お手入れをするときは、電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて行ってください。

重要 ● シンナーやベンジン、化学雑巾は使わないでください。パソコンの表面が変質するおそれがあります。

パソコン

・パソコンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤で湿らせた布を固く絞って拭くか、オフィスクリーナーなど、市販の専用クリーナーをお使いください。

・ご使用になる環境によっては、本体底面の通気孔にほこりがたまり、故障などの原因となることがあります。定期的に清掃してください。ほこりは、綿棒などで取り除いてください。

・CPU冷却用のファンおよびヒートシンクは、定期的に歯ブラシやピンセットなどを使用して、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどがたまった場合、CPUの放熱効果が低下します。また、清掃の際はパソコンの電源を切って約30分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。カバーの取り外し方については、「取り付け手順」を参考にしてください。

液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

重要 ● 液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
ティッシュペーパーを使った場合でも強くこするとキズがつく場合があります。

CD/DVDドライブ

ほこりなどでデータ読み込み時にエラーが頻繁に発生する場合は、カメラ用のプロアーなどでほこりを吹き飛ばすようにして、クリーニングしてください。

重要 ● クリーニングディスクやクリーニング液を使用する湿式レンズクリーナーは、使用しないでください。ドライブ内部のレンズを傷つける原因になります。

※ヒント ● プロアーは、パソコンショップなどでご購入ください。



6

6章 トラブルと思ったら

この章では、パソコンおよび周辺機器の使用環境、使用方法における制限を説明します。また、「よくある質問」としてトラブルの対処法を紹介しています。

- >> ・制限事項 (P.106)
- >> ・よくある質問 (P.112)

制限事項

- ・ パソコンおよび周辺機器を使用する環境について
- ・ パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて
- ・ パソコンおよび周辺機器に関するご注意
- ・ 液晶ディスプレイに関するご注意
- ・ AC アダプターに関するご注意
- ・ USB 機器の使用について
- ・ CD/DVD ドライブに関するご注意
- ・ CD/DVD ディスクに関するご注意
- ・ CD/DVD 再生に関するご注意
- ・ HDD の容量表示について
- ・ 著作権についてのご注意
- ・ 光学式マウスに関するご注意
- ・ リモコンに関するご注意

パソコンおよび周辺機器を使用する環境について

- ・ 寒い場所では、室温を動作時周囲温度まで上げたあと 20～30 分経過してからお使いください。
- ・ 暑い場所では、しばらく空調などを使用し室温が一定になってからお使いください。
- ・ 直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。

参照 → 最適な温度について→紙マニュアル『準備しよう！Prius』4章の「パソコン仕様一覧」

- ・ ほこりが多い場所では、使用しないでください。ファンが目詰まりをする場合があります。
- ・ 温度変化が激しい場所や湿度が極端に高い場所では、使用しないでください。

参照 → 最適な温度について→紙マニュアル『準備しよう！Prius』4章の「パソコン仕様一覧」

- ・ 腐食性ガス（特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど）や塩分を多量に含む空気、油煙などが発生する場所に設置しないでください。このような場所では、パソコンおよび周辺機器の表面を化学的に腐食することにより、電子部品の接触抵抗が増加したり、可動部品の構造がもろくなり、パソコンおよび周辺機器の信頼性が著しく低下します。
- ・ パソコンを使用する場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合は、使用中に瞬時停電や電圧低下が発生して不都合が生じることがあります。バッテリーを取り付けていない場合は、この対策として、交流無停電電源装置を使用されることをおすすめします。
- ・ 煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前に電源を切りビニールシートなどでパソコンを完全に包んでください。
- ・ じゅうたんのある部屋でパソコンを使用したり、パソコンの使用中にひざ掛けなどを使用すると、それらの材質によって静電気が発生し、パソコンおよび周辺機器に悪影響を及ぼす場合があります。静電気の発生しにくいものをお使いください。
- ・ パソコンの上に物を置いたり、ディスプレイ部へ過大な負荷を掛けないようにしてください。液晶ディスプレイ破損やHDD破損の原因になります。

パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて

- ・ お客様が作成されたデータ（画像データ、映像データ、文書データなど）やメール、プログラム、各種の設定内容は、お客様の責任においてバックアップをお取りください。誤操作や故障などにより、パソコンの記憶装置（HDD など）からデータが失われたり、使用できない場合がありますが、保証書に定められた保証サービスを除き、これによる損害などの責任は当社では一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。お客様が作成されたデータなどは普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。
- ・ 本製品は日本国内仕様です。当社では海外での保守サービスおよび技術サポートは行っていません。
- ・ パソコンの廃棄または譲渡の際には、HDD 上のデータが流出するトラブルを回避するために、HDD からデータを消去するソフトウェアまたはサービスをご利用いただくことをおすすめします。なお、HDD 上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡するとソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。
- ・ Windows の立ち上げ中や使用中に、電源スイッチを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、次回立ち上げ時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がりますが、異常がある場合は、再セットアップをしないとパソコンが使用できない場合もあります。
- ・ パソコンは精密な電子部品で製造されていますので、衝撃や圧力を与えないでください。
- ・ 磁石やスピーカーなどの強い磁気を発生するものを近づけると、パソコンおよび周辺機器の故障の原因になります。
- ・ マウスやモデムなど外部からのノイズに弱い機器があります。誤動作をする場合は、パソコンおよびその周辺機器の電源を同一のノイズフィルター付き OA タップからとることをおすすめします。
- ・ 電源を切ってから再び電源を入れるまでに、必ず 1 分以上お待ちください。連続して電源を入り切りする（瞬時停電も含む）と保護機能が働くことがあります。このときは、一度電源を切って、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜きます。1 分以上経過してから AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
- ・ パソコンを立てかけて置くと、倒れた場合に壊れることがあります。絶対に立てかけないでください。
- ・ パソコンを持ち運ぶときは、電源を切るかまたはシステムスタンバイ状態にして 5 秒以上経過し、HDD の回転が完全に止まってから持ち運んでください。
- ・ パソコンを持ち運ぶときは、両手でしっかり持ってください。片手でぶら下げたりしないでください。
- ・ パソコンを持ち運ぶときは、必ず液晶ディスプレイを閉じてください。液晶ディスプレイの破損の原因になることがあります。
- ・ 各種ケーブルをパソコンに接続した状態で、ケーブルを強く引っ張らないでください。

パソコンおよび周辺機器に関するご注意

- ・ 本パソコンではプレインストールしているオペレーティングシステム（OS）以外の OS は当社のサポート外となります。
- ・ 本パソコンは全ての USB 対応周辺機器、IEEE1394 対応周辺機器（デジタルビデオカメラを含む）および PC カード周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ・ プレインストールおよび添付のソフトウェアは、市販のパッケージ商品と機能や添付品・マニュアルなど異なるものがあります。また、マニュアルについてはソフトウェアのヘルプ機能や電子マニュアルで代用しているものがあります。
- ・ 通信中や HDD、CD/DVD ドライブの読み込み、書き込み中にパソコンの電源を切ったり、ソフトウェアリセットを行ったり、節電機能を働かせないでください。故障の原因となります。
- ・ モデム着信による休止状態および、電源を切った状態からの復帰はできません。
- ・ Windows でコマンドプロンプトを使用する場合は、英語環境にしないでください。正しく動作しないことがあります。

- ・ 装置内部を冷却するためにファンが回転しています。また、内部温度によってファンの回転数を変更しますので、音が大きくなったり、小さくなったりしますが、故障ではありません。

液晶ディスプレイに関するご注意

扱い方について

- ・ パソコンの使用温度範囲は、5℃～35℃です。5℃未満の環境でご使用になると画面が暗くなったり、表示できなくなったりします。使用温度範囲のところで、電源を入れ直してください。
- ・ 液晶ディスプレイを前後方向に調整する場合は、液晶面に過度のストレスがかからないように、両手で操作してください。無理な力が加わると、故障の原因になります。
- ・ 液晶ディスプレイ部を閉じるときは、HDD、CD/DVDドライブ停止していることを確認してから行ってください。
- ・ 液晶ディスプレイの表面を強く押ししたりすると、故障の原因となることがあります。
- ・ 液晶ディスプレイ表面に水滴や指紋など汚れが付いたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ 表示全体の明るさを最大にすると、バックライトの寿命が短くなります。[Fn]+[F5] キーや [Fn]+[F6] キーで調整してください。通常は中程度の明るさでご使用ください。
- ・ 液晶表示面の周囲を押さえたり、その部分に過度のストレスがかかる状態で持ち運んだりしないでください。液晶表示面が破損するおそれがあります。

表示について

- ・ 表示部が冷えた状態で電源を入れたときなど画面が暗くなることがありますが、故障ではありません。約30分ほどで安定状態となります。また液晶は環境温度で明るさが変化します。特に低温になると暗くなることがありますが、故障ではありません。
- ・ 液晶の特性上、表示するパターンによっては、画面がちらついたり、本来線の無いところに薄い線が見えたり、色むらが見える場合がありますが故障ではありません。
- ・ 長時間同一パターンを表示していると、画面が変わったときにも前のパターンが薄く見えることがあります。これは時間がたつと軽減します。
- ・ 長時間連続してご使用になると、液晶の温度が上昇し、コントラストが少し変化したりムラが出ることがあります。これは液晶の温度が下がるとともに戻ります。
- ・ 電源を入れたまま長時間ディスプレイを閉じておくと、表示にムラが出ることがあります。これはディスプレイを開けて放置しておくとともに戻ります。
- ・ パソコンを立ち上げた直後は、画面の明るさが暗いことがあります。これは時間の経過とともに正しく見えるようになります。
- ・ 画面の色数が高(24ビット)以上のときは、AVIファイルなどの動画をフルスクリーンで再生しても、再生するファイルによっては画面いっぱいに表示されないことがあります。このときは、高(24ビット)よりも少ない色数に設定するとフルスクリーンで表示されます。
- ・ 多色表示を実現させるため、また液晶の構造上、上方向から見えにくい場合があります。ディスプレイ面を見やすい角度に調整してご使用ください。

ACアダプターに関するご注意

- ・ 絶対に分解しないでください。
- ・ 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。
- ・ 水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
- ・ 布団の上や中など熱がこもるような環境で使用したり、狭い場所に放置したりしないでください。
- ・ 上に物を置かないでください。
- ・ 必ず付属のコードセット(電源コード)を使ってください。

USB 機器の使用について

- ・特定のUSB機器を複数接続した場合や、特定のデバイスとの組み合わせにおいて、接続した機器が使用可能な状態にならない場合があります。この場合は、USBケーブルを抜き差しして、その機器を再度確認させてください。
- ・特定のUSB機器を接続した場合、節電機能への移行／復帰が正常に行えない場合があります。この場合は節電機能を使用しないでください。
- ・USBポートの電源供給能力は、1ポートあたり最大500mAです。500mAを超えるUSB機器は使用できません。接続しないでください。

CD/DVDドライブに関するご注意

- ・パソコンの電源を切るときには、必ずディスクを取り出してからにしてください。
- ・ドライブの内部に異物を入れないでください。ドライブの故障の原因となります。
- ・ドライブの使用中に振動を与えないでください。データを正しく読み込めないことがあります。
- ・CD、DVDへのアクセス中は、イジェクトボタンを押さないでください。
- ・他のパソコンで作成されたディスクについて、本パソコンでの動作を保証するものではありません。
- ・本パソコンで作成したCD、DVDはほかのパソコンやプレーヤーでは読み込めない場合があります。
- ・FDDなど、データの転送速度が遅いドライブからCD、DVDに書き込みを行うときは、テスト書き込みを行ってください。
- ・CD、DVDにデータを書き込むときは、ほかのアプリケーションを終了してください。書き込み中もほかのアプリケーションを立ち上げないでください。書き込みを失敗することがあります。
- ・CD、DVDは、追加で書き込みをすると、書き込んだドライブ以外では正常に読み込めない場合があります。
- ・DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R2層書き込み対応)で、DVD±RDLのディスクへデータを記録し、DVD±RDL未対応のドライブで読み込むと、DVD-ROMとして認識されます。
- ・DVD+RDLのディスクへデータを書き込み、DVD+RDL未対応のドライブで読み込むと、書き込みしたデータが読み込めないことがあります。
- ・DVD-RDLは、追記書き込みはできません。

CD/DVDディスクに関するご注意

- ・割れたり変形したディスクを使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ディスクをお手入れするときは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外周に向けて放射状に拭いてください。このとき、ベンジン、シンナー、水、レコードクリーナー、静電気防止剤、シリコンクロスなどで拭かないでください。
- ・ディスクからゴミや水分を取り除くのにドライヤーは使わないでください。
- ・ディスクは温度、湿度が高い場所、温度差のはげしい場所、直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- ・ディスクにラベルなどを貼らないでください。ドライブ内での回転が不安定になり故障の原因になります。
- ・DVD-RAMなどのカートリッジタイプのディスクを、カートリッジから取り外して使用するときは、記録面に触らないなど、取り扱いに注意してください。正しく扱わないと、記録されているデータが損なわれたり、ドライブの故障の原因となります。
- ・お子様がディスクを傷つけたりしないよう、ディスクはお子様の手が届かないところに保管してください。
- ・各ディスクの一般的な書き換え可能回数には上限があります。
 - ・CD-RWディスク：約1000回
 - ・DVD-RWディスク：約1000回
 - ・DVD-RAMディスク：約10万回

- ・DVD+RW ディスク：約 1000 回
これをを超えて使用されると、書き込みエラーが発生することがあります。
- ・ディスクによっては一部書き込み速度に対応していない場合もあります。
- ・ドライブには次のものを絶対に入れないでください。ディスクを取り出せなくなったり、ドライブやディスクが破損したりします。
 - ・名刺型やハート型などの異形ディスク
 - ・"DVD Slim Disc" などの規格外ディスク
 - ・コイン、クリップなどの金属物や液体など、ディスク以外の異物

CD/DVD 再生に関するご注意

- ・本パソコンでは地域番号（リージョンコード）として「2」または、「ALL」が記載されていない DVD ビデオディスクは再生できません。
- ・本パソコンにオーディオ機器を接続してお聞きになるときは、スピーカーを保護するため、いったんオーディオ機器の音量を下げて正常に再生できることを確認してからご使用ください。
- ・本パソコンはソフトウェアを用いて DVD を再生（デコード）しています。このためディスクによっては、操作および機能に制限があったり、CPU 負荷などのハードウェアの制限で映像がコマ落ちしたり、音がとぎれることがあります。
- ・本パソコンはすべての DVD ビデオタイトルの再生を保証するものではありません。DVD ビデオタイトルによっては、正しく再生できない場合があります。
- ・現在発売されています「コピーコントロール CD」は CD 規格に準拠していない特殊ディスクです。本パソコンでの CD 再生および録音の動作を保証するものではありません。通常の CD の再生には支障がなく、特殊ディスクの再生時にのみ支障がある場合には、パソコンの故障・不具合ではありません。

HDD の容量表示について

- ・HDD は、高密度な磁気ディスクにデータを保存する精密機器です。磁気ディスクには微小な欠点があり、これらの領域にはデータを書き込まないようになっています。
- ・HDD のエラーチェックプログラムを実行すると、「不良セクタ」もしくは「スキップセクタ」が表示されることがあります。これは、データを書き込まない領域を表示しているだけで、HDD の不良ではありません。
- ・取り付けられている内蔵 HDD の容量と、エラーチェックプログラム実行時に表示される「全ディスク容量」との関係は次のとおりです。内蔵 HDD が複数のパーティションに分割されている場合は、各領域の合計値です。この場合、合計値が次の値以下になる場合があります。なお、*は BIOS メニューの IDE の項目をご参照ください。

内蔵 HDD 容量	全ディスク容量の表示
* GB	* × 1000000000 バイト以上

著作権についてのご注意

- ・音楽、画像、映像などは著作権法より、その著作権者および著作権者の権利が保護されています。権利者の了解なく無断でこれを複製（データ形式の変換を含む）、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うことは著作権法上できません。
- ・著作権保護のための信号が記録されている市販映像は、本パソコンへ取り込むことはできません。

光学式マウスに関するご注意

- ・ マウスの底面から発せられる赤い光を直接見ると、眼を痛める場合があります。赤い光を直接見ないでください。
- ・ センサー部分を汚したり、傷をつけないでください。
- ・ 光学式マウスをご使用のときは、光学式マウスに適したマウスパッドをご使用することをお勧めします。

次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- ・ 鏡やガラスなど反射しやすいもの
- ・ 光沢があるもの（研磨した金属、ラミネート光沢紙、プラスチック）
- ・ 濃淡のはっきりした稿模様や柄のもの
- ・ 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
（正目の木材、畳、立体画像用フレネルレンズ付マウスパッド）

リモコンに関するご注意

- ・ 太陽光などの強い光が入るところを避けて使用してください。
- ・ リモコンを落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしないでください。部品がこわれ、故障の原因となります。
- ・ リモコンに水をかけたり、濡れたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
- ・ パソコンのリモコンは次の範囲でご使用ください。
距離：発光部をリモコン受信ユニットに向けて、5m 以内
角度：左右± 15°、3m 以内

よくある質問



・・・よくある質問です。



・・・その答えです。

- ・ ファイルがうまく管理できない
- ・ 通信がうまくできない
- ・ インターネット使用中のトラブル
- ・ インターネットブラウザのトラブル
- ・ メールの送受信がうまくいかない
- ・ 一括インストールできない
- ・ PDF ファイルの操作で困った！
- ・ ソフトウェアのトラブル
- ・ ソフトウェアをもっと使いこなしたい
- ・ データのバックアップ

ファイルがうまく管理できない

- ・ エクスプローラで探しているファイルが見つからない
- ・ CD、DVD ディスクからコピーしたファイルを上書きできない



エクスプローラで探しているファイルが見つからない



- 隠しファイルに設定されています。隠しファイルを見えるようにフォルダオプションの設定を変更します。

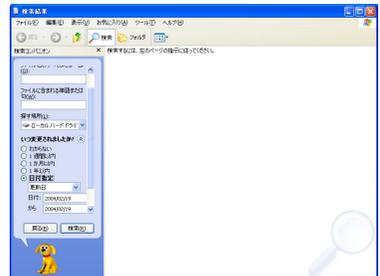
- 1 [スタート] ボタン - [マイコンピュータ] を選択し、[ツール] - [フォルダオプション] を選択する。
- 2 [表示] タブをクリックし、[詳細設定] の [ファイルとフォルダの表示] を開き、[すべてのファイルとフォルダを表示する] を選択する。



- 3 [OK] ボタンをクリック。

- フォルダの内容が非表示に設定されています。「このフォルダの内容を表示する」をクリックすると、以降はそのフォルダ内のファイルが表示されるようになります。
- 正しいフォルダを選択します。
- どのフォルダに保存したか不明のときは、ファイルを検索します。

- 1 [スタート] ボタン - [検索] - [ファイルとフォルダすべて] を選択する。
- 2 [いつ変更されましたか?] をクリック。
- 3 [日付指定] を選択し、ファイルを作成した日付の範囲を指定する。ファイル名やファイルの種類がわかれば、検索条件に追加して [検索] ボタンをクリック。



- 4 検索されたファイルのフォルダを確認する。

- 新規文書を保存すると、文書を作成したアプリケーションのフォルダーに入ることがあるので、このフォルダーを確認します。
- CD/DVDドライブ内のディスク内の3階層程度下のフォルダーを開くと、正しくフォルダーが表示されない場合があります。

Q CD、DVD ディスクからコピーしたファイルを上書きできない



- ファイル属性の読み取り専用を解除します。

- 1 エクスプローラでファイルを右クリックし、[プロパティ]を選択する。
- 2 [読み取り専用]のチェックを外す。
- 3 [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリック。
- 4 エクスプローラのウィンドウ右上の [X] ボタンをクリックして、エクスプローラを終了する。

通信がうまくできない

- ・モデムやLANで通信ができない
- ・モデムで通信できない

Q モデムやLANで通信ができない



- 次の手順を行います。

- 1 [スタート] ボタン— [コントロールパネル] を選択する。
- 2 [システム] アイコンをダブルクリックして開き、[ハードウェア] タブをクリック。
- 3 [デバイスマネージャ] ボタンをクリック。
- 4 モデムの場合はリストの [モデム] をダブルクリックし、モデムドライバのプロパティを開く。
LANの場合はリストの [ネットワークアダプタ] をダブルクリックし、[LAN ドライバ] のプロパティを開く。

- 5 それぞれのデバイスの状態を確認し、正常に動作していない場合は [トラブルシューティング] をクリックして、トラブルシューティングを行う。

Q モデムで通信できない



- 次の方法で通信テストを行い、エラーになった場合はドライバーを再セットアップします。

- 1 [スタート] ボタン— [コントロールパネル] を選択する。
- 2 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックして開き、[モデム] タブをクリック。
- 3 モデムを選択し、[プロパティ] ボタンをクリック。
- 4 [診断] タブをクリックし、[モデムの照会] ボタンをクリック。
- 5 処理が終わったら通信テストの結果を確認する。



インターネット使用中のトラブル

- ・インターネットに接続できない
- ・接続中に突然回線が切れる
- ・接続中にパソコンの電源を切ってしまった
- ・ホームページが開かない
- ・モデムの発音音がうるさい
- ・転送スピードが遅い

Q インターネットに接続できない



- 外付けのモデムを使用しているときは、モデムの電源が入っているかを確認します。

- 接続が混んでいる時間帯では、すぐに接続できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続します。
- 接続先のサーバーが停止していないかを確認します。
- 設定してある接続先の電話番号を確認します。

- 1 [スタート] ボタン— [コントロールパネル] を選択し、[ネットワーク接続] アイコンをダブルクリック。
- 2 使用している接続先のアイコンを右クリックし [プロパティ] を選択する。
- 3 [全般] タブをクリックし、市外局番と電話番号を確認する。



- プロバイダーに接続する場合、アクセスポイントによってはつながりにくいことがあります。この場合、アクセスポイントを変更して接続してください。
- ユーザー ID やパスワードを確認します。

- 1 [スタート] メニューの [インターネット] アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ] を選択する。
- 2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリック。
- 3 ユーザー名を確認し、正しいパスワードを入力する。パスワードを入力するときは小文字、大文字を確認する。



- モデムの設定が正しいかを確認します。

- 1 [スタート] ボタン— [コントロールパネル] を選択し、[電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリック。
- 2 [ダイヤル情報] タブをクリックし、[所在地] を選択して [編集] ボタンをクリック。
- 3 [全般] タブをクリックし、国/地域、市外局番、ダイヤル情報を確認して、[OK] をクリック。

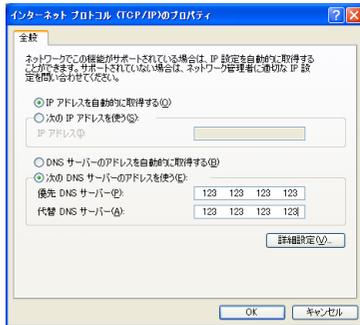


- 4 [モデム] タブをクリックし、使用しているモデムが選択されているかを確認する。
- 5 [プロパティ] ボタンをクリックし、[XXXX のプロパティ] の [詳細] タブをクリック。
- 6 [既定の設定を変更] ボタンをクリックし、[XXXX 既定の変更] の [全般] タブ、[詳細] タブをクリックして、接続の形式などを確認する。



- ネームサーバーや IP アドレスなどの TCP/IP の設定を確認します。

- 1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] を選択し、[ネットワーク接続] アイコンをダブルクリック。
- 2 使用している接続先のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
- 3 [ネットワーク] タブをクリックし、確認する接続を選択して [プロパティ] ボタンをクリック。
- 4 IP アドレスとネームサーバーを確認する。



- パソコンに接続した電話機から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した電話機を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。
- AC 電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販の AC 電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除去します。
- ターミナルアダプター（以下、TA）をご使用の場合、Windows XP に対応している TA であるかを確認します。機種によっては、Windows XP に対応していないことがあります。

- ADSL モデムなどの電源が入っているか確認します。
- モデムや通信機器の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。



接続中に突然回線が切れる



- データを送受信していない状態が一定の時間以上続くと、自動的に回線が切れます。通信していない時間を長くするときは、次のようにします。
- 1 [スタート] メニューの [インターネット] アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ] を選択する。
 - 2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリック。
 - 3 [詳細設定] ボタンをクリックする。
 - 4 [アイドル時間が次の場合切断する] をチェックして、アイドル時間を長くする。



- キャッチホンがかかると、通信が切れます。キャッチホン II 加入者の場合、キャッチホン II に切り替えると解消します。

※ヒント

- キャッチホン II とは、回線接続中にかかってきた電話に対して電話センタが対応する、NTT のサービスです。
- 接続先のサーバーがダウンした可能性があります。サーバーが回復するのを待って、もう一度接続します。
- Outlook 2003 の使用時では、[手動の送受信が終了したら切断する] を、Outlook Express の使用時では、[送受信が終了したら切断する] をチェックしていると、メールの送受信後自動的に回線が切れます。
- 回線にノイズが発生しました。しばらく待って、もう一度接続します。
- パソコンがシステムスタンバイの状態になっています。システムスタンバイをオフにします。

- モデムケーブルの接続を確認し、接続が正しくない場合は、パソコンの電源を切ってから接続し直します。
- CPUの周波数が切り替わる時に、回線が切れることがあります。CPUの節電機能を無効にしてください。

- 1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] をクリックし、[電源オプション] アイコンをダブルクリック。
- 2 [電源設定] タブをクリック。
- 3 [電源設定] を「常にオン」に設定する。

Q 接続中にパソコンの電源を切ってしまった



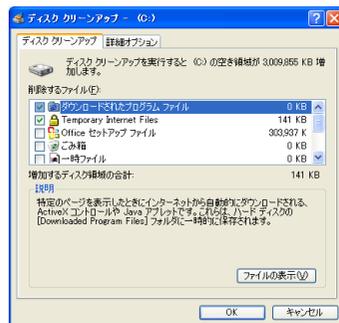
- 電話回線は強制的に切断されます。パソコンを立ち上げ直し、再接続すれば特に問題ありません。ダウンロード中のファイルがある場合は、正常に保存されないことがあります。

Q ホームページが開かない



- URLの入力が正しいか確認します。
- 指定したURLのホームページがなくなっています。
- HDDの空き容量が不足しています。ディスククリーンアップの実行、不要なデータの削除などでHDDの空き容量を増やします。

- 1 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [ディスククリーンアップ] を選択する。状態のチェックが行われ、[ディスククリーンアップ] が表示される。
- 2 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK] ボタンをクリックする。確認のメッセージで[はい] ボタンをクリック。



- 指定したURLのホームページは、インターネットエクスプローラで設定したセキュリティのレベルの範囲外です。次の手順を行って、セキュリティレベルを調整します。

- 1 [スタート] メニューの [インターネット] アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ] を選択する。
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[Web コンテンツのゾーン] を選択してセキュリティのレベルを設定する] で、[インターネット] が選択されていることを確認する。
- 3 [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリック。
- 4 [カスタム設定のリセット] の [リセット] でレベルを選択し、[リセット] ボタンをクリック。
- 5 「このゾーンに設定されているセキュリティのレベルを変更しますか?」という警告が表示される。[はい] をクリック。
- 6 [OK] ボタンを2回クリック。

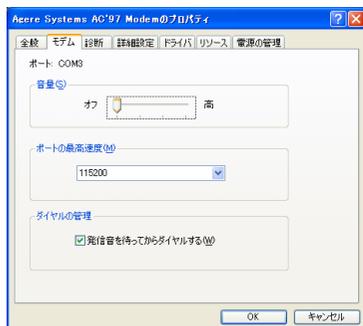


Q モデムの発信音がうるさい



- モデムの発信音を消します。
- 1 [スタート] ボタン - [コントロールパネル] を選択し、[電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリック。
 - 2 [モデム] タブをクリックし、使用するモデムが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリック。

- 3 [モデム] タブをクリックし、[音量]のスライダーを [オフ] にする。



- 4 [OK] ボタンを 2 回クリックして終了する。

※ヒント ●再び音を出す場合は、手順3で [音量]のスライダーを右に移動してください。

Q 転送スピードが遅い

- A**
- サーバーが混んでいます。
 - パソコンに接続した電話・FAXなどの通信機器から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した通信機器を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。
 - AC電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販のAC電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除去します。

インターネットブラウザのトラブル

- ・「お気に入り」が増えすぎた
- ・開いたホームページが更新されていない
- ・ホームページが文字化けする
- ・ホームページの表示が遅い
- ・ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

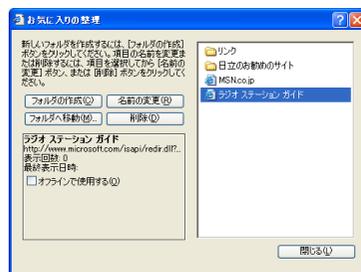
Q 「お気に入り」が増えすぎた

- A**
- フォルダーを作成してお気に入りのページをフォルダーに移動します。

参照 → お気に入りの整理について→『使おう！インターネット』2章の「[お気に入り]を整理する」

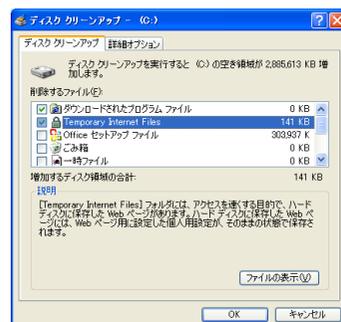
- お気に入りのページを削除します。

- 1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[お気に入り] - [お気に入りの整理] を選択する。
- 2 削除するホームページを選択し、[削除] ボタンをクリックし、[はい] ボタンをクリック。



Q 開いたホームページが更新されていない

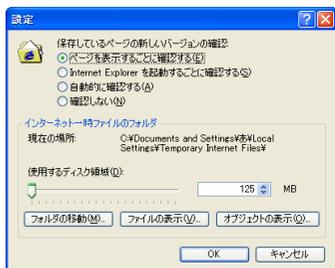
- A**
- 立ち上げ直したあと、HDDのクリーンアップを実行して一時ファイルを削除します。
- 1 [スタート] ボタン - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [ディスククリーンアップ] を選択する。状態のチェックが行われ、[ディスククリーンアップ] が表示される。
 - 2 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK] ボタンをクリックする。確認のメッセージで[はい] ボタンをクリック。



- キャッシュに保存されている一時ファイルを更新するように設定を変更します。

- 1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール] - [インターネットオプション] を選択する。

- 2 [全般]タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [設定] ボタンをクリック。
- 3 [保存しているページの新しいバージョンの確認] で [ページを表示することに確認する]、[Internet Explorer を起動することに確認する]、[自動的に確認する(A)] のいずれかを選択する。

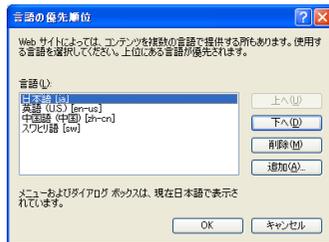


- 一時ファイルを削除します。
 - 1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール] - [インターネットオプション] を選択する。
 - 2 [全般]タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [ファイルの削除] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリック。

Q ホームページが文字化けする



- 表示している文字の種類を日本語に変更します。
 - 1 インターネットエクスプローラで、[表示] - [エンコード] - [日本語(シフト JIS)] または [日本語(自動選択)]、[日本語(EUC)] を選択する。
- 日本語を優先して表示する設定に変更します。
 - 1 インターネットエクスプローラで、[ツール] - [インターネットオプション] を選択する。
 - 2 [全般] タブをクリックし、[言語] ボタンをクリック。
 - 3 [日本語 [ja]] を選択し、[上へ] ボタンをクリックし、一番上に移動する。[日本語 [ja]] がいないときは、[追加] ボタンをクリックし、[日本語 [ja]] を選択し [OK] ボタンをクリック。

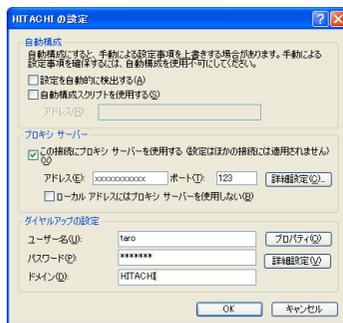


Q ホームページの表示が遅い



- プロキシサーバーを利用します。

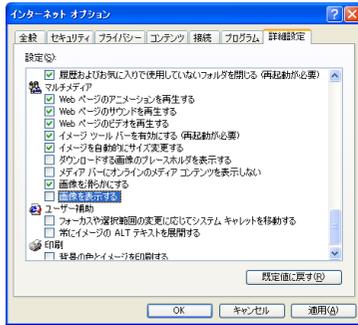
- 1 [スタート] メニューの [インターネット] アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ] を選択する。
- 2 [接続] タブをクリックし、使用しているダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリック。
- 3 [この接続にプロキシサーバーを使用する] をチェックし、アドレスとポートを入力する。



- アドレスとポートはプロバイダーにお問い合わせください。

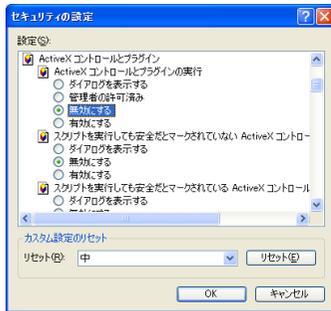
- 画像の表示をやめます。

- 1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール] - [インターネットオプション] を選択する。
- 2 [詳細設定] タブをクリックし、「マルチメディア」の [画像を表示する] のチェックを外す。



- ActiveX を無効にします。

- 1 インターネットエクスプローラを立ち上げ、[ツール] - [インターネットオプション] を選択する。
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリック。
- 3 「ActiveX コントロールとプラグインの実行」の[無効にする]を選択する。



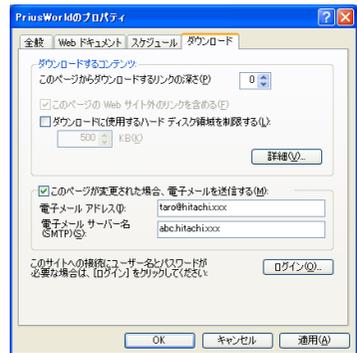
- パソコンに接続した電話機から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した電話機を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。
- AC 電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販の AC 電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

Q ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変



- ホームページの内容が更新された通知をメールで受け取ることができます。ホームページをお気に入りに追加し、更新通知を送信するように設定します。

- 1 インターネットに接続し、更新された通知を送信させるホームページを表示する。
- 2 [お気に入り] - [お気に入りに追加] を選択し、フォルダーを選択して [OK] ボタンをクリック。
- 3 [お気に入りに入り] - [お気に入りの整理] を選択する。
- 4 更新通知を送信させるホームページを選択し、[オフラインで使用する] をチェックする。[プロパティ] ボタンが表示される。
- 5 [プロパティ] ボタンをクリックする。[xxx のプロパティ] が表示される。
- 6 [ダウンロード] タブをクリック。
- 7 [このページが変更された場合、電子メールを送信する] をチェックし、電子メールアドレスと電子メールサーバー名を入力し、[OK] ボタンをクリック。



- 8 [閉じる] ボタンをクリックする。インターネットに接続し、同期化される。

メールの送受信がうまくいかない

- メール送受信ができない
- 送信したメールが相手に届いていない
- 受信したメールが文字化けしている
- 受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる
- Outlook Express でメールを開くと、「次の添付ファイルは安全でないため、メールからのアクセスが削除されました: <ファイル名>」と表示される
- Outlook でメールを開くと、「次の添付ファイルは問題を起す可能性がある」と表示される

Q メール送受信ができない



- [送受信] ボタンを数回押します。
- サーバーが停止していないかを確認します。
- 受信メール (POP3) サーバー、送信メール (SMTP) サーバー、アカウント名、パスワードが正しいか確認します。

[Outlook 2003 の場合]

- 1 Outlook 2003 を立ち上げ、[ツール] - [電子メールアカウント] を選択する。
- 2 [既存の電子メール アカウントの表示と変更] を選択し、[次へ] ボタンをクリック。
- 3 メールアカウントから、使用するアカウントを選択し、[変更] ボタンをクリック。



- 4 [サーバー情報] に正しい受信メールサーバー (POP3)、送信メールサーバー (SMTP)、ログイン名、パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリック。



- 5 [電子メールアカウント] ダイアログボックスで、[完了] ボタンをクリック。

[Outlook Express の場合]

- 1 Outlook Express を立ち上げ、[ツール] - [アカウント] を選択する。
- 2 [メール] タブをクリックし、使用するアカウントが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリック。
- 3 [サーバー] タブをクリックし、正しい受信メール (POP3) サーバー、送信メール (SMTP) サーバー、アカウント名、パスワードを入力する。



Q 送信したメールが相手に届いていない



- 宛先のメールアドレスが正しいかを確認します。
- メールサーバーが停止していないかを確認します。
- 添付されているデータのサイズが大きすぎ、メールサーバーで受信できる範囲を超えています。添付したデータのサイズを小さく (圧縮) してもう一度送信します。



データの圧縮について → Windows のヘルプ

受信したメールが文字化けしている



- 表示するフォントを日本語にします。

1 Outlook Express で、[表示] - [エンコード] - [日本語 (自動選択)] を選択する。

- 添付データの送信形式を送信相手にし、MIME の「Base 64 形式」または「なし」で送信するように依頼します。

受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる

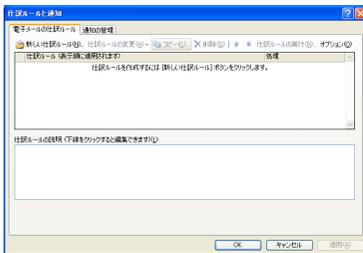


- 受信メールを自動的に振り分けることができます。ここでは、指定した送信者からのメールを自動的に振り分ける場合を例に説明します。

[Outlook 2003 の場合]

1 [ツール] - [仕訳ルールと通知] をクリック。

2 [新しい仕訳ルール] ボタンをクリック。



3 [テンプレートから仕訳ルールを作成] を選択する。

4 ステップ 1 で [特定の人から受信したメッセージを移動する] を選択し、ステップ 2 で下線部分の [名前 / 配布リスト] をクリック。



5 [名前] から特定のユーザーを選択し、[差出人] ボタンをクリック。

6 必要に応じて手順 5 を繰り返し、最後に [OK] ボタンをクリック。



7 ステップ 2 で下線部分の [指定] をクリック。

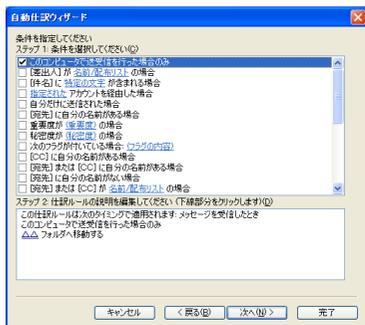
8 [仕訳ルールと通知] 画面で移動先フォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリック。



9 下線部分が指定した内容になっていることを確認し、[次へ] ボタンをクリック。



10 ステップ 1 で該当する条件のチェックボックスにチェックし、[次へ] ボタンをクリック。



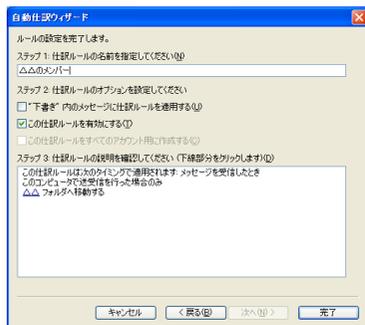
11 ステップ1で該当する条件のチェックボックスにチェックし、[次へ] ボタンをクリック。



12 ステップ1で該当する条件のチェックボックスにチェックし、[次へ] ボタンをクリックする。例外条件がない場合は、チェックボックスにチェックを付けずに [次へ] ボタンをクリック。



13 ステップ1に名前を入力し、[完了] ボタンをクリック。



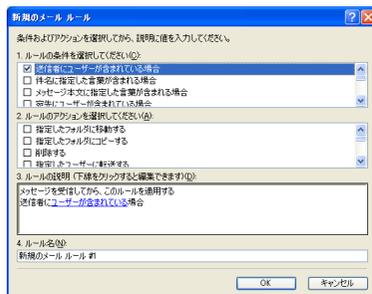
14 自動仕訳ウィザードで、[OK] ボタンをクリック。

[Outlook Express の場合]

1 [ツール] - [メッセージルール] - [メール] を選択する。

2 [1. ルールの条件を選択してください] で [送信者にユーザーが含まれている場合] をチェックする。

3 [3. ルールの説明 (下線をクリックすると編集できます)] の [送信者にユーザーが含まれている場合] をクリック。



4 [アドレス帳] ボタンをクリックし、送信者を選択して [送信者] ボタンをクリックし、[ルールのアドレス] に表示する。ほかの送信者も選択する場合は、同様に。[OK] ボタンを2回クリックし、[新規のメールルール] に戻る。



- 5 [2. ルールのアクションを選択してください] の [指定したフォルダに移動する] をチェックし、[3. ルールの説明 (下線をクリックすると編集できます)] の「指定したフォルダ」をクリック。
- 6 [アイテムの移動先] で受信メールを移動するフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリック。
- 7 [4. ルール名] に分類する名称を入力し、[OK] ボタンを2回クリック。

Q Outlook Express でメールを開くと、「次の添付ファイルは安全でないため、メールからのアクセスが削除されました: <ファイル名>」と表示される

A ● Outlook Express 6.0 には、特定の拡張子の添付ファイルを表示させない機能があります。次の手順で設定を解除することができます。

重要 ● 添付ファイルがダウンロードや表示をしても安全であることが確かな場合に、行ってください。

- 1 Outlook Express 6.0 を立ち上げる。
- 2 [ツール] メニューから [オプション] ボタンをクリック。
- 3 [セキュリティ] タブを選択し、[ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない] のチェックを外す。

Q Outlook でメールを開くと、「次の添付ファイルは問題を起こす可能性がある」と表示される

A ● Outlook には、特定の拡張子の添付ファイルを表示させない機能があります。添付ファイルにアクセスできるようにするには、次のいずれかの方法を行ってください。

重要 ● 添付ファイルがダウンロードや表示をしても安全であることが確かな場合に、行ってください。

- ・送信者にファイル拡張子を変更するファイル圧縮ユーティリティを使用するように依頼する。

- ・送信者にファイル拡張子を変更して送信するように依頼する。名前を変更した添付ファイルを受け取ったあと、元の拡張子にファイル名を変更することができます。

一括インストールできない

- ・『再セットアップディスク』をドライブに入れてパソコンを立ち上げてもメニューが表示されない

Q 『再セットアップディスク』をドライブに入れてパソコンを立ち上げてもメニューが表示されない

A ● ご購入後に増設した機器を取り外してから、一括インストールを行います。CD/DVD ドライブに『再セットアップディスク』を入れます。

参照 → 一括インストール方法→紙マニュアル『準備しよう! Prius』3章の「2 一括インストールを行う」

PDF ファイルの操作で困った!

- ・PDF ファイルが立ち上がらない
- ・画像が表示されず、グレーのボックスになる

Q PDF ファイルが立ち上がらない

A ● 『活用百科』CD の [install] - [reader] フォルダの中 の [adberdr70_jpn_full.exe] をダブルクリックし、Adobe Reader をインストールします。

Q 画像が表示されず、グレーのボックスになる

A ● Adobe Reader の [編集] - [環境設定] - [ページ表示] をクリックし、[データ量の多い画像を表示] にチェックを付けます。

ソフトウェアのトラブル

- ・動画がメディアプレイヤーで再生できない
- ・マカフィー・ウイルススキャン (90 日間サポート)、マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス (90 日間サポート) がうまく動作しない
- ・「Office Personal 2003」で新規ファイルの作成や更新などができなくなってしまった

- ・一括インストールを行ったあと、「Office Personal 2003」が使えなくなった
- ・DVD-RAM メディアの読み込みや書き込みができない

Q 動画がメディアプレイヤーで再生できない

- A**
- 動画のファイル形式が avi の場合、ファイルの入手先によっては専用コーデックを使用していることがあります。コーデックを同時に入手し、インストールしてください。
 - DVD ビデオタイトルを再生する場合は、専用 DVD プレーヤーソフトで再生してください。

Q マカフィー・ウイルススキャン (90 日間サポート)、マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス (90 日間サポート) がうまく動作しない

- A**
- 複数のウイルス対策ソフトを併用すると、OS が誤動作することがあります。マカフィー・ウイルススキャン、マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス以外のウイルス対策ソフトは、すべてアンインストールしてください。

Q 「Office Personal 2003」で新規ファイルの作成や更新などができなくなってしまった

- A**
- 「Office Personal 2003」をインストールし直した場合は、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行わず、許容起動回数に達すると、新規ファイルの作成や更新など一部の機能が使えなくなります。ライセンス認証の方法については、「Office Personal 2003」の『スタートガイド』をご参照ください。

Q 一括インストールを行ったあと、「Office Personal 2003」が使えなくなった

- A**
- 「Office Personal 2003」は、一括インストールでは元に戻りません。付属の「Office Personal 2003」CD-ROM よりインストールしてください。インストール方法については、「Office Personal 2003」の『スタートガイド』をご参照ください。

Q DVD-RAM メディアの読み込みや書き込みができない

- A**
- 他の UDF ドライバー (CD や DVD のパケットライトソフトなど) がインストールされている場合
DVD-RAM ドライバーは、他の UDF ドライバーがインストールされている環境では動作しません。DVD-RAM メディアに読み書きするときは、他の UDF ドライバーをインストールしないでください。
 - Windows XP 標準の CD-R/RW ディスクへの書き込み機能が有効の場合
CD/DVD ドライブの [プロパティ] の [書き込み] タブで「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックボックスをオフにしてください。
 - 他のアプリケーションが CD/DVD ドライブを使用しているときは、使用しているアプリケーションを終了してください。
 - DVD-RAM メディアが破損している場合があります。DVD メディアを交換してください。

ソフトウェアをもっと使いこなしたい

- ・ソフトウェアの便利な使い方を知りたい
- ・BIOS をアップデートしたい

Q ソフトウェアの便利な使い方を知りたい

- A**
- CyberSupport を使うと、パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルの中から探し出せます。
 - インストールされている「Prius で楽しもう!」に、ソフトウェアのいろいろな使い方を、使い方ごとにまとめています。ご参照ください。

Q BIOS をアップデートしたい

- A**
- PriusWorld サポートページでご使用の機種に BIOS のアップデートが必要であるか確認してください。アップデートが必要な場合は、PriusWorld サポートページで BIOS のアップデート方法を参照し、アップデートを実行してください。

データのバックアップ

- ・メールのデータをバックアップしたい
- ・各種アプリケーションのデータをバックアップしたい
- ・エクスプローラを使ってデータをバックアップしたい

Q メールのデータをバックアップしたい

- 電子マニュアル『使おう！インターネット』に、バックアップ手順をまとめています。電子マニュアルをインストールして、ご参照ください。

参照 → Outlook 2003 データのバックアップ方法 → 『使おう！インターネット』3章の「Outlook 2003 のデータをバックアップする」
Outlook Express データのバックアップ方法 → 『使おう！インターネット』3章の「Outlook Express のデータをバックアップする」

Q 各種アプリケーションのデータをバックアップしたい

- 各種アプリケーションで作成したファイルのバックアップは、次の手順で行います。
- 1 必要なファイルを作成しているアプリケーションを起動する。
 - 2 メニューの一覧から、[ファイル] メニューをクリックし、[名前を付けて保存] をクリック。
 - 3 [保存先] ボックスに表示されている場所を確認する。
 - 4 [保存先] ボックスで、バックアップを取りたいファイルが保存されているフォルダーを指定する。
 - 5 そのファイルに保存されているファイルの一覧が表示される。必要なファイルのアイコンを右クリックしたあと、[送る] をクリックし、リムーバブルメディアを指定する。

これでファイルのバックアップを取ることができます。

Q エクスプローラを使ってデータをバックアップしたい

- エクスプローラを使ったファイルのバックアップは、次の手順で行います。
- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] をクリック。
 - 2 [アクセサリ] をクリックし、[エクスプローラ] をクリックして開く。
 - 3 [フォルダ] ツールバーの中から、ドライブやディスクへ保存するフォルダーやファイルを選択する。必要なファイルを複数選択する場合、[Ctrl] キーを押しながら必要なファイルやフォルダーを選択する。
 - 4 [編集] メニューをクリックし、[コピー] をクリック。
 - 5 [フォルダ] ツールバーの中から、保存先のドライブやディスクをクリック。
 - 6 [編集] メニューをクリックし、[貼り付け] をクリック。

これでファイルのバックアップを取ることができます。



さくいん

A

Adobe Reader 94
AI 囲碁 スタンダード for HITACHI 82
AI 将棋 スタンダード for HITACHI 82
AI 麻雀 スタンダード for HITACHI 82
ATLAS 翻訳パーソナル 2006 LE 82

C

CyberSupport for HITACHI 94

D

DiXiM Media Client 81
DiXiM Media Server 81
DVD MovieWriter 5 for HITACHI 81
DVD-RAM ドライバー 81

H

HDD の節電 38

I

IEEE1394 機器 51

L

LAN 52
LAN ドライバー 87
Low Battery 29

M

Microsoft Office Home Style+ 81
Microsoft Office Personal Edition 2003 80

P

PC カード 53
Prius かんたんシリーズ 82
P キー 19

S

So-net 82

U

USB 機器 50

W

Windows ファイルを追加セットアップする 96
WinDVD5 for HITACHI 81

あ

アプリケーションディスク 78

アプリケーションのインストール 72

お

お手入れ 104
オンラインサインアップ 90
音量 15

か

解像度 62
過放電 28

き

休止状態 29, 38

さ

再セットアップディスク 76
サウンドドライバー 85

し

周辺機器 46
使用するプリンターの選択 49

す

スタンバイ 30, 38

た

タイピングドリーム アフロ犬 82
タッチパッドドライバー 88

て

ディスプレイ 12, 58
ディスプレイの節電 38

と

同時表示 61
ドライバー、ユーティリティのセットアップ 83
ドルビーヘッドホン 64

ね

ネットワーク切替ユーティリティ 36

は

パーティションの設定 97
バッテリーパックの交換時期 29
バッテリーパックの充電 24

ふ

筆ぐるめ Ver.13 for HITACHI 82

プリンター 47
プリンタードライバーのインストール方法 48
プリンタードライバーの削除方法 48

へ

ヘッドホン 63

ま

マイク 63, 65
マルチディスプレイ表示 60

め

メール着信設定 32
メモリーカード 56
メモリーボード 67
メモリーボードソケット 68

も

モデムドライバー 86

ら

らくらく家計簿ゆとりちゃん7 82

り

リフレッシュレート 14

ろ

録音 65

わ

ワイヤレス LAN 21
ワイヤレス LAN ドライバー 90

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ENERGYSTAR はアメリカ合衆国の登録商標です。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ドルビーは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・メモリースティック、マジックゲートは、ソニー株式会社の商標です。
- ・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

パソコン応用

初 版 2006 年 7 月

無断転載を禁止します。

 **株式会社 日立製作所**

ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

お問い合わせ先: 安心コールセンター 0120-885-596

© Hitachi,Ltd.2006.All rights reserved.